

埼玉放射線 vol.58

RADIOLOGICAL SAITAMA

2010
No.3



総会資料特集号

社団法人 埼玉県放射線技師会

<http://www.sart.jp>
E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

表紙の解説

あなたの肺(葉)はいかがですか

おわるもの、はじまるもの

社団法人埼玉県放射線技師会
会長 小川 清



年度が替わり早2月、若葉香る心地よい季節になりました。今年も、放射線技師として永年働いてきた会員の方が定年を迎え退職していきました。本当にお疲れ様でした。一方で若々しい放射線技師の卵が各施設に誕生していると思

います。きちんと教育し、診療放射線技師として一人前に育てていただきたいと願いますと同時に、本会もお手伝いをさせていただきますので、是非とも本会への入会をお勧め下さい。

従来、始めることより終えることが難しいと言われます。最後まで力を抜かず全速力にて駆け抜け、次のランナーにバトンを渡すことができる人を私は尊敬します。大なり小なり権力につくと、往生際が悪くなります。政権交代とともに数々の改革案が打ち出され、医療界においても変革の予兆を感じ取ることができますが、一方で権力を手に入れた民主党は、当初の切れ味のある改革案は影を潜め、すべて選挙対策用に見えてしまいます。技師会のような小さな組織でも同様であり、会員のために変革していくことは大切なことですが、会員へ媚びる改革となってしまう恐れもあります。不確実性の高い時代に、そして迅速性を求める時代に、対応していくのは大変ですが、期待が失望に変わらぬよう、おわるものは終え、そしてはじめるものは始めます。

さて公益社団法人を目指して定款案を提示させていただきました。その中の目的及び事業に「この法人は診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線科学の向上を図り、もって地域医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする」とあります。つまり技師会は、診療放射線技師の基礎となる知識や技術を普及させ、県民に良質な医療を提供する責任があり

ます。一方医療を提供する管理者は職員を教育して質の高い医療を提供する義務があります。この二つの事柄から言えることは、技師会は病院長から診療放射線技師の教育・研修を委託されるような団体組織にならねばなりません。本会の研修病院制度、技術アドバイザー制度はその一端とご理解下さい。また医療職として個人的な向学心に対しても、答える仕組みは必要であり種々のセミナーや講演会が開催されております。そして学習成果を評価する生涯学習係数は指標として機能させなければなりません。本会が過去に実施していた係数ポイントは日本放射線技師会へと統合するという意味で終焉を迎え、現状ではまったくの不十分な状態と認識しています。

専門性の向上と安心かつ高度な医療の提供を図ることを目的に、専門技師の認定制度が始まっています。私が知っているだけでも13種の認定技師制度がありますが、資格取得マニアでもない限りすべてを取得、維持していくことは難しい。私は、リーダーとなる放射線技師がとるべき認定技師と、多くの会員がとるべき認定資格を分けた方がよいと思っています。専門性が高く、ハードルの高い認定技師を得た放射線技師は指導者として活躍し、放射線技師に必要な認定技師は多くの会員にとらせるよう、例えば放射線管理、機器管理、医用画像管理の3つ程度でよいのではなかろうか。そしてその維持更新には全国放射線技師学術大会、地域放射線技師学術大会、JRC学術大会等において医療被曝や医療情報セミナーを5年間に数回受講することを義務付け、簡単な試験をクリアすればよいと思う。更新時に資料を作り上げ評価基準が不明確な現状より、多くの会員の理解を得られると思います。またこの認定技師は放射線公衆衛生学会などの技師会の学会等にまかせないで、予算をつけて、日本放射線技師会の根幹事業として位置づけるべきと考えています。

RADIOLOGICAL SAITAMA

2010/5
MAY
VOL.58

CONTENTS

総会資料

第26回(社)埼玉県放射線技師会定期総会(決算)

平成21年度事業報告	17
平成21年度(社)埼玉県放射線技師会理事会審議事項	37
第4号議案 定款の変更の案(特別決議)	44
社団法人 埼玉県放射線技師会定款	50
社団法人 埼玉県放射線技師会諸規程	55
社団法人 埼玉県放射線技師会会誌購読会員規程	67
社団法人 埼玉県放射線技師会 地区地図	68

巻頭言

おわるもの、はじまるもの
社団法人埼玉県放射線技師会 会長 小川 清 — 1

会告

第26回 社団法人 埼玉県放射線技師会 総会の開催 — 3
平成22年度(第12回)SARTセミナー — 4

お知らせ

会員証発行について — 5
会費納入に関するお知らせ — 6
放射線漏洩線量測定事業の移管について — 7
第14回全国X線CT技術サミット — 8
平成22年度 関東甲信越放射線技師学術大会 — 10
・平成22年度 関東甲信越放射線技師学術大会開催にあたって
関東甲信越放射線技師学術大会 大会長
社団法人 群馬県放射線技師会 会長 高橋 昇 — 11
・一般演題募集のお知らせ — 12
メールマガジン配信登録・サーバー引越しの連絡と案内 — 14

本会の動き

寄付金の報告 — 70
第1回救急セミナー報告 — 71
第25回埼玉放射線学術大会報告 — 72
県民公開講座開催報告 — 73
第25回埼玉放射線学術大会
県民公開講座(2010.03.14)アンケート集計結果 — 75

訃報

水澤政之助先生を偲んで — 78
水澤名誉会員 本会の創生期を語る — 79

各地区掲示板

第1地区 — 86
第2地区 — 88
第3地区 — 90
第4地区 — 91
第5地区 — 93
第6地区 — 98

自由投稿

みんなのカブリッチオ
埼玉県のがんを考える会 がんサロンたんぼぼ — 101
ことわざ全集その11・その12
一流のラーメン屋は行列をつくらぬ — 102
世の中、8割は理不尽なことである — 102
ことわざ全集その13・その14
感謝の言葉は言葉で表してこそ感謝となる — 103
5分前行動と5分後行動 — 103
ことわざ全集その15・その16
他人の力を借りるのと、アテにするのは全く違う — 104
結果主義と過程主義 — 104
ことわざ全集その17・その18
自分のことは自分が一番知らない — 105
子の心親知らず — 105

会員の動向

会員の動向(平成22年3月31日現在) — 106

議事録

平成21年度 第5回常任理事会議事録(抄) — 108
平成21年度 第6回常任理事会議事録(抄) — 109
平成21年度 第6回理事会議事録(抄) — 111
平成21年度 第7回臨時理事会(メール会議)議事録(抄) — 118
第21回 社団法人埼玉県放射線技師会 総会議事録(案) — 119

年間スケジュール

年間スケジュール — 121

役員名簿

平成21,22年度役員名簿 — 122

投稿規定 — 125
FAX申込書 — 126
編集後記

第26回 社団法人 埼玉県放射線技師会 総会の開催

社団法人 埼玉県放射線技師会

会長 小 川 清

日 時：平成22年5月29日（土）午後2時～5時

会 場：埼玉会館（2階 ラウンジ）

さいたま市浦和区高砂3-1-4 048-829-2471（代）

内 容：

1) 第26回 社団法人埼玉県放射線技師会総会（決算）

総会運営委員

第一地区 城處洋輔 第二地区 武田義昭 第三地区 戸矢雅人

第四地区 齊藤幸夫 第五地区 鈴木 孝 第六地区 榎本雅彦

2) 特別講演 「情動の共有が革新を生む」

演者 エーザイ株式会社知創部部长 高山 千弘 様

総会終了後に懇親会を予定しておりますのでご参加ください。午後5時～

埼玉会館内レストランシンフォニー2階（会費1,000円）

会場案内図



※ 委任状（往復はがき）を後日郵送いたします。欠席されます会員の方は、必ず委任状を返信していただきますよう宜しくお願い致します。

平成22年度（第12回）SARTセミナー

社団法人 埼玉県放射線技師会

新入会員の方を対象として行われているSARTセミナーは、本年も学術関係の基礎的な知識と実習を加え、新入会員の方のみでなく全ての会員を対象とした講習内容を予定しています。皆様の受講をお待ちしております。

プログラム（敬称略）

平成22年7月11日（日）

09：30～	受付開始
09：30～09：35	オリエンテーション
09：35～09：40	会長挨拶
09：40～10：20	患者さんに優しい診療放射線技師
10：20～11：00	技師会について（認定制度）
11：00～11：40	技師会の上手な活用法
11：40～12：30	昼食（ご用意いたします）
12：30～14：00	症例検討会（30分×3回）
	乳房
	肺
	消化器
14：00～14：10	総括

記

日 時：平成22年7月11日（日）

場 所：さいたま赤十字病院5F講堂

〒338-8553 埼玉県さいたま市中央区上落合8-3-33

受講料：無料

受講資格：どなたでも受講できます

定 員：50名程度

申込方法：今号巻末のFAX用紙にてお申し込みください

締め切り：7月2日

連絡先：（社）埼玉県放射線技師会 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-39

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

問い合わせ：田中 宏 h-tanaka@sart.jp

矢部 智 s-yabe@sart.jp

会員証発行について

社団法人 埼玉県放射線技師会
会長 小川 清

本会では平成21年度事業として会員証を作成し、5月中に発送する準備をしています。そして、この会員証を有効利用するためデータベースの再構築を行っているところです。今後、本会の企画に参加する際には恒に携帯し身分証としてご利用いただきますようよろしくお願いいたします。

また、この会員証作成に伴い、埼玉県放射線技師会の会員番号を新たに発番いたしました。したがって、日本放射線技師会と埼玉県放射線技師会共に入会している会員は二つの会員番号を持つこととなります。

会員番号を二種類持つことで混乱される会員もおられると思いますが、会員データベースを円滑に利用するためには必須条件となるため、会員のご理解をよろしくお願いいたします。

SART：埼玉県放射線技師会会員番号

JART：日本放射線技師会会員番号



会費納入に関するお知らせ

社団法人 埼玉県放射線技師会
 会長 小 川 清
 財務担当理事 結 城 朋 子

埼玉県放射線技師会の年会費は、以下の通りです。

(社) 埼玉県放射線技師会年会費

現 会 員	年会費9,000円
新 入 会 員	初年度年会費無料
再入会の場合 当該年度12月31日まで	年会費9,000円 *再入会金は不要です
再入会の場合 当該年度1月以降3月まで	年会費4,500円 *再入会金は不要です

*当該年度：4月1日から翌年3月31日まで

平成20年度以降、日本放射線技師会への直納制は廃止されました。埼玉県放射線技師会の指定口座へ直接お払込をお願いいたします。

コンビニエンスストアでのお取扱いは7月31日までとなっております。

当会の活動はすべて会員の皆様の会費により運営されております。

年会費は早めに納入していただきますようご協力お願いいたします。

尚、新入会および再入会のお届け、会費納入状況の確認につきましては下記までお問い合わせください。

(社) 埼玉県放射線技師会センター 植松

電話：048-664-2728（受付時間：月曜～金曜の9：00～15：00）

放射線漏洩線量測定事業の移管について

社団法人 埼玉県放射線技師会
会長 小川 清

平素は本会の事業運営にあたり、多大のご協力を賜わり感謝致します。

さて、新公益法人3法が平成20年12月1日に施行され、私どもの法人も5年以内に公益法人、一般社団法人への移行を選択しなくてはならなくなりました。

私どもは総会決議により、公益法人への移行を指向しておりますが、その準備段階での指導で、事業内容の整理・見直しを余儀なくされました。

私どもは医療施設の放射線漏洩線量の測定は、公益事業の一環と捉えて事業を進めてまいりましたが、当局の見解により、私どもの法人事業から外さざるを得なくなりました。

そこで今後の事業を以下のとおり関係団体に移管し継続することになりました。移管先団体のスタッフは従来から実質的に当該測定事業を行ってきたもので、事業の精度管理は担保されるものと考えます。

会員の皆様にはご面倒をおかけすることになりますが、よろしくご理解いただき、引き続きご用命賜われれば幸いです。

記

1 事業移管先

埼玉医用画像研究会環境測定部

住所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番39号

社団法人埼玉県放射線技師会センター内

電話048-664-2728

FAX048-664-2733

代表者 環境測定部長 藤間 英雄

2 事業移管年月日 平成22年4月1日

以上

第14回

全国X線CT技術サミット

日時:平成22年7月24日(土曜日) 9:30~19:00 (受付開始9:00~)

会場:ラフレさいたま 〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心3-2

TEL 048-601-1111(代表)

<http://www.rafro.co.jp/index.html>

参加費:2000円(学生無料)

『テーマ 造影理論 —簡単そうで難しい肝臓造影検査—』

◆教育講演

10:00~12:00

座長:平野 遼(札幌医科大学附属病院), 大沢 一彰(済生会中和病院)

「腹部CTに必要なCTの基礎知識」

「マルチスライスCTにおける肝臓領域の造影検査法」

「肝臓検査の撮影条件設定の考えかた」

「肝臓検査における3D-CTAに必要な基礎知識」

辻岡 勝美 (藤田保健衛生大学)

寺澤 和晶 (長野赤十字病院)

萩原 芳広 (栃木県立がんセンター)

世木 工 (北海道大学病院)

◆ランcheonセミナー『メーカープレゼンテーション』

12:15~13:15

座長:宮下 宗治(耳鼻咽喉科麻生病院), 坂本 崇(済生会熊本病院)

小川 正人(産業医科大学病院), 坂島昌 実(広島大学病院)

東芝メディカルシステムズ株式会社 フィリップスエレクトロニクスジャパン シーメンス旭メディック株式会社
株式会社 日立メディコ 株式会社 根本杏林堂 株式会社 AZE コフニクス・リミテッド株式会社

◆特別講演 『放射線科医・診療放射線技師が考える肝臓造影法』

13:45~15:45

座長:村上 克彦(福島県立医科大学附属病院), 吉川 秀司(大阪医科大学附属病院)

「数式を使わない造影理論」

「肝臓造影検査における造影剤使用量および濃度の選択」

—放射線科医師の立場から—

山口 功 (大阪物療専門学校)

市川 智孝 (山梨大学医学部附属病院)

◆シンポジウム『簡単そうで難しい肝臓造影検査法』

16:00~18:30

座長:山下 康行(熊本大学大学院), 八町 淳(長野赤十字病院)

〈プレゼンター〉

・大島 勇行(駿河台日本大学病院)

・本田 啓明(国立病院機構千葉医療センター)

・双木 邦博(さいたま市立病院)

・大塩 洋平(東海大学医学部付属八王子病院)

◆受賞者発表・閉会式

18:30~19:00

詳細・お申し込み先 第14回全国CT技術サミットホームページ

<http://ctsummit2010.sakura.ne.jp/>



*** 電車をご利用の場合**

JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線「さいたま新都心」駅下車徒歩7分。
JR埼京線(各駅停車利用)「北与野」駅下車徒歩10分。
※東北新幹線、上越新幹線ご利用の方は、「大宮」駅でお乗換え下さい。

*** お車をご利用の場合**

(東京都心方面から首都高速をご利用の場合)
首都高速5号線池袋線 → 高速埼玉新都心線「新都心出口ランプ」
→ 「さいたま新都心」出口から400m
(東北道、関越道、常磐道をご利用の場合)
東京外郭環状道路 → 美女木JC → 高速埼玉新都心線「新都心出口ランプ」
→ 「さいたま新都心」出口から400m
(高崎市、熊谷市方面からご利用の場合)
国道17号線 → 「八幡通」信号を左折 → さいたま新都心方面へ

【第14回 全国X線CT技術サミット実行委員会&事務局】

木暮 陽介 順天堂大学医学部附属練馬病院
〒177-8521東京都練馬区高野台3丁目1番10号 TEL 03-5923-3111(代表)
y.kogure@iuntendo-nerima.jp

【実行委員メンバー】

赤城 輝哉 (三井記念病院)	カ石 耕介 (聖マリアンナ医科大学病院)
小川 泰良 (聖マリアンナ医科大学病院)	富田 博信 (埼玉県済生会川口総合病院)
加藤 光久 (亀田メディカルセンター)	中根 淳 (埼玉医科大学総合医療センター)
城處 洋輔 (埼玉県済生会川口総合病院)	中原 晶子 (東京都保健医療公社荏原病院)
桐 洋介 (順天堂大学医学部附属練馬病院)	平瀬 繁男 (東京医科大学病院)
庄司 友和 (東京慈恵会医科大学附属病院)	福井 利佳 (東京女子医科大学東医療センター)
高木 卓 (千葉市立海浜病院)	八木沢 英樹 (埼玉社会保険病院)
田中 功 (東京女子医科大学東医療センター)	

(五十音順)

～事前登録のお願い～

(申し込み期間・・・4月中旬～6月下旬まで)
第14回全国X線CTサミット参加予定の方は下記のHPより事前登録をお願いいたします。事前登録して頂いた方から優先的にランチョン時のお弁当を配布いたします。(当日登録の方は、お弁当をお渡しできない場合がありますのでご注意ください)

～一般演題を募集します～

(募集期間・・・4月中旬～6月下旬まで)
ポスター展示のみとなります。下記HPより登録を受付いたします。

全国CT技術サミット

- 【代表世話人】 辻岡 勝美 (藤田保健衛生大学)
- 【当番世話人】 八町 淳 (長野赤十字病院)
- 【実行委員長】 木暮 陽介 (順天堂大学医学部附属練馬病院)
- 【共催】 全国X線CT技術サミット
第一三共株式会社
- 【協力】 月刊インナービジョン
- 【後援】 社団法人 神奈川県放射線技師会
社団法人 埼玉県放射線技師会
社団法人 千葉県放射線技師会
社団法人 東京都放射線技師会
社団法人 長野県放射線技師会 (五十音順)

平成22年度

関東甲信越放射線技師学術大会

『未来を見すえた放射線技師』

～ 継続と改善 ～



●特別講演

世界における放射線技術に関する研究

～研究成果を世界に向けて発表するために～

群馬県立県民健康科学大学 学長 土井邦雄先生

●市民公開講座（参加費無料）

重粒子線がん治療の現状と展望

～群馬大学の取り組み～

群馬大学重粒子線医学研究センター 准教授 大野達也先生

●シンポジウム

組織の運営・病院経営

～放射線部門を取り巻く現状と課題～

会 期 平成22年10月9日（土）～10日（日）

会 場 前橋テルサ

参加費 事前登録 会員 3,000円 非会員5,000円 学生 1,000円

当日受付 会員 5,000円 非会員5,000円 学生 1,000円

情報交換会 事前登録 5,000円 当日受付 7,000円



大会長 社団法人群馬県放射線技師会会長 高橋 昇

実行委員長 群馬県立心血管センター 可田 利彦

主 催 北関東地域放射線技師会・南関東地域放射線技師会

大会事務局URL <http://plaza.umin.ac.jp/gart/> E-mail kkr22gunma@cvc.pref.gunma.jp

平成22年度 関東甲信越放射線技師学術大会開催にあたって



関東甲信越放射線技師学術大会大会長
社団法人 群馬県放射線技師会会長
高橋 昇

平成21年度から北関東地域、南関東地域の1都9県の会員が合同で学術大会を開催することになり、平成22年度は社団法人群馬県放射線技師会が担当し、10月9日（土）～10日（日）に前橋市内のコンベンションホール前橋テルサで開催することになりました。

近年の放射線医学は目覚ましい発展を遂げ、放射線の技術なくして診療が成り立たない時代とまで言われています。放射線診断分野ではFPDをはじめ、MDCT、MRI、PET-CT、また診断技術を利用したIVR、放射線治療分野ではIMRT、I-125密封小線源治療などが重要な位置を占めるようになりました。今年度からは重粒子線治療が群馬県内で始まり、その治療効果が期待されています。

学術大会の内容としては、特別講演を前シカゴ大学カートロスマン放射線像研究所所長・教授、

群馬県立健康科学大学学長の土井邦雄先生に「世界における放射線技術に関する研究」並びに社団法人日本放射線技師会の北村義明会長に「チーム医療における放射線技師の役割」、市民公開講座として群馬大学重粒子線医学研究センター准教授の大野達也先生に「重粒子線がん治療の現状と展望 ～群馬大学の取り組み～」と題して、ご講演頂く予定です。

一般演題につきましても、できる限り多くの方々が発表できるよう計画しています。

群馬県は、この季節に紅葉も見ごろを迎え、多くの温泉にも恵まれています。どうか一人でも多くの方がこの学術大会にご参加頂けますよう役員一同お待ちしております。また、学術大会の準備にあたって、ご指導ご協力を賜った関係各位に心より感謝を申し上げ、開催の挨拶と致します。

平成22年度 関東甲信越放射線技師学術大会 一般演題募集のお知らせ

平成22年度 関東甲信越放射線技師学術大会

大会長 高橋 昇

平成22年10月9日（土）～10日（日）の2日間、群馬県前橋市「前橋テルサ」において、平成22年度 関東甲信越放射線技師学術大会を開催します。つきましては、本大会の一般演題発表を下記の要領にて募集します。お一人でも多くの研究発表演題をご応募いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

1. 会 期：平成22年10月9日（土）～10日（日）
2. 会 場：群馬県前橋市「前橋テルサ」
3. 最 寄 駅：JR両毛線 前橋駅下車 徒歩15分

4. 演題申込資格：発表者（共同発表者含む）は、北関東地域放射線技師会・南関東地域放射線技師会に所属する都県放射線技師会の会員、または（社）日本放射線技師会の会員で、平成21年度会費の完納者に限ります。ただし、診療放射線学関連の大学、短期大学もしくは専門学校の学生についてはこの限りではありません。また、未加入の方が発表される場合には、あらかじめ前記のいずれかの団体への会員登録が必要になります。

5. 演題応募方法：
 - ・ インターネットからのオンライン登録となります。他の方法での受付はいたしませんのでご了承ください。
 - ・ 大会ホームページの演題募集へアクセスして、案内にしたがって登録を進めてください。
 - ・ 演題申し込み時に、研究内容概要を400字以内で入力してください。
 - ・ 演題の採否のお知らせ後、抄録原稿を提出していただきます。

6. 演題登録期間：平成22年3月1日（月）～6月30日（水）

7. 演題募集登録に関する注意
 - ・ 発表者の記載について
発表者氏名、所属施設名、所属放射線技師会の会員番号の記載が必要です。また、学生の場合は在籍学校名、学年を記載してください。
 - ・ 共同発表者の記載について
共同発表者の記載は6名までとし、所属施設が異なる場合は次欄に同じ形式でご記入ください。ま

た、(社)日本放射線技師会会員は会員番号の記載もお願いします。

- ・ 演題区分について
選択枝の中から該当するものを選んでください。
- ・ 抄録の提出について
演題の採択後、お知らせする書式にて、下記期間内にメールにてお送りください。提出期間は、平成22年4月1日(木)～7月31日(土)12:00まで(期間厳守)とします。
- ・ 抄録原稿は、A4版1枚以内です。所定の書式にしたがって、記述してください。
- ・ 登録内容の変更について
抄録提出後の変更は受けません。提出前の変更は、変更事項を明記し、件名を「演題に関する変更」としてメールにてお問い合わせください。
- ・ 演題の採否、発表日時について
演題の採否、日時の決定は大会実行委員会プログラム委員会にて、審査の後、メールにて通知いたします。
- ・ 発表形式
PCプロジェクターを使用したプレゼンテーション画面1面による、口述発表とします。アナログRGB15ピンの画像出力に対応したPCプロジェクターを用意しますので、御自身のノートPCを持参してください。XGA(1024×768)のみの表示となりますので、作成に関してはあらかじめ解像度を調整してください。
PC操作は、壇上にて演者自身にて操作していただきます。

8. 大会参加登録について

大会の参加については、インターネット上で事前登録及び宿泊案内を行います。

参加料金	事前登録	会員	3,000円	非会員	5,000円	学生	1,000円
	当日申込	会員	5,000円	非会員	5,000円	学生	1,000円

情報交換会	事前登録	5,000円	当日申込	7,000円
-------	------	--------	------	--------

9. 学術大会に関するお問い合わせについて

平成22年度関東甲信越放射線技師学術大会実行委員会 実行委員長 町田利彦
(社)群馬県放射線技師会 学術大会実行委員会

実行委員会代表 E-mail : kkr22gunma@cvc.pref.gunma.jp

実行委員会大会ホームページ : <http://plaza.umin.ac.jp/gart/>

メールマガジン配信登録・サーバー引越しの連絡のご案内

社団法人 埼玉県放射線技師会
会長 小川 清

現在、埼玉県放射線技師会では、会員や会員が勤務する施設の運用に活用していただく目的で、数多くの情報を提供・発信しております。

例えば、厚生労働省から発信され、日本放射線技師会を経由し本会へ届いた情報や、本会からのお知らせ等がそれにあたります。

これらを年6回発刊の会誌やホームページを用いて、可能な限り速やかに提供しよう心がけておりますが、医療政策における展開の速さを鑑みると、会員からの閲覧がないと情報が伝わらないという媒体の性質上、リアルタイムに十分な機能を果たせているとは言えません。

そこで、会員の皆様には、技師会からの情報を「的確なタイミングで確実に」受け取る手段として、メールマガジンへの配信にご登録いただければと考えております。

メールマガジン配信登録方法は下記の通りとなっています。皆様のご登録をお待ちしております。

■個人情報の利用に関するお知らせ

ここで入力いただく利用者の個人情報（メールアドレス）は、メールマガジンの配信を目的として利用し、他の目的では利用いたしません。

■メールマガジン配信登録

登録方法は2通りあります。

①ホームページ上からの申し込み。

[その他] のカテゴリから [メールマガジン購読希望] へアクセス。

必要事項をご記入下さい。

②メールによる申し込み。

申し込み用メールアドレスに以下の内容を記入して送信下さい。

申し込み用アドレス：magazine_since2007@sart.jp 件名：メールマガジン申し込み 本文：(氏名) (受信希望先のメールアドレス)
--

※申し込み後自動返信にて確認メールが届きます。

■メールマガジンの停止・変更・質問等について

マガジンの停止・変更・質問等は以下のアドレス宛にご連絡下さい。

変更削除用アドレス：mail_magazine2007@sart.jp

※申し込み用のアドレスと異なりますのでご注意下さい。

■サーバーの引越し

昨年度3月まで埼玉県放射線技師会が使用していたHPサーバーを引越しました。使用していたサーバーの容量が限界に近いたため、容量アップの対応です。引越し作業においてHPエラー等は修正しましたが、まだ完全でないことが予想されます。

つきましてはHP上で不具合等がありましたら編集情報委員へご連絡ください。また埼玉会員メールアドレスを取得されている方で、現sartメールアドレス送受信に不具合がある場合は、会務に支障をきたす恐れがありますので、併せて編集情報委員会にご連絡ください。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

第26回（社）埼玉県放射線技師会定期総会（決算）

次 第

開 会 の 辞
 会 長 挨 拶
 来 賓 挨 拶
 表 彰
 総会運営委員会報告
 議 長 選 出
 総会職員任命
 議 事

1. 平成21年度事業報告
2. 平成21年度決算報告
3. 平成21年度監査報告
4. 定款の変更の案（特別決議）
5. その他

閉 会 の 辞

総会運営委員

城 處 洋 輔	武 田 義 昭	戸 矢 雅 人
斉 藤 幸 夫	鈴 木 孝	榎 本 雅 彦

**(社) 埼玉県放射線技師会
第26回 定期総会 (決算)**

平成21年度 事業報告 (案)

平成21年度事業報告

1. 総括

歴史的な政権交代から早半年、生活の現場において、聞こえる声は期待から失望に変わってきた。本会も利用したことのある嵐山町にある国立女性教育会館は、今年の事業仕分けで有名になったが、事業仕分けは私たちの目に触れなかったことを公開したという良い面と、強大な権力が垣間見られたという悪い面が際立ち、国民は期待から落胆へと変わった。高速道路の料金値下げ・無料化、子ども手当支給、高校授業料無料化など、受益者負担を長く続けてきた我々には、恩恵というよりも将来不安を感じさせる。不況の中で日本航空には多額の公的資金が融資される一方で、大学を出た若者に仕事がないという厳しい現実が国民を追い詰めている。

期待値が大きすぎるほど結果が伴わないと失望は大きい。本会の全ての事業は公益社団法人への移行を目指して計画し実行しているが、本会の事業と会員個々の要求とはかけ離れていないか。本事業は次の4つの基本方針に基づき事業を行った。

- (1) 「*improvement*改善」と「*diversity*多様性」
- (2) 「*complete lifelong education* 生涯教育の充実」
- (3) 「*study and investigation*研究と調査」
- (4) 「*cooperation*連携から*collaboration*協働」

1) 総務

平成20年度から公益社団法人格を取得するという総会決議をもとに、月1回委員会を開催し検討をしてまいりました。今回の定款改正を踏まえて、平成22年度内には公益社団法人格取得に向けて申請していく予定ですが、埼玉県における移行手続き作業は遅遅と進んでいない印象があります。本会単独会員のための会員番号を付与し、会

員証の発行をしました。いかがでしょうか。役員研修会は役員の資質向上を目指して開催しておりますが、今回は関東甲信越放射線技師学術大会の参加支援と他県放射線技師との交流などを目的に学術大会に参加しました。10回目を迎えたSARTセミナーは新卒放射線技師を主たる対象として診療放射線技師業務のABCを本会役員が講師となり、新人に必要な心から技術、技能までを網羅しており好評を博しております。

2) 学術

学術活動において、本会の会員が役員となって関係者と築いている活動が多々あり、技師会がすべて組織下にして活動していく必要はないと考えております。恒例となった従来の胸部・上部消化管認定講習会に加えてCT検査講習会を企画して新しい参加者を得ました。学術大会は会場を県民活動センターからソニックシティに変更しました。皆さまのご意見を参考にしながらよりよい学術大会を目指しました。

3) 編集・情報

編集・情報活動は本会活動においても重要な事業と考えております。公益法人への移行に伴い、会員の雑誌という概念が変更を余儀なくされておりますが、公益法人の要求仕様にこたえつつも、会員の皆さまの顧客満足に比べられるような紙面を目指しました。本会のホームページには、会員のみならず診療放射線技師として勉強になる情報はなるべく掲載するという方針のもとに活動しております。ホームページは迅速性が要求されますので、随時コンテンツの更新に努力しているスタッフに感謝です。

4) 公益

公益活動は一般市民への貢献が求められ、新時代の技師会活動の大きな柱の一つになります。地

区健康祭りに参画している画像展開催時に好評であった超音波式骨密度測定を本会で装置を購入して準備をしました。埼玉放射線学術大会時には「県民公開講座：明日の健康のために～」、骨密度測定や被ばく相談には多くの市民が参加いただきました。漏洩線量測定事業に関しては業務委託化を決定しました。

5) 財務

財務活動は、会計基準の見直しに基づき公益社団法人格取得に準備をしました。顧問税理士の指導を受けながら公益法人に適した会計基準を目指しました。

6) その他

日本放射線技師会は北村会長2年目を迎え、大きな変化が生まれました。チーム医療推進協議会会長となった効果か中医協の委員にも選抜され、また新聞紙面にも放射線技師という名を目にする事が多くなりました。しかし技師会活動は低下し多くの事業が滞っているのが現状であります。一方本会でも放射線管理、放射線管理士部会を創設したが、活動が維持できず停止しました。今後は本会の学術事業活動の中で進めていく所存です。

どこを向いて、誰のために仕事をするのかという事を常に心がけてきました。見られることで人に励まされ、守られ、鍛えられていきます。よろしく願いいたします。

2. 事業遂行評価

2. 1. 職業人としての質の向上 (学術)

- 1) 既存認定講習会・セミナーの定期開催と見直し
 - ・胸部撮影認定講習会……………◎
 - ・上部消化管検査認定講習会……………◎
 - ・SARTセミナー……………◎
 - ・放射線技術部門マネージメント・セミナー (医療安全、接遇・クレーム)……………△
 - ・CT検査認定……………◎

2) 新しい講習会の企画

- ・放射線工業界との合同開催企画……………×
- ・接遇マナー講習会 (クレーム対応を中心に) をマネージメント・セミナーとして……………×

3) 会員講師の育成と体制づくり……………◎

4) 他県放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進

- ・乳房検査認定講習会 (精中委と共催) ……◎
- ・関東甲信越放射線技師学術大会への協力……………◎
- ・埼玉県医師会主催事業への支援の参加……………×
- ・埼玉臨床画像研究会 (臨床検査技師会と共催)……………◎
- ・日放技学会関東部会との合同開催企画……………△
- ・日本放射線技師会学会との合同開催企画……………×
- ・他学会 (関東エリアレベル) 埼玉開催の推進 (開催支援、後援) ……◎

5) 研究会活動の見直し……………◎

6) アドバイザー (技術・業務支援) の創設・育成……………◎

2. 2. 組織運営に関わる事業 (総務)

- 1) 会員カード (会員証) の発行……………◎
- 2) 行政との連携・ 埼玉県医療整備課との頻繁な情報交換……………◎
- 3) 公益法人制度改革への対応・準備……………◎

2. 3. 公共事業 (公益・情報、地区会)

- 1) 市民公開講座の開催……………◎
- 2) 漏洩放射線線量測定事業の継続……………◎
- 3) 医療画像展の開催と支援……………◎
- 4) ホームページの充実 (市民、会員) ……◎
- 5) 医療被ばく線量の最適化……………△
- 6) 医療被ばく相談の迅速な対応……………◎

2. 4. 出版事業 (編集)

- 1) 会員を結ぶ情報誌 (学術情報の提供)
- 2) ホームページとの役割分担……………◎
- 3) 企業と会員を結ぶホームページ……………◎
- 4) メールマガジンの有効活用……………◎

2. 5. 財務

- 1) 健全財務状況の継続……………◎
 - 2) 新公益法人会計基準への適応……………◎
 - 3) 技師会センター修繕計画および再建築への立案……………◎
2. 6. その他
- 1) 役員外の会員登用による
プロジェクトチームの創設……………○
 - 2) 放射線管理士、放射線機器管理士の活動の促進……………×
 - 3) 中長期計画の策定……………○
 - 4) 医療技術関係団体との連携……………○

平成21年度各事業報告

1. 総務事項報告

(1) 平成21年度役員は次のとおりである。

役 職 名	氏 名	担 当
会 長	小川 清	
副 会 長	堀江 好一	
	橋本 里見	
監 事	山本 英明	
	鈴木 正人	
顧 問	和田 幸人	
常 任 理 事	田中 宏	総 務
	矢部 智	総 務
	松田 恵雄	編 集・情 報
	結城 朋子	財 務
	富田 博信	学 術
	中村 正之	公 益
理 事	八木沢英樹	総 務・第一地区
	肥沼 武司	編 集・情 報・第二地区
	澁市 直紀	総 務・第三地区
	長谷川英治	総 務・第四地区
	矢崎 一郎	総 務・第五地区
	石川 直哉	総 務・第六地区
	尾形 智幸	学 術
	西山 史朗	学 術
	小林 剛	学 術

	潮田 陽一	編 集・情 報
	星野 弘	公 益
渉外マネージャー	石栗 一男	学 術

(2) 会議開催状況

ア. 総会

平成20年度定期総会（予算）を平成21年3月8日（日）、埼玉県民活動総合センターセミナーホール1において会員98名が出席、委任状提出549名、合計647名にて開催しました。総会では平成21年度事業計画案および平成21年度予算案ならびに諸規程改正案等について審議し決議しました。

平成20年度定期総会（決算）を平成21年5月30日（土）、埼玉県民健康センター会議室において会員55名が出席、委任状提出636名、合計691名にて開催しました。総会では平成20年度事業報告および平成20年度会計決算報告について審議し決議しました。

イ. 理事会は下記のとおり6回開催し、重要案件について審議し決議しました。

理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	21. 05. 08	技師会センター
2	21. 07. 01	同
3	21. 09. 02	同
4	21. 11. 14	同
5	21. 12. 09	同
6	22. 02. 03	同

ウ. 常任理事会は下記のとおり6回開催し、理事会への提案議題の審議ならびに決定事項について処理しました。

常任理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	21. 04. 01	技師会センター
2	21. 06. 10	同
3	21. 08. 05	同
4	21. 10. 07	同
5	22. 01. 06	同
6	22. 03. 03	同

エ. その他

役員研修会、連絡会議、予算会議並びに公益法人改革検討会議を開催、会務の重要事項について審議立案し、必要事項を調整しこれを処理しました。

役員研修会

	年月日	開催場所
1	21. 09. 26/27	タワーホール船堀

連絡会議

	年月日	開催場所
1	21. 04. 30	技師会センター
2	21. 06. 24	同
3	21. 08. 26	同
4	21. 10. 28	同
5	21. 12. 02	同
6	21. 01. 27	同
7	21. 03. 31	同

予算会議

	年月日	開催場所
1	21. 11. 25	技師会センター

公益法人改革検討会議

	年月日	開催場所
2	21. 04. 15	技師会センター
3	21. 05. 12	同
4	21. 06. 17	同
5	21. 07. 15	同
6	21. 09. 16	同
7	21. 10. 21	同
8	21. 11. 18	同
9	22. 01. 20	同
10	22. 02. 17	同
11	22. 03. 17	同

(3) 各委員会開催状況

各委員会開催状況は別表のとおりである。

委員会名	開催年月日
総務・財務委員会	21. 07. 08
総会運営委員会	21. 05. 30

	22. 03. 14
編集委員会	21. 05. 14
	21. 05. 28
	21. 07. 09
	21. 07. 23
	21. 09. 08
	21. 09. 24
	21. 11. 10
	21. 11. 26
	21. 12. 15
	22. 01. 07
22. 02. 09	
学術委員会	21. 05. 21
	21. 06. 16
	21. 08. 19
	21. 09. 29
	21. 11. 10
	21. 12. 08
	22. 01. 28
	22. 03. 09
公益委員会	21. 05. 27
	21. 07. 14
	21. 09. 29
	21. 11. 17
	21. 12. 01
	22. 02. 16
北関東地域会長会議	21. 05. 02
	21. 09. 25
	22. 02. 13

表彰委員会

	年月日	開催場所
1	21. 04. 03	技師会センター

(4) 各種委員会名簿

ア. 表彰委員会

役職名	氏名
委員	小川 清 藤間 英雄
	渡辺 弘 小島 精一

	堀江 好一	橋本 里見
	田中 宏	矢部 智

イ. 医療画像展実行委員会 (秩父会場)

役 職 名	氏 名
実行委員長	長谷川英治
副実行委員長	山田 伸司 持田 雅明
実行委員	尾川 光弘 萩原 貴之
	斉藤 幸夫 小林 成幸
	浅見 肇 玉川 敏
	関根 茂夫 豊田 薫
	田嶋 陽一 大久保直樹
	山中 隆二 近藤 和彦
	吉田 真一

ウ. 医療画像展実行委員会 (深谷会場)

役 職 名	氏 名
実行委員長	斉藤 幸夫
副実行委員長	長谷川英治
実行委員	山田 伸司 山崎由紀敏
	尾川 光弘 吉田 真一
	萩原 貴之 小林 茂幸
	桐生 幸恵 富田 欣治
	江守亜矢子 近藤 和彦
	大野 涉 田中 達也

エ. 医療画像展実行委員会 (さいたま会場)

役 職 名	氏 名
実行委員長	宮沢 浩治
副実行委員長	八木沢英樹
実行委員	高嶋 豊 太田 良平
	鈴木 春彦 阿野 匡昭
	小林 靖雄 星野 弘
	富田 博信 志藤 正和
	浜野 洋平 飯嶋亜弥子
	城處 洋輔 佐藤 吉海
	榎本 雅彦 仙波 亮

オ. 医療画像展実行委員会 (浦和会場)

役 職 名	氏 名
実行委員長	八木沢英樹

副実行委員長	宮沢 浩治	橋本 里見
実行委員	太田 良平	阿野 匡昭
	鈴木 春彦	富田 博信
	小林 靖雄	長谷川直樹
	城處 洋輔	志藤 正和
	浜野 洋平	双木 邦博
	佐藤 吉海	佐々木貴彦

カ. 医療画像展実行委員会 (川越会場)

役 職 名	氏 名
実行委員長	澁市 直紀
実行委員	星野 孝之
	沼本 健一 永井 敦志
	吉田恵理子 八木里枝子
	戸矢 雅人 河村 悦嗣

キ. 医療画像展実行委員会 (所沢会場)

役 職 名	氏 名
実行委員長	肥沼 武司
実行委員	千田 俊秀 宮野 博希
	安保 靖彦 藤井 大吾
	奥田 覚 佐々木拓哉
	見澤 潤一 中邑 友香
	西山 裕

ク. 医療画像展実行委員会 (入間市会場)

役 職 名	氏 名
実行委員長	肥沼 武司
実行委員	千田 俊秀 宮野 博希
	安保 靖彦 藤井 大吾
	山下 隆行 佐々木拓哉
	武田 義昭 瀧澤 誠
	伊藤 寿哉 藤井 大悟

ケ. 医療画像展実行委員会 (越谷市会場)

役 職 名	氏 名
実行委員長	矢崎 一郎
実行委員	大嶋 健悟 中村 正之
	上田 圭二 鈴木 孝
	栗田 幸喜 金子 初穂

コ. 編集・情報委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	松田 恵雄
副 委 員 長	潮田 陽一 肥沼 武司
委 員	村田 雅弘 富田 欣治
	栗田 幸喜 江守重矢子
	阿野 匡昭 川田 俊彦
	柳田 智 白石 圭
	柏 達司 市川 隆史
	諏訪 和明 栗田 裕樹

サ. 学術委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	富田 博信
副 委 員 長	尾形 智幸 西山 史朗
副 委 員 長	小林 剛 石栗 一男
委 員	田中 宏 塚田 高志
	石井 沙織 村田 光俊
	岡田 智子 中根 淳
	城處 洋輔 大森 正司

シ. ソフトボール大会実行委員会

役 職 名	氏 名
大 会 長	小川 清
実 行 委 員	鈴木 正人 田中 宏
	磯田 一巳 堀江 好一
	結城 朋子 田中 達也
	中村 正之 長谷川英治
	西山 史郎 潮田 陽一
	澁市 直紀 松田 恵雄
	橋本 里見 矢部 智

ス. 公益委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	中村 正之
副 委 員 長	星野 弘
	磯田 一巳 太田 良平
	工藤 安幸 長谷部和仁
	大嶋 健悟

セ. 総務・財務委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	田中 宏
副 委 員 長	矢部 智 結城 朋子
委 員	堀江 好一 橋本 里見
	八木沢英樹 渋市 直紀
	長谷川英治 矢崎 一郎
	石川 直哉 田中 達也
	岡田 義和 平野 雅弥
	千田 俊秀

ソ. 総会運営委員会 (予算)

役 職 名	氏 名
委 員 長	太田 良平
委 員	柴 俊幸 星野 孝之
	斉藤 幸夫 鈴木 孝
	榎本 雅彦

タ. 総会運営委員会 (決算)

役 職 名	氏 名
委 員 長	城處 洋輔
委 員	武田 義昭 戸矢 雅人
	斉藤 幸夫 鈴木 孝
	榎本 雅彦

チ. 総会実行委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	堀江 好一
副 委 員 長	田中 宏
委 員	橋本 里見 矢部 智
	松田 恵雄 結城 朋子
	中村 正之 富田 博信

ツ. 第24回埼玉放射線学術大会実行委員会

役 職 名	氏 名
大 会 長	堀江 好一
実 行 委 員 長	富田 博信
副 実 行 委 員 長	橋本 里見
委 員	小川 清 矢部 智
	松田 恵雄 柏 達司
	西山 史朗 中村 禎志

小林 剛	中村 正之
村田 雅弘	長谷川英治
田中 達也	平野 雅弥
肥沼 武司	栗田 幸喜
工藤 安幸	近藤 和彦
柳田 智	尾形 智幸
石井 沙織	江守重矢子
阿野 匡昭	石栗 一男
岡田 義和	志田 智樹
富田 欣治	結城 朋子
塚田 高志	川田 俊彦
鈴木 春彦	太田 良平
星野 弘	工藤 泰
中根 淳	城處 洋輔
大森 正司	岡田 智子
村田 光俊	大嶋 健悟
栗田 裕樹	諏訪 和明
市川 隆史	土田 拓治
佐藤 吉海	霜田 哲徳
柴 俊幸	金子 初穂
白石 圭	石川 直哉
渋市 直紀	矢崎 一郎
八木沢英樹	西山 史朗
潮田 陽一	志藤 正和

テ. 公益法人改革検討委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	堀江 好一
副 委 員 長	橋本 里見 結城 朋子
委 員	小川 清 松田 恵雄
	矢部 智 西山 史朗
	中村 正之 潮田 陽一
	星野 弘 長谷川英治
	渋市 直紀 肥沼 武司
	尾形 智幸 石川 直哉
	小林 剛 矢崎 一郎
	富田 博信 八木沢英樹
	田中 宏

(5) 表彰

公衆衛生事業功労知事表彰 (敬称略)

塚越 昇 齊藤 勝則

公衆衛生事業功労協会表彰 (敬称略)

瀬尾 登吾 松本 和敏

日本放射線技師会表彰

永年30年勤続者表彰 (8名、敬称略)

岡田 省司 小池 正行 高野 正典

野口 勉 松坂 宏夫 茂木 幹夫

山崎 節雄 山本 征広

(6) 物故者

水澤 政之助

(7) 会員の動向 (平成22年3月31日現在)

項 目	会 員 数
平成20年度末 会員数	1,179名
平成21年度 新入会者数	52名
再入会者数	2名
転入者数	4名
転出者数	4名
退会者数	48名
平成21年度末 会員数	1,185名

(8) 平成21年度賛助会員 23社

シーメンス旭メディテック株式会社

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

東芝メディカルシステムズ株式会社

株式会社三田屋製作所

株式会社日立メディコ

株式会社メディカル・サービスT&K

コニカミノルタヘルスケア株式会社

第一製薬株式会社

株式会社エルクコーポレーション

株式会社カイゲン

富士フイルムメディカル株式会社

株式会社鯨屋

株式会社島津製作所

日本メジフィジックス株式会社

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンメディカルシステムズ

エーザイ株式会社
 東洋メディック株式会社
 日本メドラッド株式会社
 株式会社ケー・アイ・シー・メディカルシステム
 コヴィディエンジャパン株式会社
 バイエル薬品株式会社
 コダック株式会社
 ケアストリームヘルス株式会社
 富士フイルムRIファーマ株式会社

(順不同)

2. 学術教育活動

(1) 第8回胸部認定講習会

開催日時：平成21年10月13日、10月29日、11月5日、11月8日

場 所：さいたま赤十字病院

講 師：小林 剛、清水裕之、宮沢浩治、
 中田正幸、富田博信、田中 宏、
 土田拓治

参加者：23名

(2) 第9回上部消化管検査認定講習会

開催日時：平成21年10月8日、10月22日、10月26日、11月1日、

場 所：さいたま赤十字病院

講 師：工藤 泰、石栗一男、馬場保昌、
 大倉康男

参加者：19名

(3) 第1回CT認定講習会

開催日時：平成21年11月29日、12月6日、
 平成22年1月31日

場 所：済生会川口総合病院

講 師：富田博信、小林隆幸、城處洋輔、
 中根 淳、萩原芳広、八木沢英
 樹、田中 功、弓場孝治、手塚一
 明、八町 淳

参加者：47名

(4) 第1回放射線治療講習会

開催日時：平成21年11月28日

場 所：さいたま赤十字病院

講 師：西山史郎、熊崎 祐、橋 英伸、
 城處洋輔、渡辺敬洋

参加者：28名

(5) 第1回救急セミナー

開催日時：平成22年2月14日

場 所：さいたま赤十字病院

講 師：輿水健治、横山 寛、中根 淳、
 岡田智子

参加者：23名

(6) 胸部・上部消化管検査認定試験

開催日時：平成21年11月15日

場 所：さいたま赤十字病院

参加者：胸部28名 上部消化管25名

(7) CT認定試験

開催日時：平成22年1月31日

場 所：済生会川口総合病院

参加者：39名

(8) 平成21年度胸部認定者

指導員：関根 貢

準指導員：霜田哲徳、采沢大志、仁藤真吾、
 菅原香里、湯浅智儀、栗原良樹、
 中村雄大、梅田正和、栗田京助、
 田村智將、吉川昌宏

(9) 平成21年度上部消化管検査認定者

準指導員：山田淳一

(10) 平成21年度CT認定者

準指導員：佐々木剛、関根 貢、湯浅智儀、
 梅田正和、安江章則、染野智弘、
 志藤正和、双木邦博、中村雄大、

(11) 第25回埼玉放射線学術大会

開催日時：平成22年3月14日

場 所：大宮ソニックシティ

参加者：357名

(12) 協力ならびに後援した団体(順不同)

(社) 日本放射線技師会

北関東地域放射線技師会
 日本放射線技術学会東京部会
 (社) 埼玉県医師会
 東京・埼玉医用乳房画像研究会
 埼玉医用画像研究会
 埼玉消化管撮影研究会
 埼玉臨床画像研究会

3. 編集・情報活動報告

(1) 編集活動報告

平成21年度の編集活動として、会誌「埼玉放射線」の発行を第57巻第206号から第58巻第212号まで、計7回発刊いたしました。特に平成22年より、発行月を奇数月に変更しております。また、学術委員会との合同企画として学術特集を3回掲載いたしました。

(2) 情報活動報告

ア「会員向けHP」

- 1) 学術案内 (52件)
- 2) 巻頭言 (6件)

イ「一般向けHP」

- 1) 2地区市民公開講座「股関節」
- 2) 県民公開講座「骨密度」
- 3) 第23回川越市健康まつり
- 4) 第8回さいたま市健康フェア

ウ「CGIによる申し込みフォームの作成」

- 1) 埼玉放射線学術大会演題

エ「メールマガジン配信」

- 1) 14件 no21

オ「サーバーの引越し」

- 1) レンタルサーバの契約変更・引越を実施

4. 役員・委員研修会

開催日時：平成21年09月26日(土)～27日(日)
 場所：タワーホール船堀
 参加者：12名

5. 福利・厚生活動

(1) 第34ソフトボール大会

開催日時：平成21年11月8日(日)
 場所：東京石油保険組合東松山グラウンド
 参加者：14チーム226名
 優勝：上尾中央総合病院
 準優勝：ポッキーズ
 第三位：遊愛

(2) 第24回ゴルフ大会

開催日時：平成21年9月13日(日)
 場所：大麻生ゴルフ場
 参加者：23名
 優勝：石井 忠
 (岩槻脳神経外科病院)
 準優勝：中山 進
 (深谷赤十字病院)
 第三位：塚越 昇
 (熊谷総合病院)

(3) 平成22年新春の集い

開催日時：平成22年1月8日(金)
 場所：大宮サンパレス
 参加者：102名
 会員57名(新入会員8名)、賛助会員45名

6. 財務報告

決算関係報告は総会にて行う。

7. 公益活動

(1) 平成21年度医療画像展(秩父会場)

開催日時：平成21年6月7日(日)
 場所：秩父市保健センター

(2) 平成21年度医療画像展(越谷会場)

開催日時：平成21年9月27日(日)
 場所：越谷市役所庁舎

(3) 平成21年度医療画像展(さいたま会場)

開催日時：平成21年10月4日(日)
 場所：さいたまスーパーアリーナ

- (4) 平成21年度医療画像展（深谷会場）
開催日時：平成21年10月25日（日）
場 所：深谷ビクタートル
- (5) 平成21年度医療画像展（所沢会場）
開催日時：平成21年11月8日（日）
場 所：所沢市保健センター
- (6) 平成21年度医療画像展（川越会場）
開催日時：平成21年11月8日（日）
場 所：川越市総合保健センター
- (7) 平成21年度医療画像展 市民公開講座（所沢会場）
開催日時：平成22年1月24日（日）
場 所：所沢ミュージックキューブホール
- (8) 平成21年度医療画像展（入間会場）
開催日時：平成22年3月14日（日）
場 所：入間市健康福祉センター
- (9) 平成21年度医療画像展 県民公開講座（さいたま会場）
開催日時：平成22年3月14日（日）
場 所：大宮ソニックシティ
- (10) 平成21年度医療画像展（浦和会場）
開催日時：平成22年3月20日（土）
場 所：さいたま市市民活動サポートセンター
- (11) X線診療施設の漏洩線量測定事業
13施設25回の漏洩線量測定業務を行った。

8. 地区報告

第一地区

地区理事 八木沢 英樹
地区役員 橋本 里見 太田 良平
阿野 匡昭 宮澤 浩治
佐藤 吉海 浜野 洋平
城處 洋輔 田村 源
齊藤 美智子

- (1) 第1回地区役員会
開催日時：平成21年4月24日19時～20時30分

- 場 所：埼玉社会保険病院 第2回会議室
参 加 者：6名
- (2) 第1回地区勉強会
開催日時：平成21年6月26日19時～20時30分
場 所：済生会川口総合病院
内 容：肺がんCT検診認定技師制度について
講 師：埼玉社会保険病院 星野 弘
内 容：急性腹症のCT画像の見方
講 師：済生会川口総合病院 富田 博信
内 容：埼玉県放射線技師会認定制度について
講 師：埼玉社会保険病院 橋本 里見
参 加 者：32名
- (3) 第一地区・第六地区合同「第8回さいたま市健康フェア」に参加
開催日時：平成21年10月4日10時～15時
場 所：さいたまスーパーアリーナ1階（展示場）
参加実行委員：15名
骨密度測定人数：348名
さいたま市健康フェアお疲れ様会
場 所：新都心 チムニー
参 加 者：11名
- (4) 第2回地区役員会
開催日時：平成21年10月8日19時～20時30分
場 所：埼玉社会保険病院 第1会議室
参 加 者：6名
- (5) 第2回地区勉強会
開催日時：平成21年11月25日19:00～21:00
場 所：さいたま市立病院 2F サービス棟会議室
ア、会員発表
内 容：当院での3TMRIの使用経験
講 師：さいたま市立病院 佐藤 吉海
内 容：1.5TMRIの下肢血管非造影検査
講 師：済生会川口総合病院 浜野 洋平

内 容：当院における乳腺1.5TMRI検査について

講 師：埼玉社会保険病院 芦荊 雄一郎
イ、メーカー紹介

内 容：「MRIとCTを中心とした3Dワークステーション」

ポリュームアナライザー
SYNAPSEVINCENT:実機操作有

講 師：(株)富士フィルムメディカル
埼玉支社 藤倉 可奈 氏

ウ、装置見学会 3TMRIの見学

参加者：28名

(6) 第3回地区役員会

開催日時：平成22年1月15日19:00~20:30

場 所：埼玉社会保険病院 第3会議室

参加者：5名

(7) 第3回地区勉強会

開催日時：平成22年3月5日19:00~21:00

場所：済生会川口総合病院 地下1階食堂

ア、メーカー講演

内 容：「実験 高濃度バリウムと添加剤」

講 師：(株)カイゲン 営業企画推進部
永長 正樹 氏

イ、特別講演

内 容：「NPO法人 日本消化器がん検診
精度管理機構 胃がんX線検診
新しい基準撮影法」

講 師：東京都予防医学協会 放射線部
次長 佐藤 清二 氏

ウ、総会

参加者：30名

(8) 「わくわくさいたまいき祭り」に参加

開催日時：平成22年3月20日10:00~16:00

場 所：さいたま市市民活動サポートセンター
(コムナーレ9F)

主 催：アシスト浦和21

参加者：実行委員15名

骨密度測定人数：165名

わくわくさいたまいき祭りのお疲れ様会

参加者：9名

第二地区

会 長 (地区理事) 肥沼 武司

副会長 武田 義昭

監 事 奥田 覚 園部 明彦

会 計 藤井 大悟

役 員 霜田 哲徳 瀧澤 誠

野地 敦樹 今井 真仁

伊藤 寿哉 柴 俊幸

千田 俊秀

(1) 地区役員会

開催日時：平成21年3月10日

場 所：入間市

参加者：8名

(2) 親睦花見会

開催日時：平成21年4月5日 (日)

場 所：稲荷山公園

参加者：32名

(3) 地区役員会

開催日時：平成21年5月13日 (水) 18:30~

場 所：石心会狭山病院

参加者：7名

(4) 地区役員会

開催日時：平成21年4月24日 (金) 18:30~

場 所：入間市

参加者：7名

(5) 第1回勉強会

開催日時：平成21年5月22日 (金) 18:30~

場 所：所沢市保健センター

内 容：「大動脈解離」

講 師：石心会狭山病院 藤井 大悟

内 容：「胸部単純X線写真読影」

講 師：防衛医科大学校病院 吉原 信幸

内 容：「フェイスストレッチング

- 患者さんへの印象を上げる工夫」
 講師：Color Presents・荒岡 真由美氏
 参加者：52名
- (6) 地区役員会 地区会誌発行
 開催日時：平成21年7月2日（木）18:30～
 場所：国立障害者リハビリセンター
 参加者：6名
- (7) 第2回勉強会・納涼会
 開催日時：平成21年7月17日（金）18:30～
 場所：所沢市保健センター
 内容：「腰椎変性疾患」
 講師：豊岡第一病院 霜田 哲徳
 内容：「基礎講演：救急での頭部CTの役割」
 講師：石心会狭山病院 伊藤 寿哉
 参加者：45名
- (8) 地区役員会
 開催日時：平成21年7月28日（火）18:30～
 場所：入間市
 参加者：6名
- (9) 第3回勉強会
 開催日時：平成21年9月18日（金）18:30～
 場所：圏央所沢病院
 内容：「1.5TMRI装置の最新技術」
 講師：日立メディコ 市川 真仁氏
 内容：「放射線科の紹介～24時間救急体制、フィルムレス環境に関して～」
 講師：圏央所沢病院 吉澤 康宏
 内容：施設見学
 参加者：40名
- (10) 地区役員会
 開催日時：平成21年10月20日（火）18:30～
 場所：国立障害者リハビリセンター
 参加者：8名
- (11) 医用画像展（所沢市健康まつり）
 開催日時：平成20年11月8日（日）10:00～
- 場所：所沢市保健センター
 来場者：健康まつり800名
 医用画像展450名
 骨密度測定330名
- (12) ソフトボール大会
 開催日時：平成20年11月8日（日）8:30～
 場所：東松山市
 参加者：13名
- (13) 地区役員会 地区会誌発行
 開催日時：平成20年11月12日（木）18:30～
 場所：国立障害者リハビリセンター
 参加者：6名
- (14) 第4回勉強会
 開催日時：平成20年11月20日（木）18:30～
 場所：所沢市保健センター
 内容：「マンモグラフィ～男性技師の接遇～」
 講師：原田病院 瀧澤 誠
 内容「急性腹症 CTの見方」
 講師：済生会川口総合病院 富田 博信
 参加者：42名
- (15) 忘年会
 開催日時：平成20年12月4日（金）19:00～
 場所：所沢市
 参加者：18名
- (16) 地区役員会
 開催日時：平成20年1月18日（月）18:30～
 場所：国立障害者リハビリセンター
 参加者：9名
- (17) 第8回市民公開講座
 開催日時：平成21年1月24日（日）14:00～
 場所：所沢ミュージック キューブホール
 内容：「股関節症の検査について～先天性股関節脱臼の予防も含めて～」
 講師：豊岡第一病院佐々木 拓哉
 内容：「理学療法～家庭でできる理学療法～」

講師：国立障害者リハビリセンター
岩崎 洋 氏
内 容：「カルシウムと骨について」
講師：国立障害者リハビリセンター
繁田 文子 氏
内 容：治療について ～人工関節置換術
ほか～
講師：国立病院機構 西埼玉中央病院
北里 精一朗 先生
参加者：88名

(19) 医用画像展 (入間市健康まつり)

開催日時：平成21年3月14日 (日) 10:00～
場 所：入間市健康福祉センター
来 場 者：医用画像展300名

(20) 第5回勉強会 定期総会

ア、勉強会
開催日時：平成21年3月19日 (金) 18:30～
場 所：所沢市保健センター
内 容：「CTO」
講 師：所沢ハートセンター 柴 俊幸
内 容：「ハイブリッドCT画像 原理と可能性」
講 師：防衛医科大学校病院 高木 聡志
参加者：30名
イ、定期総会
参加者：17名

第三地区

地区理事 澁市 直紀
役 員 星野 孝之 沼本 健一
永井 敦志 戸矢 雅人
河村 悦嗣
会計幹事 佐治 明
会計監査 今井 昇

(1) 第1回勉強会 (役員会)

開催日時：平成21年6月25日 木曜日 19:00～
場 所：埼玉医科大学総合医療センター5

階小講堂

内 容：「新方式直接変換FPDについて
(AMULET)」

講 師：FujiFilmMedical営業推進本部
X線モダリティ部 宮野 武晴

内 容：「乳がん検診におけるMMGの役割
(石灰化を有するDCISについて)」

講 師：埼玉医科大学総合医療センター
中央放射線部 橋本 美代子

参加者：28名

(2) 納涼会

開催日時：平成21年8月1日
場 所：川越プリンスホテルブッフエレス
トランエトワール

参加者：14名 (新人会員3名、会員11名)

(3) ボーリング大会 (役員会)

開催日時：10月21日19:00～21:00
場 所：川越ボーリングセンター
参加者：23名

(4) 第23回 川越健康まつり

ア、設営準備
開催日時：平成21年11月7日 (土) 13:00～
参加者：11名 (理事、地区役員5名 協力
会員2名 メーカー3名)

イ、川越健康まつり テーマ・川越みんなの健康
プラン 家族そろって健康づくり

開催日時：平成21年11月8日 (日) 8:30～
場 所：川越総合保健センター
参加者：11名 (理事、地区役員5名 協力
会員2名 メーカー3名)

- 1) あなたのための医療画像展』コーナー
パネル展示とその説明
- 2) 各種放射線検査についての説明
- 3) 乳房用X線撮影装置の説明
- 4) ワークステーション (Konica & GE
yokogawa) 体験

- 5) 来場者に川越お菓子屋横丁ご用達 駄菓子
子の景品配布
- 6) 医療画像に関するクイズ
一般参加：759名（総数3,063名）
- (5) 第2回勉強会
開催日時：平成21年11月26日（木）19:00～
場 所：埼玉医科大学国際医療センター
C棟1階 カンファレンスルーム
13
内 容：埼玉医科大学国際医療センターの
PETの役割、検査について」
講 師：埼玉医科大学国際医療センター
磯部 千恵
内 容：「埼玉医科大学国際医療センター
のPET装置について（装置、施
設見学）」
講 師：埼玉医科大学国際医療センター
高橋 強悦
参 加 者：16名
- (6) 新年会
開催日時：平成22年1月29日（金） 19：00～
場 所：和風居酒屋 旬天旬菜 然（ぜん）
参 加 者：20名
- (7) 第3回勉強会
開催日時：平成22年3月25日（木） 19:00～
場 所：埼玉医科大学総合医療センター
5F 小講堂
内 容：「MRIによる脳血流動態評価ASL
(Arterial Spin Labeling) 脳パフュ
ージョン検査の基礎的検討」
講 師：埼玉医科大学病院 中央放射線部
柳下 友明
参 加 者：28名
- (8) 平成21年度総会（役員会）
開催日時：平成22年3月25日（木） 19:00～
内 容：事業報告・会計報告及び平成22年
度事業計画（案）・予算（案）
- 参 加 者：28名（委任状90名）
- 第四地区
会 長（地区理事）長谷川 英治
副会長 山田 伸司
会 計 山崎 由紀敏
地域担当 尾川 光弘 齊藤 幸夫
小林 茂幸 吉田 真一
萩原 貴之
監 事 萩元 孝 白石 雄一
- (1) 地区役員会
開催日時：平成21年4月15日（水）18：30～
場 所：深谷赤十字病院 6名参加
- (1) 医療画像展
開催日時：平成21年6月7日（日）10：00～
場 所：秩父市保健センターまつり
実行委員：14名
来 場 者：約250名
頸動脈エコー実施者：120名
骨密度測定実施者：140名
- (2) 地区勉強会
開催日時：平成21年6月18日（木）18：30～
場 所：さくらめいと 第1会議室
内 容：最近のPACS動向について
講 師：コニカミノルタヘルスケア
久保 雄一 氏
参 加 者：38名
- (3) 地区役員会
開催日時：平成21年7月10日（金）18：30～
場 所：深谷赤十字病院 参加者 7名
- (4) 平成21年度第4地区納涼会
開催日時：平成21年7月31日（金）19：00～
場 所：熊谷市 大衆割烹 車屋
参 加 者：43名
- (5) 平成21年度深谷市健康まつり打合せ会議
開催日時：平成21年8月3日（月）13：00～
場 所：深谷市役所

- 参加者：1名
- (6) 地区勉強会
 開催日時：平成21年9月17日（木）18：30～
 場所：さくらめいと 第1会議室
 内容：注腸検査におけるニフレック・ガスモチン法での使用経験
 講師：筑波メディカルセンター病院 竹林 浩孝
 内容：注腸検査における前処置の重要性
 講師：深谷赤十字病院 中山 進
 参加者：53名
- (7) 地区役員会
 開催日時：平成21年9月17日（木）20：30～
 場所：さくらめいと 第1会議室
 参加者：7名
- (8) 深谷市健康まつり 医療画像展
 開催日時：平成21年10月25日（日）10：00～
 場所：深谷市ビッグタートル
 実行委員：14名
 来場者：約200名
 骨密度測定実施者：173名
- (8) 埼玉県放射線技師会ソフトボール大会
 開催日時：平成21年11月8日（日）9：00～
 場所：東京石油健保組合東松山グラウンド
 参加：1チーム 15名
- (9) 地区勉強会
 開催日時：平成21年11月12日（木）18：30～
 場所：埼玉県立循環器・呼吸器病センター
 内容：CT最新情報のご紹介（PHILIPS）
 講師：(株)フィリップスエレクトロニクス ジャパン 北織 潤一 氏
 内容：フィリップスBrilliance iCTの使用経験
 講師：埼玉県立循環器・呼吸器病センター 平野 幸夫
 内容：128列（256スライス）CTの焦点
- 偏向機構によるヘリカルアーチファクトの検討
 講師：埼玉県立循環器・呼吸器病センター 高橋 彩子
 参加者：47名
- (10) 平成21年度第4地区忘年会
 開催日時：平成21年11月25日（水）19：00～
 場所：キングアンバサダーホテル熊谷
 参加者：56名
- (11) 地区役員会
 開催日時：平成22年2月1日（木）18：30～
 場所：深谷赤十字病院
 参加者：8名
- (12) 平成21年度第4地区監査会および反省会
 開催日時：平成22年2月25日（木）19：00～
 場所：さくら水産AZ熊谷店
 参加者：10名
- (13) 地区勉強会 総会
 ア、勉強会
 開催日時：平成22年3月11日（木）18：30～
 場所：さくらめいと 第2会議室
 内容：FPDシステムの現状と展望
 講師：富士フィルムメディカル株式会社 関東MSセンター 宮野 武晴 氏
 内容：3Dワークステーション SYNAPSE VINCENTのご紹介
 講師：富士フィルムメディカル株式会社 北関東地区営業本部 藤倉 可奈 氏
 イ、総会
 平成21年度埼玉県放射線技師会第4地区会総会
 参加者：43名
- 第五地区
 地区理事 矢崎 一郎
 地区役員 上田 圭二 大嶋 健悟
 金子 初穂 鈴木 孝
 中村 禎志 中村 正之

町永 努 矢部 智

15:00

- (1) 地区役員会
開催日時：平成21年5月22日（金）18:30～
場 所：獨協医科大学越谷病院 参加8名
- (2) 第五地区親睦ゴルフ大会
開催日：平成21年5月31日（日）
場 所：足利カントリー飛駒コース
参加者：17名
- (3) 越谷市民祭り事業室会議
開催日時：平成21年6月23日（火）14:00～
場 所：越谷中央公民館
参加者：1名
- (4) 地区勉強会
開催日時：平成21年7月10日（金）18:30～
場 所：春日部市立病院
内 容：一般撮影への取り組み方 撮影の
 コツ
講 師：春日部市立病院 工藤 年男
参加者：67名
- (5) 懇親会
開催日時：平成21年7月10日（金）21:00～
場 所：日本海庄や春日部店
参加者：15名
- (6) 越谷市民祭り事業室会議
開催日時：平成21年7月14日（火）14:00～
場 所：越谷中央公民館
参加者：1名
- (7) 越谷市民祭り事業室会議
開催日時：平成21年9月15日（火）14:00～
場 所：越谷中央公民館
参加者：1名
- (8) 地区役員会
開催日時：平成21年9月18日（金）18:30～
場 所：獨協医科大学越谷病院
参加者：7名
- (9) 越谷市民祭り
開催日時：平成21年9月27日（日）9:00～

- 場 所：越谷市役所内
参加者：実行委員7名
医療画像展来場者：約300人
骨密度測定：288名
 - (10) 地区ゴルフ大会
開催日：平成21年11月3日（火）
場 所：千葉カントリークラブ北越谷パブ
 リックコース
参加者：20名
 - (11) 地区役員会
開催日時：平成21年11月27日（金）
場 所：越谷 花の舞
参加者：9名
 - (12) 地区総会
開催日時：平成22年2月19日（金）18:45～
場 所：越谷中央市民会館
参加者：30名
 - (13) 地区勉強会
開催日時：平成22年度2月19日（金）19:00～
場 所：越谷中央公民館
内 容：CTの物理特性
講 師：済生会川口病院 城處 洋輔
内 容：モニター診断の基礎知識
講 師：獨協医科大学越谷病院
 諏訪 和明
参加者：30名
 - (14) 懇親会
開催日時：平成22年2月19日（金）
場 所：越谷 花の舞
参加者：10名
- 第六地区
- 会 長（地区理事） 石川 直哉
 - 副会長 高嶋 豊
 - 監 事 新井 俊吉 濱守 誠
 - 学 術 北澤 健司 佐々木 健

- | | |
|--|---|
| <p>横山 寛 吉野 潤一
 広報 小川原佳和
 総務 榎本 雅彦 大角 哲也
 会計 岡田 智子 中島 有里</p> <p>(1) 地区役員会
 開催日時：平成21年4月9日（木）
 場 所：さいたま赤十字病院
 参加者：10名</p> <p>(2) 地区役員会・地区会報『Lock ON』第1号
 発行
 開催日時：平成21年5月9日（木）
 場 所：さいたま赤十字病院
 参加者：10名</p> <p>(3) 第8回さいたま市健康フェア準備会
 開催日時：平成21年6月2日（火）
 場 所：さいたま市保健センター
 参加者：1名</p> <p>(4) 第1回定期講習会
 開催日時：平成21年6月11日（木）
 場 所：さいたま赤十字病院
 内 容：テーマ1「大動脈解離について」
 講 師：指扇病院 石川 直哉
 内 容：テーマ2「当院での接遇における
 取り組み」
 講 師：上尾中央総合病院 組織管理課
 課長 柿崎 守光 氏
 参加者：36名</p> <p>(5) 納涼会
 開催日時：平成21年7月10日（金）
 場 所：おだいどころ はなれ 大宮東口店
 参加者：40名</p> <p>(6) 第3回 第6地区ボーリング大会
 開催日時：平成21年8月8日（土）
 場 所：スポーツ上尾スポーツレーンズ
 参加者：20名</p> <p>(7) 地区役員会・地区会報『Lock ON』第2号
 発行</p> | <p>開催日時：平成21年9月10日（木）
 場 所：さいたま赤十字病院
 参加者：8名</p> <p>(8) 第8回さいたま市健康フェア
 開催日時：平成21年10月4日（日）
 場 所：さいたまスーパーアリーナ
 参加者：3名（実行委員）</p> <p>(9) 埼玉県放射線技師会
 第33回ソフトボール大会参加
 開催日時：平成21年11月8日（日）
 参加者：25名</p> <p>(10) 第二回定期講習会
 開催日時：平成21年11月12日（木）19:00～
 場 所：さいたま赤十字病院 本館5階
 第三会議室
 内 容：テーマ『診療放射線技師の読影に
 ついて』
 講 師：丸山記念総合病院 医療技術部
 芦葉 弘志
 内 容：テーマ『3Dワークステーション
 SYNAPSEVINCENTについて』
 講 師：富士フィルムメディカル
 ITソリューション事業本部事業
 推進部
 事業企画グループ 杉田 匡之 氏
 参加者：31名</p> <p>(11) 忘年会
 開催日時：平成21年11月27日（金）19:00～
 場 所：「酒庵梟」東口店
 参加者：25名</p> <p>(12) 地区役員会・地区会報『Lock ON』第3号
 発行
 開催日時：平成21年2月5日（木）
 場 所：さいたま赤十字病院
 内 容：地区会報『Lock ON』第4号発行
 参加者：8名</p> <p>(13) 第六地区会定期総会及び、平成21年度第3回</p> |
|--|---|

定期総会

開催日時：平成22年2月25日（木）19:00～
 場 所：さいたま赤十字病院本館4階成人
 病センター
 内 容：テーマ『医療被ばく低減施設認定
 取得報告』
 講 師：上尾中央総合病院 佐々木 健
 参 加 者：20名

ImageJの使い方

講 師：土田 拓治
 参 加 者：6名

エ、平成21年度・東京埼玉医用乳房画像研究会総
 集編1

開催日時：平成21年8月30日
 場 所：さいたま赤十字病院
 内 容：「マンモグラフィの基礎」「品質管
 理」「自動現像機」「線量・線質」
 「超音波」

講 師：土田拓治、尾形智幸、越沼沙織、
 中島有里、新島正美、小林 剛、
 田中 宏、石栗一男、堀江好一、
 高島優子、落合多恵、瀬尾芳子、
 壬生慎治、永井祥子、根岸 徹、
 熊谷史範、斉藤弘巳、堀江直子、
 山下恵永

参 加 者：92名

オ、平成21年度・東京埼玉医用乳房画像研究会総
 集編2

開催日時：平成21年9月13日
 場 所：さいたま赤十字病院
 内 容：「装置の構成」「ポジショニング」
 「デジタル」
 「臨床画像評価」「病理」

講 師：土田拓治、尾形智幸、越沼沙織、
 中島有里、新島正美、小林 剛、
 田中 宏、石栗一男、堀江好一、
 高島優子、落合多恵、瀬尾芳子、
 壬生慎治、永井祥子、根岸 徹、
 熊谷史範、斉藤弘巳、堀江直子、
 山下恵永

参 加 者：110名

カ、平成21年度・東京埼玉医用乳房画像研究会総
 集編3

開催日時：平成21年10月4日
 場 所：さいたま赤十字病院

9. 研究会活動

(1) 医用画像研究会

読影支援業務（胸部単純、MMG、上部消化管）
 開催日時：毎週月曜日、金曜日
 場 所：(社)埼玉県放射線技師会センター

(2) 埼玉医用乳房画像研究会

ア、第14回東京・埼玉医用乳房画像研究会

開催日時：平成21年5月17日
 場 所：さいたま赤十字病院
 内 容：デジタル画像の基礎知識
 乳房用X線装置の受入試験と不変
 性試験
 医用モニタの基礎から品質管理ま
 で

講 師：根岸 徹、大塚 恭一
 参 加 者：84名

イ、第15回東京・埼玉医用乳房画像研究会

開催日時：平成21年6月14日
 場 所：さいたま赤十字病院
 内 容：乳癌取扱い規約 第16版 臨床編
 乳癌取扱い規約 第16版 病理編
 症例検討

講 師：田中 宏、永井 祥子
 参 加 者：83名

ウ、第1回デジタル勉強会

開催日時：平成21年6月25日
 場 所：さいたま赤十字病院
 内 容：DICOMデータの抽出方法と

内 容：「マンモグラフィの読影」「読影実習」
「読影練習と読影解説」

講 師：土田拓治、尾形智幸、越沼沙織、
中島有里、新島正美、小林 剛、
田中 宏、石栗一男、堀江好一、
高島優子、落合多恵、瀬尾芳子、
壬生慎治、永井祥子、根岸 徹、
熊谷史範、斉藤弘巳、堀江直子、
山下恵永

参加者：103名

キ、東京埼玉マンモグラフィ検診従事者講習会

開催日時：平成21年10月17日、18日

場 所：さいたま赤十字病院

内 容：NPO精度管理中央委員会の規定
に基づく

講 師：土田拓治、尾形智幸、越沼沙織、
中島有里、新島正美、小林 剛、
田中 宏、石栗一男、堀江好一、
高島優子、落合多恵、瀬尾芳子、
壬生慎治、永井祥子、根岸 徹、
熊谷史範、斉藤弘巳、堀江直子、
山下恵永、岡田智子

参加者：49名

ク、茨城県マンモグラフィ検診従事者講習会

開催日時：平成22年1月30日、31日

場 所：東京医大土浦医療センター

内 容：NPO精度管理中央委員会の規定
に基づく

講 師：尾形智幸、越沼沙織、田中 宏、
石栗一男、堀江直子

参加者：50名

(3) 埼玉消化管撮影研究会活動報告

ア、第24回 埼玉消化管撮影研究会

開催日時：平成21年5月9日（土）16：00～

場 所：さいたま赤十字病院5F講堂

内 容：今だから聞ける上部消化管撮影法
(DR撮影を含めて)

講 師：早期胃癌検診協会 工藤 泰

内 容：症例検討

講 師：早期胃癌検診協会 工藤 泰

参加者：46名

イ、第25回 埼玉消化管撮影研究会

開催日時：平成21年6月27日(土) 15：00～

場 所：さいたま赤十字病院5F第3会議室

内 容：今だから聞ける注腸X線検査撮影
法、造影法、精度管理法

講 師：埼玉県立循環器呼吸器病センター
腰塚慎二

内 容：見逃さないための注腸X線検査読
影法

講 師：埼玉県立循環器呼吸器病センター
腰塚慎二

参加者：61名

ウ、第26回 埼玉消化管撮影研究会

開催日時：平成21年7月26日(日) 12：00～

場 所：深谷赤十字病院1F多目的ホール

内 容：バリウムメーカー3社による製品
案内

今だから聞ける上部消化管撮影法
NPO日本消化器がん検診精度管
理評価機構が推奨する上部消化管
撮影のポイント

講 師：早期胃癌検診協会 工藤 泰

内 容：今だから聞ける注腸X線検査撮影
法、造影法、精度管理法

講 師：埼玉県立循環器呼吸器病センター
腰塚慎二

参加者：51名

エ、埼玉馬場塾

開催日時：平成21年8月22日(土) 15：00～

場 所：深谷赤十字病院多目的ホール

内 容：早期胃がんX線診断の基本につい
て

講 師：早期胃癌検診協会 馬場 保昌氏

内 容：症例検討
 講 師：早期胃癌検診協会 吉田 諭史
 オ、第27回 埼玉消化管撮影研究会
 開催日時：平成21年11月14日(土)15：00～
 場 所：埼玉県立がんセンター南館講義室
 内 容：上部消化管撮影法のレベルアップ
 ディスカッション
 前壁撮影における胃形別による撮
 影方法や圧迫枕の使い方
 講 師：さいたま赤十字病院 大森 正司
 レインボークリニック 志田 智樹
 内 容：胃形別の撮影技術やBaが流出し
 た時の対処法
 講 師：所沢市市民医療センター
 千田 俊秀
 内 容：胃X線読影法の基礎 ～早期胃が
 んを中心に～
 講 師：さいたま市民医療センター
 今出 克利
 参加者：94名

カ、第28回 埼玉消化管撮影研究会
 開催日時：平成22年2月28日(日)14：00
 場 所：さいたま赤十字病院第3会議室
 内 容：ニフレック(R)内用とガスモチ
 ン(R)の併用による
 前処置法
 講 師：味の素ファルマ(株)関東信越支
 店 松本 匡史 氏
 内 容：注腸検査におけるニフレック・ガ
 スモチン前処置
 ～注意点と臨床評価について～
 講 師：慶応義塾大学病院 中村 祐二郎
 内 容：注腸検査に必要なX線解剖と癌取
 扱い規約
 講 師：さいたま赤十字病院 大森 正司
 内 容：アンケート調査に基づく下部消化
 管撮影のポイント
 講 師：深谷赤十字病院 中山 進
 参加者：53名

平成21年度（社）埼玉県放射線技師会理事会審議事項

	議案番号	審議日時	案件	事由および内容	議決	顛末
第1回 常任理事会	常理-1	4月1日	埼玉県放射線管理士・機器管理士部会役員改選について	平成18年2月に部会が発足されて3年が経過し、数々の活動を行ってきた。このたび、部会長の任期満了・退任に伴い役員改選を行いたい。	承認	部会長： 堀江好一（新任） 副部会長： 諸澄邦彦（留任） 橋本里見（新任） 委員： 結城朋子（新任） 他委員：全留任
第1回 常任理事会	常理-2	4月1日	総会時の特別講演の講演者、テーマについて提案する	マネージメントの基本的な内容をお願いする。	承認	提案通り
第1回 常任理事会	常理-3	4月1日	医療機器安全管理者講習会（東京都放射線技師会主催）の後援依頼	今回、2回目を迎え前回同様に本会としても支援したい。	承認	提案通り
第1回 理事会	理-4	5月8日	平成21年度SARTセミナー開催について	新入会者促進のため平成21年度SARTセミナーを開催したい。内容は日本放射線技師会および埼玉県放射線技師会活動の解説、一般撮影に関する基礎的な学術講義等を予定している。	承認	提案通り
第1回 理事会	理-5	5月8日	第12回秩父保健センターまつり参加に際し、予算案の承認、展示パネル、のぼり旗、骨密度測定装置の貸出しについて	技師会活動の一環として第12回秩父保健センターまつりへ参加をし、医療画像展を開催したい。パネル展示とその説明、放射線医療の啓蒙活動、放射線検査の説明および医療被ばくの相談、超音波装置の展示、頸動脈計測、骨密度測定など。	承認	提案通り
第1回 理事会	理-6	5月8日	役員専用フリーダイヤルの導入について	役員所属施設や役員個人の携帯電話から技師会センターへの電話連絡において、電話代を技師会負担とするため、フリーダイヤルを導入したい。なお、この件については、21年度予算に組み入れ済み。	承認	A案で承認
第1回 理事会	理-7	5月8日	平成21年、22年度の総務・学術・編集・情報・公益委員会の委員選任について。	役員改編に伴い、各委員会における委員選任につきまして承認をいただきたい。	承認	提案通り
第1回 理事会	理-8	5月8日	平成21年～22年度事業、既存胸部、上部消化管認定講習会開催について CT認定講習会（仮称）の開催について	既存認定講習会の開催と新たにCT認定講習会の開催について。 認定講習会を行うことにより会員の意識向上と、学術的知識向上のため。	承認	提案通り
第1回 理事会	理-9	5月8日	表彰規程の改正について	平成20年11月改正の表彰規程について若干の不備があり改正を審議していただきたい。	承認	提案通り
第2回 常任理事会	常理-10	6月10日	ソフトボール大会の開催日時	11月8日（日）に東松山石油組合グラウンドにて開催予定。（予約済み）	承認	提案通り
第2回 常任理事会	常理-11	6月10日	編集・情報委員の追加推薦について	前年度編集・情報委員であった方から、今年度も編集・情報委員として資したい旨の申し出があった。自ら埼玉県放射線技師会に尽力したいという厚志を受け、編集・情報委員会として協議した結果、追加推薦すべきとの結論に達した。編集・情報委員会は、埼玉放射線6月号実績において100頁程度の編集・校正作業を行っており、委員の負担を分散する意味でも、再委嘱は心強い。本件に付いて審議の上、許可をいただきたい。	承認	ただし、1年間の活動実績を見ただうえで、正式委嘱とする。
第2回 常任理事会	常理-12	6月10日	レンタルサーバの容量増強（同一会社の別契約への変更）に関する検討開始について （契約先の会社変更は、ドメインサービスの状況から検討案件から除外。）	現在、埼玉県放射線技師会のWebサイトは、ファーストサーバ株式会社（本社：大阪、Yahoo関連企業、資本金3.6億円）のレンタルサーバ上で稼働しており、メール等のインフラ機能全てを単一契約で担っている。現在の契約は、契約時には適切であったと推察されるが、レンタル領域の総容量が300MBと現在の爆発的なIT普及状況からは、かなり少なく、現契約自体も新規契約は終了している。そこで、現在のサービスから適切なコースを選択し、契約を更新する目的で、調査・検討を行いたいので承認願いたい。	承認	提案通り
第2回 常任理事会	常理-13	6月10日	埼玉県放射線技師会が発行する「埼玉放射線」に、編集・情報委員会から「原稿依頼」を行った場合、原稿料の支払いに関する報酬規定の作成について。	現状、埼玉放射線への執筆については、原稿料の支払い規定がない。また、会員からの寄稿については、原則報酬の支払いを想定していない。 しかし、良質な情報や著作については、それ相応の対価を必要とすることが一般的となり、現在のスキームでは、会員からの要望にも応えきれない。 そこで、埼玉放射線の内容拡充に向け、「編集・情報委員会から」会員への啓発等を目的とし、記事・原稿の依頼を行った場合に限り、会員・非会員を問わず、執筆者に報酬を支払うべきと考えられるが、如何か。規定は、編集・情報委員会で作成し、次期理事会へ提出とした。	承認	規程案を作成し、次期理事会へ提出とした。

第2回 常任理事会	常理-14	6月10日	編集・情報委員の通信回線使用に対する補助規定について	今年度から編集作業の電子化（電子データをダウンロードして各自が校正後、委員会時に情報を持ち寄る）を実施したことで、作業の効率化・迅速化が行えており、校正品質の向上にも寄与したと考えている。一方で、委員個人における通信回線の接続フィーが、通常のメールレベルとは大きく異なる状況となっている事も事実で、数～数十MBのファイルをダウンロードするために、通信インフラへの支出が無視できない状況となっている。そこで、編集時に校正結果の報告を前提として、通信費の補助を行うための規定を検討したいが如何か。（1回数百円程度で役員は対象としない。）	承認	内規案を作成し、次期理事会へ提出することとした。
第2回 常任理事会	常理-15	6月10日	Web配信するコンテンツの責任分担に関する確認事項について。	現状、技師会からWebにて配信するコンテンツ（Webサイト・メールマガジンの内容）については、各理事からの依頼をそのまま配信している。前回の編集・情報委員会で、本運用における脆弱性を指摘する意見があった。確認事項として、コンテンツの掲載許可に関する最終判断及び、コンテンツの内容に関する適正性の判断が、どの時点において誰の権限か確認したい。最終責任：会長、配信の許可：編集・情報委員長、コンテンツの内容責任：提案者で良いか。	承認	提案通り
第2回 常任理事会	常理-16	6月10日	埼玉県放射線技師会が運営する会員専用Webサイト内の、「予約」を含むCGIスクリプトについて、有償高機能版へ更新を行うための検討を開始したい。	現在の予約に関するCGIスクリプトは、最低限の機能が動作するのみで、拡張性に乏しい。現在、骨密度測定装置の貸し出し予約システムを構築するための検討を行っているが、現状のCGIスクリプトでは限界である。業務用との高機能なCGIスクリプトは有償であるため、数万円程度のソフトウェアを購入する方向で検討を開始したい。	承認	委員会を発足させ、検討することとした。
第2回 常任理事会	常理-17	6月10日	埼玉県放射線技師会のWebサイト内に、学術ライブラリを設ける提案について。	前提として、画像サーバの容量拡張が必要である。埼玉放射線学術大会の発表後抄録等、埼玉放射線に収録された、学術的に意義のあるドキュメントを電子データ化し（PDF等）、埼玉県放射線技師会のWebサイト内に配したライブラリ内に保管し、検索・閲覧可能な環境を構築することで、会員の学術資料検索に役立てたい。	承認	委員会を発足させ、検討することとした
第2回 常任理事会	常理-18	6月10日	編集・情報委員会では、「埼玉放射線」に、各地区の掲示板を設けたいと考えている。これに伴い、地区役員に1頁以上の原稿提供を責務としたいがよろしいか。	各地区の活動状況を埼玉放射線に収録するにあたり、1頁以上の原稿を寄せてもらう。内容は、地区役員が自由とするか、基本的なフォーマットは提供する。各地区での予定や活動報告、話題や要望などを地区役員が取材することで、各地区と埼玉県放射線技師会会員との結びつきを強めたい。	承認	提案通り
第2回 理事会	理-19	7月1日	わたしたち診療放射線技師のしごと」の小冊子増刷について	これから医療画像展などの公益活動が増えるため増刷をしていきたい。予定部数3000部、見積もり書別紙参照。	承認	提案通り
第2回 理事会	理-20	7月1日	スタッフジャンパーのクリーニングについて	スタッフジャンパーのクリーニングは各地区ごとにお願います。領収書を公益委員会 中村まで提出してもらい結城常任理事へ提出する。	承認	公益委員会で内規を作成し対応
第2回 理事会	理-21	7月1日	第35回越谷市民祭りに参加し、開催予定の医療画像展における予算案の承認及び展示パネル、骨密度測定装置の貸し出しについて	第35回越谷市民祭りに参加し、医療画像展を開催したい。放射線検査の説明及び医療被ばくの相談。パネル展示とその説明。	承認	提案通り
第2回 理事会	理-22	7月1日	平成21年度事業計画における会員カード発行及び会員データベース再構築を行うにあたり委員会発足の必要性について	カードの属性入力、運用方法また基になる会員データベース再構築を検討するための委員会発足の必要性がある。理事会及び常任理事会で検討するには開催回数と十分な時間が必要であり委員会が骨子を検討し理事会で審議していく手法が合理的である。委員会メンバーは案として総務・財務担当理事に松田常任理事、肥沼理事を加え小川会長にはオブザーバーとして参加していただく、ご審議をお願いしたい。	承認	第1回会議は、拡大会議として、次回からは、堀江・橋本・松田・肥沼・結城・田中・矢部・学術（1名選出）とする
第2回 理事会	理-23	7月1日	CT講習会受講料。提案5000円 会員、非会員の扱いなど 参考書：これだけは知っておこうCT検査	他認定講習会と同一金額で行うのがよいと委員会で意見あり。高くしすぎない程度。	承認	全課程 会員：5000円 非会員：8000円 1日受講 会員2000円/日非 会員：3000円/日
第2回 理事会	理-24	7月1日	会場は大宮ソニックシティで開催したいと考えていますので宜しくご審議のほどお願いいたします。会場予約ですが、大宮ソニックシティは9月1日に予約するが、抽選になる可能性があり、一応、8月1日に県民活動センターは予約しておく。開催日は3月14日（日曜日）として提案させていただきます。	第25回大会の、平成23年度学術大会技術学会関東部会も開催は埼玉で予定されているため合同で学術大会を行いたく、その予行練習も兼ね、会場の導線、開催方法など経験したい。合同開催においては各団体での理事会での審議が必要であるが、前向きに検討していただきたいと思う。立地、ネームバリューでの参加人数増加を見込む。新しい企画（案）、予算（案）は別紙参照。	承認	（展示室）を広い会場へ変更

第2回理事会	理-25	7月1日	救急の講習会開催に関して。	内容は当直業務で技師として必要な知識及び、医師の求めているもの。講師は技師と医師の両方に依頼する。今後は、埼玉県の認定講習会となるようにしたい。	承認	提案通り
第2回理事会	理-26	7月1日	治療講習会の開催（仮称）内容は別紙参照してください。	放射線治療において診療放射線技師が取得可能な認定資格（医学物理士、放射線治療専門技師、放射線治療品質管理士）の中で、今回は医学物理士にスポットをあてた講習会を企画した。診療放射線技師が医学物理士の認定を受け、品質管理や精度管理にかかわり、安全な放射線治療をどのように目指していくかを考える講習内容である。	承認	会費 埼玉会員：500円 非会員：1000円
第2回理事会	理-27	7月1日	学術委員 追加推薦。さいたま赤十字病院 大森正司様を学術委員として推薦しますので、承認いただきたく思いますので宜しくお願いいたします。	もともと、埼玉消化管研究会でご尽力され、消化管認定講習会でもお力をいただいている。今後、消化管関係の企画、立案も是非お願いしたいと思う。また、講習会開催がさいたま赤十字病院で多く開催されるため現地委員の増員していただければとも思う。学術委員会では是非委員に加わっていただきたいと満場一致したので是非ご承認いただきたい。	承認	提案通り
第2回理事会	理-28	7月1日	社団法人埼玉県放射線技師会内部規定の制定	別紙の通り	承認	一部修正
第2回理事会	理-29	7月1日	編集・情報委員の追加推薦について	新年度作業開始後に、前年度編集・情報委員であった栗田裕樹氏から、今年度も編集・情報委員として資したい旨の申し出があった。自ら埼玉県放射線技師会に尽力したいという厚志を受け、編集・情報委員会として協議した結果、追加推薦すべきとの結論に達した。編集・情報委員は、埼玉放射線6月号実績において100頁程度の編集・校正作業を行っており、委員の負担を分散する意味でも、栗田氏の再委嘱は心強い。年度途中でもあるため、1年間の期限付き委員として追加推薦したい。本件に付きまして、ご審議の上、許可を願いたい。	承認	提案通り
第2回理事会	理-30	7月1日	現在「埼玉放射線」では、各地区で開催される研修会やイベント等の情報を、各地区からの申請により掲載している。今後は、個別の申請ではなく、「埼玉放射線」上へ、各地区の掲示板スペースを設け、定期的な情報発信に利用して欲しいと考えている。これに伴い、地区役員に1頁以上の原稿提出を責務としてお願いしたい。	各地区の活動状況を埼玉放射線に収載するにあたり、定期原稿締め切り日程ベースで、1頁以上の原稿を寄せてもらう。内容は、地区役員の自由とするが、基本的なフォーマットは提供可能とする。各地区での予定や活動報告、話題や要望などを地区役員が取材することで、各地区と埼玉県放射線技師会会員との結びつきを強めたい。	承認	提案通り
第2回理事会	理-31	7月1日	平成21年度埼玉県放射線技師会ゴルフ大会の開催について	毎年、会員相互の親睦を深めるためにゴルフ大会を開催しているが、今年度も開催要望の声が上がっている。開催の可否について審議を願いたい。	承認	提案通り
第2回理事会	理-32	7月1日	平成22年度日本消化器がん健診学会第42回放射線部会学術総会の名義後援依頼について	平成22年2月20日群馬県県民健康科学大学にて開催予定の表記総会学術大会の名義後援依頼が届いた。例年、本会はこの案件に対し後援し会長出席をしている。今回も同様に承認したい。	承認	提案通り
第2回理事会	理-33	7月1日	新入会員について	6月24日現在、新入会18名、再入会1名の承認をお願いしたい。	承認	提案通り
第3回常任理事会	常理-34	8月5日	第25回埼玉放射線学術大会において、学術委員会 公益委員会共同により公益事業の一環として、県民公開講座の開催および内容について	医療画像展の開催 ○パネルの展示 ○医療被ばく相談 ○骨密度測定 ○骨粗鬆症に関する講演（20分×3回）	継続審議	事業案と予算案を作成し、次期理事会で検討とした。
第3回常任理事会	常理-35	8月5日	日本放射線技師会政治連盟埼玉支部設立要請	従来の日本放射線技師会政治連盟は解体し、新執行部となり、選挙対策ではなく、政策を掲げ、それに賛同してくれる人を応援するシステムになった。	継続審議	組織設立には賛同するが、代表者は理事外より選出することとして、次期理事会へ提出とした。
第3回常任理事会	常理-36	8月5日	埼玉県放射線技師会が発行する「埼玉放射線」に、編集・情報委員会から「原稿依頼」を行った場合の、原稿料の支払いに関する著作権依頼規定の作成について。	前回の常任理事会に提案した、原稿料の支払いに関する規定を策定したので、審議を願いたい。（要旨）著作権は、埼玉放技。 原稿料は、初めの1000字まで3000円、それ以降1000字毎に1000円、会員以外は50%増し。（会誌1頁全て文字の場合約814字）	一部修正し承認	別途、内規を作成し、顧問税理士にも相談をすることとした。

第3回理事会	理-37	9月2日	第8回市民公開講座の開催 予算案の承認、講師依頼の 連名での発行 骨密度装置の貸し出し	公益活動の一環として企画。所沢ミュージズにて開催。 「股関節・膝関節」をテーマとした講演。 講演に技師・栄養士・PT・医師・人工関節メーカーなどを 予定。 放射線展としてパネル展示と骨密度計測を行う。	承認	提案通り
第3回理事会	理-38	9月2日	第25回埼玉放射線学術大会 において、学術委員会 公 益委員会共同により公益事業 の一環として、県民公開講座 の開催および内容について	医療画像展の開催 ○パネルの展示 ○医療被ばく相談 ○骨密度測定 ○骨粗鬆症についての講演 (20分×3回)	承認	広域に、広報を することを追加 した。
第3回理事会	理-39	9月2日	理事会ごとに各地区の会員 情報をCDにてパスワードを かけ渡す	これまで年に1回、会員情報を各地区理事に渡していたが、 理事会ごとに渡す。	承認	セキュリティ に留意すること を加えた。
第3回理事会	理-40	9月2日	会員の動向の承認について	資料の通り	承認	提案通り
第3回理事会	理-41	9月2日	第8回さいたま市健康フェア 参加に際し、予算案の承認 および展示パネル、のぼり、 骨密度装置の貸し出しにつ いて	技師会活動の一環として、さいたま市健康フェアで、放射 線展を開催したい。 医療で用いる放射線検査についての説明。 放射線管理士による被ばくに関する相談コーナーの設置。 骨密度測定の実施。1台予定。	承認	スタンプラリーに は参加せず、参加 証については、 主催者と検討す ることとした。
第3回理事会	理-42	9月2日	第4回深谷市福祉健康まつり 参加に際し、予算案の承認 および展示パネル、のぼり 旗、骨密度測定装置の貸出 しについて	技師会活動の一環として、第4回深谷市福祉健康まつりへ 参加をし、医療画像展を開催したい。・パネル展示とその 説明・放射線医療の啓蒙活動・放射線検査の説明および医 療被ばくの相談・超音波装置の展示、頸動脈計測、骨密度 測定など。	承認	提案通り
第3回理事会	理-43	9月2日	学術大会 テーマとして 医用画像最前線 ～あしたの健康のために～ とした。	今回は大宮ソニックで行うことを念頭に置き、市民にア ピール。(わかりやすい大会テーマを提案したい。) このテーマに沿った企画を考えていく。	承認	テーマは「医用 画像最前線～あ したの健康のた めに～」とした。
第3回理事会	理-44	9月2日	学術大会 ランチョンセミ ナー依頼の件 1社に限定して依頼する。 弁当数については今後検討 していく。	前回から依頼を1社にした。お弁当のあまりも少なく良 かったので、今回も1社企画にしたい。(ソニックシテイ の場合、近隣に飲食店があるため、余ってしまう可能性が あるなど)	承認	提案通り
第3回理事会	理-45	9月2日	著作物作成依頼規定(案) について	会誌である「埼玉放射線」等の出版事業において、出版物 への収録を目的とし、埼玉県放射線技師会から著作物の作 成を依頼する場合の規定について、上程案を審議の上承認 願いたい。	承認	提案通り
第3回理事会	理-46	9月2日	著作物作成依頼内部規定 (案)について	著作物作成依頼規定第10条に定める著作物の作成報酬関する 内部規定について、上程案を審議の上承認願いたい。【要旨】 (ア) 基本作成報酬として、原稿執筆に換算し1,000字まで 3,000円 (イ) それ以降、1,000字毎に1,000円 (ウ) 非会員が著作者の場合、会員の作成報酬に対し50% を割り増す (エ) 会長が必要と認めた場合、上記に依らず個々の案件 毎に報酬を決定	承認	提案通り
第3回理事会	理-47	9月2日	著作物作成依頼規定の特例 適用について	著作物作成依頼を、今回に限り、平成21年10月発行の埼玉 放射線第五十七巻第五号に関する編集企画への依頼(平成 21年8月14日依頼)に対し遡って適用したい。【理由】 会誌「埼玉放射線」では、第五十七巻第五号より、学術特 集を企画した。これは、編集・情報委員会が特定の学術企 画に対し選任した執筆者に原稿の作成依頼を行うことで成 り立っている。当然依頼原稿の納品に対し作成報酬を支払 うべきと考えられ、当該規定を遡って適用したい。	承認	提案通り
第3回理事会	理-48	9月2日	日本放射線技師会政治連盟 埼玉支部設立要請	従来の日本放射線技師会政治連盟は解体し、新執行部とな り、選挙対策ではなく、政策を掲げ、それに賛同してくれ る人を応援するシステムになった。	承認	組織責任者は、 当会役員とは別に 定めることとした。
第3回理事会	理-49	9月2日	所沢市健康まつり あなたのための放射線展開 催	所沢市健康まつりに法人活動の一環として参加。「あなた のための放射線展」を開催。 放射線検査についての質問、パネル展示、骨密度測定、放 射線診療や技師会活動報告を行い市民と交流を図る。	承認	提案通り
第3回理事会	理-50	9月2日	第23回川越市健康まつりに おいて「あなたのための医 療画像展」の開催に際し、 その予算案の承認、委嘱状 交付、及び展示パネルのぼ りの貸し出しについて	川越市健康まつりにて、法人活動の一環として医療画像展 を開催。 (内容)・パネル展示とその説明・放射線検査についての説 明・乳房用X線撮影装置についての説明・医療画像に関す るクイズ・アンケート・ワークステーション体験 等	承認	提案通り

第4回 常任理事会	常理-51	10月7日	学術大会における骨粗鬆症についての講演 講師依頼の件	第25回埼玉放射線学術大会において公益事業として公開講座（骨粗鬆症について）の講演をお願いしたい。また、講師に対する報酬、依頼状もお願いしたい。	承認	提案通り
第4回 常任理事会	常理-52	10月7日	学術大会における骨密度測定の説明、保健師依頼の件	第25回埼玉放射線学術大会において公益事業として骨密度測定をおこなう。その際、市民に対する結果等の説明を保健師をお願いしたい。また、保健師に対する報酬・依頼状も合わせてお願いしたい。	承認	結果説明に保健師を依頼することについては行わないこととした。
第4回 常任理事会	常理-53	10月7日	電離箱サーベイメータ点検校正に関して	漏洩線量測定業務にて使用している電離箱サーベイメータの点検校正を行いたい。 見積り書（別紙）	承認	提案通り
第4回 常任理事会	常理-54	10月7日	学術大会で座長、シンポジストには記念品を差し上げたい。	座長は、会からのお願いなのでお礼をするべきである。今年の関東甲信越大会でも記念品は贈っていた。USB（数百円のものを用意すればいいのではないかと思う。）ロゴなどは検討必要。	承認	次期理事会へ提出。
第4回 常任理事会	常理-55	10月7日	「乳がん市民フォーラム」後援依頼	特定非営利法人 埼玉乳がん臨床研究グループ（SBCCSG）から「乳がん市民フォーラム」開催に対し後援依頼が届いた。昨年と同様に後援を提案する。 平成22年5月9日（土）大宮シニックスシティ大ホール	承認	提案通り
第4回 常任理事会	常理-56	10月7日	「全国X線CT技術サミット」後援依頼 平成22年7月24日（土）10:00から19:00・会場：ラフレさいたま	全国CTX線技術サミットはX線CT技術の発展に寄与することを目的に、世話人有志による会運営を続けてきた。この度平成22年度開催地として「埼玉県」が選ばれ、当該技師会に後援依頼が提出された。	承認	提案通り
第4回 理事会	理-57	11月4日	平成21年度ヘルシー・フロンティア埼玉県会議における展示パネル（平成20年度の技師会公益活動）の件	平成21年度ヘルシー・フロンティア埼玉県会議・健康づくりフォーラムに参加の際、技師会公益活動を紹介する為、平成20年度における技師会公益活動のパネルを展示したい。	承認	提案通り
第4回 理事会	理-58	11月4日	電離箱サーベイメータ点検校正に関して	漏洩線量測定業務にて使用している電離箱サーベイメータの点検校正を行いたい。	承認	提案通り
第4回 理事会	理-59	11月4日	学術大会における骨粗鬆症についての講演 講師依頼の件	第25回埼玉放射線学術大会において公益事業として公開講座（骨粗鬆症について）の講演をお願いしたい。また、講師に対する報酬、依頼状もお願いしたい。 講師 東洋メディック 吉岡氏	承認	提案通り
第4回 理事会	理-60	11月4日	会員の動向について	新入会員の承認	承認	提案通り
第4回 理事会	理-61	11月4日	平成22年「新春の集い」の開催について	毎年、賀詞交歓会として「新春の集い」を開催してきた。新入会員の紹介や賛助会員の挨拶等、会員同士の親睦を兼ね開催の承認をお願いしたい。また、優待券の扱いについてもご検討頂きたい。優待券あり：¥5,000 優待券なし：¥6,000 賛助会員：¥10,000	承認	提案通り
第4回 理事会	理-62	11月4日	会費滞納者の再入会について	3年分の会費滞納者について、退会通知を本人郵送し返答がなかったため退会処理を行ったが、後に会費納入があった。本人より、会員籍を継続して欲しい旨の嘆願があり、再入会の形で会員籍を継続してよろしいか。	承認	本人より、経緯を伺い特例として承認した。
第4回 理事会	理-63	11月4日	埼玉放射線Webサイト（レンタルサーバ）の更新計画について。移行期間を含め更新のための新領域を平行でレンタルしたい。	埼玉放射線のレンタルサーバにおけるデータ領域が枯渇してきた。可及的速やかにレンタルサーバの容量を増やす必要がある。 1、現契約で容量を増設することは費用対効果比上、無理がある。 2、契約の変更により、現契約と同程度の賃借料にて、約100倍の領域が確保可能である。 3、増設ではなく、移行期間が必要なため、平行賃借を必要とする。このままでも、いつかは必要な措置である。	承認	提案通り
第4回 理事会	理-64	11月4日	学術大会で座長、シンポジストには記念品を差し上げたい。	座長は、会からのお願いなのでお礼をするべきである。今年の関東甲信越大会でも記念品は贈っていた。USB（数百円のものを用意すればいいのではないかと思う。）ロゴなどは検討必要。	承認	提案通り
第5回 理事会	理-65	12月9日	会員の動向について	新入会員の承認。	承認	提案通り
第5回 理事会	理-66	12月9日	埼玉放射線学術大会において、座長等、本会が依頼をした場合、記念品を贈呈することができる内規を制定する。	学術大会等で記念品の贈呈に関する規程。 第1条 この規程は、定款及び諸規定にかかる必要事項を定めることを目的とする 第2条 この規定の制定、改定、削除は理事会の承認を要する 第3条 本会が主催する学術大会等で座長、講演、シンポジストを依頼した場合、記念品を贈呈することができる	承認	内規を制定することとした

第5回理事会	理-67	12月9日	消化器がん検診学会からの学術大会開催における寄付金要請について	大会長に放射線技師が初めて選出され、大会開催に際し寄付金を依頼してきた。	継続審議	他県技師会の動向を見た上で、再検討することとした。
第5回理事会	理-68	12月9日	平成22年度事業計画(案)	平成22年3月開催予定の総会に上程する。 平成22年度 事業計画(案)の審議。	承認	一部、文言を修正し承認した。
第5回理事会	理-69	12月9日	平成21年度 補正予算(案)	平成21年度の予算執行に伴い、補正の必要が生じたので補正予算(案)についての審議。	承認	提案通り
第5回理事会	理-70	12月9日	平成22年度 当初予算(案)	平成22年3月開催予定の総会に上程する。 平成22年度当初予算(案)の審議。	承認	提案通り
第6回理事会	理-71	2月3日	埼玉県放射線管理士・機器管理士部会の解散申請	会員を多数集めることのできるイベントを企画することが困難である放射線管理・機器管理は、どちらも重要な技師の職務と思われるが、埼玉技の中に部会として存続させるほど企画が考えられない。	承認	管理士部会役員にも意見を求めることとした。
第6回理事会	理-72	2月3日	センターパソコンの更新とソフトウェアの購入について	現在、センターで使用しているデスクトップパソコンは、平成16年4月に購入したもので老朽化しており、ソフトウェアの動作も重くなり使用に耐えなくなっている。今年度予算(予算25万円)でも購入予定となっているので、予算どおり購入を申請する。	承認	提案通り
第6回理事会	理-73	2月3日	第1回わくわくさいたまいきいき祭り(浦和バルコ健康祭り)参加に際し、予算案の承認および展示パネル、のぼり、骨密度装置の貸し出しについて	技師会活動の一環として、浦和バルコで開催の「わくわくさいたまいきいき祭り」に放射線展を開催したい。医療で用いる放射線検査についての説明、無料骨密度測定の実施(1台)。	承認	提案通り
第6回理事会	理-74	2月3日	入間市健康まつりあなたのための放射線展開催	入間市健康まつりに法人活動の一環として参加。「あなたのための放射線展」を開催。 放射線検査についての質問、パネル展示、骨密度測定、放射線診療や技師会活動報告を行い市民と交流を図る。	承認	提案通り
第6回理事会	理-75	2月3日	平成21年度事業の会員カード発行について審議をお願いしたい。 業者選定 発送時期 追加発行手段	会員カード作成業者の選定。 (0.5mmプラスチックカードで1300枚、表カラー、会員番号氏名バーコード印字) 1. 東京カードソリューションズ株式会社 見積額163,800円で安価だが質感やや悪い 2. プラスデザイン株式会社 見積額286,020円が高価だが質感良し 発送時期：平成22年3月中(新入会員がない時期) 来年度の追加発行手段の検討 1、全て業者任せで2ヶ月毎の発行(その都度10,000円以内の支出) 2、プリンターを購入して自作(印字プリンターの購入資金50万程度が必要)	承認	依頼業者は、東京カードソリューションズ株式会社とし、カードの追加発行は、2か月毎とし業者委託とした。
第6回理事会	理-76	2月3日	金森セミナーの開催 名称(案) 実践臨床画像セミナー	「実践核医学検査」発刊に際し、金森セミナー開催を提案したい。過去にも数回、本県にて開催している経緯もあり、臨床医学知識の重要性を過去から強く唱えている内容を再度講義する。 日程：平成22年4月18日(日) 9:00~16:00 場所：さいたま赤十字病院会議室 受講料：1000円 経費：交通費、宿泊費、講師料は医薬品会社が負担(要請中)。 テキスト：過去発刊されたct、MRI、USを使用の予定。「実践核医学検査」は配布予定。 但し、講義内容は印刷し配布を検討する。開催責任者：橋本	承認	提案通りではあるが、会場のみ再検討することとした。
第6回理事会	理-77	2月3日	決算総会および懇親会について	平成22年5月29日(土)、決算総会および懇親会を開催したい。	承認	予約状況に合わせて会場を検討中。
第6回理事会	理-78	2月3日	会員の動向について	新入会員の承認。	承認	提案通り
第6回理事会	理-79	2月3日	会員データベースの構築に向け、調査事業の一環として、公立学校法人会津大学と、交流事業を実施したい。	今後、会員カードの作成と共に、会員データベースの再構築が必要となるが、会津大学の教育カリキュラムと連動し、データベース構築に必要な技術動向や実装情報についての知見を得る。具体的には、埼玉県放射線技師会のWeb型会員データ管理システムを技術実習の一環として会津大学側が試作。その過程で、必要な技術情報の取得を行い、最終的に、成果物の評価・試用を行う。(ただし、調査目的のため成果保証は要求しない) 1、リアルなクライアントとして、技術実習に関与。必要な情報を取得。学生に埼玉県放射線技師会の活動を紹介する。	承認	提案通り

第6回 常任理事会	常理-80	3月3日	埼玉ConeBeamCT研究会の 後援のお願い		取り 下げ	ただし、広報に ついては協力す ることとし、HP へ掲載を認めた
第6回 常任理事会	常理-81	3月3日	埼玉開催のCTセミナーを技 術学会関東部会のCTGUM 研究会との共催にて埼玉で 開催したいと思いますのでよ ろしくご審議お願いいたし ます。		取り 下げ	
第6回 常任理事会	常理-82	3月3日	日本放射線技術学会_第57 回関東部会研究発表大会の 後援依頼について	平成23年2月4日、5日に大宮ソニックシティーにて開催さ れる、第57回関東部会研究発表大会の後援をお願いしたい。	承認	提案通り
第6回 常任理事会	常理-83	3月3日	日本放射線技術学会_第57 回関東部会研究発表大会の 合同企画開催についての可 否を審議いただきたい。 また、合同開催が可能な場 合、予算についてはどの程 度まで捻出可能かも審議い ただきたい。(案)ではある が、2日目のランチョン時に 合同シンポジウムを想定す るとして、弁当300個分(30 万円)程度の協力は可能か。	第57回 関東部会研究発表大会、大会長：諸澄邦彦、実行 委員長：柳田智より、提案書を拝受した。(添付資料を参 照願いたい。)	継続 審議	関東部会側と当 会で一度意見交 換をすることと した。
第7回 臨時理事会 メール会議	理-84	3月10日	「平成22年度当初予算 (案)」の一部変更について	前回の理事会で承認された「平成22年度当初予算(案)」 に関し、顧問税理士より、「平成23年に公益社団法人格取 得の申請を行うためには、承認された予算(案)の一部を 訂正しなければ申請が難しいのではないか。」と指導を受 けた。このため、本メールに添付した、一部変更後の予算 (案)について再度承認をいただきたい。なお、予算変更 の詳細については、添付ファイル「平成22年度一般会計予 算の概要について」を参照。	承認	提案通り

第4号議案 定款の変更の案（特別決議）

但し、公益社団法人移行の登記を停止条件とし、今後、移行認定申請に伴う主務官庁の指導による若干の修正は、理事会に一任することを前提とする。

公益社団法人埼玉県放射線技師会定款（案）

平成 年 月 日制定

第1章 総則

（名 称）

第1条 この法人は、公益社団法人埼玉県放射線技師会と称する。

（事務所）

第2条 この法人は、主たる事務所を埼玉県さいたま市に置く。

第2章 目的及び事業

（目 的）

第3条 この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線科学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

（事 業）

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 診療放射線科学を通じての社会活動
- (2) 診療放射線科学及び放射線技師の職業倫理高揚に関する研修会、研究会、講習会等の開催
- (3) 放射線管理の実践と医療被曝の最適化に関する事業
- (4) 診療放射線科学に関する調査、研究及び指導
- (5) 診療放射線科学に関する国際協力
- (6) 前各号に関する図書、印刷物等の刊行
- (7) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携強調の促進
- (8) その他この法人の目的を達成するために

必要な事業

- 2 前項第7号の事業は、日本全国、その他の事業は県内において行うものとする。

第3章 会 員

（種 別）

第5条 この法人に次の会員をおく。

- (1) 正会員 診療放射線技師及び診療エックス線技師であってこの法人の目的に賛同して入会した者
- (2) 名誉会員 この法人に特に功労のあった正会員のうち、理事会の推薦を受け総会の承認を得た者
- (3) 賛助会員 正会員の資格を有しないもので、この法人の目的に賛同して、理事会の承認を得た者、又は団体

- 2 前項の会員のうち正会員及び名誉会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

（会員の資格の取得）

第6条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申し込みをし、その承認を受けなければならない。

（経費の負担）

第7条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員になった時及び毎年、会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う。

- 2 名誉会員は、前項における経費を負担することを要しない。

(任意退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき

2 前項の規定により会員を除名しようとするときは、その会員にあらかじめ通知するとともに、当該会員に除名の議決を行う総会において弁明の機会を与えなければならない。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき
- (2) 総会員が同意したとき
- (3) 当該会員が死亡し、又は解散したとき

(会費等の不返還)

第11条 退会し、又は除名された会員が既に納入した会費、その他の金品はこれを返還しない。

第4章 総会

(構成)

第12条 総会は、正会員及び名誉会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

(権限)

第13条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任

- (3) 理事及び監事の報酬等の額
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）、並びにこれらの附属明細書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) 不可欠特定財産の処分の承認
- (8) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後2箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第15条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 正会員及び名誉会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する会員は、代表理事に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

第16条 総会の議長は、その総会において出席会員の中から選出する。

(議決権)

第17条 総会における議決権は、会員1名につき1個とする。

(決議)

第18条 総会の決議は、総会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総会員の半数以上であって、総会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散

- (5) 不可欠特定財産の処分
- (6) その他法令で定められた事項
- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(書面表決等)

第19条 やむを得ない理由のため、会議に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について、書面又は電磁的記録をもって表決し、又は他の会員を代理人として表決を委任することができる。この場合において、委任者は総会に出席したものとみなす。

(議事録)

- 第20条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 議長及び会議に出席した構成員の中からその会議において選出された議事録署名人2名以上が記名押印する。
- 3 第1項の規定により作成した議事録は、主たる事務所に10年間、従たる事務所に5年間備置かなければならない。

第5章 役員

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事15名以上20名以内
- (2) 監事2名以内
- 2 理事のうち1名を会長とし2名を副会長、6名を常務理事とする。
- 3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選

任する。

- 2 会長、副会長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。この場合において、理事会は、総会の決議により会長候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する方法によることができる。

(理事の職務及び権限)

- 第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。
- 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副会長及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

(監事の職務及び権限)

- 第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

- 第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。
- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第26条 理事及び監事は、総会の決議によって解

任することができる。

(報酬等)

第27条 役員は原則として無報酬とする。ただし、役員にはその職務執行の対価として報酬を支給することができる。

2 役員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

3 前2項に関し必要な事項は、総会の決議により別に定める役員の報酬並びに費用に関する規程による。

(相談役)

第28条 この法人に、任意の機関として、1名以上3名以下の相談役を置くことができる。

2 相談役は、次の職務を行う。

- (1) 会長の相談に応じること
- (2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること

3 相談役の選任及び解任は、理事会において決議する。

第6章 理事会

(構成)

第29条 この法人に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第30条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長及び常務理事の選定及び解職

(招集)

第31条 理事会は、会長が招集する。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会を招集する。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

第7章 常務理事会

(構成)

第33条 この法人に常務理事会を置く。

2 常務理事会は、会長、副会長および常務理事をもって構成する。

(権限)

第34条 常務理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務運営の年間計画案を策定し、理事会に提出すること
- (2) 業務の適正を確保するために必要な体制の運用及び改善について、理事会に参考意見を提出すること

(招集)

第35条 常務理事会は、会長が招集する。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が常務理事会を招集する。

(委員会)

第36条 会長は、必要と認めるときは、別に定めるところにより委員会を設置することができる。

第8章 資産及び会計

(基本財産)

第37条 別表の財産は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第16号に定める公益目的事業を行うために不可欠な特定の財産であり、この法人の基本財産とする。

2 前項の財産は、総会において別に定めるところにより、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、処分するときは、あらかじめ理事会及び総会の承認を要する。

(事業年度)

第38条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始

まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第39条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の決議を経て、総会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所及び従たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第40条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間及び従たる事務所にその写しを3年間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 会計監査報告
- (3) 理事及び監事の名簿
- (4) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (5) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

3 定款を主たる事務所及び従たる事務所に、並びに会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

4 前2項の規定にかかわらず、役員の名簿及び会員名簿の記載事項のうち、個人の住所については一般の閲覧に供しないものとする。

(公益目的取得財産残額の算定)

第41条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第5号の書類に記載するものとする。

第9章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第42条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解 散)

第43条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第44条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第45条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第10章 公告の方法

(公告の方法)

第46条 この法人の公告は、電子公告により行う。

- 2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第11章 支部

(支部)

第47条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。

- 2 支部は事業計画に基づき、当該支部に関する事業を執行する。
- 3 支部は、理事候補者の推薦をすることができる。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人

に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

- 2 この法人の最初の代表理事は小川清とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第38条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

別表 基本財産（第37条関係）

財産種	別場所・物量等
なし	なし

社団法人 埼玉県放射線技師会定款

昭和62年11月28日制定

平成 8年12月19日改定

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、社団法人埼玉県放射線技師会という。(Saitama Association of Radiological Technologists)

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番地の39に置く。

(目 的)

第3条 この法人は、診療放射線技師及び診療エックス線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 診療放射線学に関する調査、研究及び指導
- (2) 放射線医療の啓蒙に関すること
- (3) 診療放射線学に関する研修会、研究会、講習会等の開催
- (4) 診療放射線学に関する国際協力
- (5) その他この法人の目的達成に必要な事業

(地区会)

第5条 この法人の事業遂行の円滑化を図るため、地区会を置く。

2 地区の区分、運営等については、別にこれを定める。

第2章 会 員

(種 別)

第6条 この法人の会員は、次のとおりとし、正

会員及び名誉会員をもって民法上の社員とする。

(1) 正会員 埼玉県内に居住し、又は勤務する診療放射線技師及び診療エックス線技師であってこの法人の目的に賛同して入会したものの

(2) 名誉会員 この法人に特に功労のあった正会員のうち、理事会の推薦を受け総会の承認を得たもの

(3) 賛助会員 この法人の目的に賛同して入会したものの

(入 会)

第7条 この法人に入会しようとする者は、入会申込書に会費を添えて会長に提出し、理事会の承認を得るものとする。

(会費の納入)

第8条 正会員及び賛助会員は、総会において別に定めるところの会費を、所定の期日までに納入するものとする。

2 名誉会員は、会費を納入することを要しない。

(退 会)

第9条 会員は、退会しようとするときは、その理由を付して退会届を会長に提出するものとする。

2 会員が死亡し、又は会員である法人等が解散したときは、退会したものとみなす。

(除 名)

第10条 正会員又は賛助会員が次の各号の一に該当するとき、及び名誉会員が第2号に該当するときは、総会において会員の4分の3以上の同意を得てその会員を除名することができる。

(1) 会費を1年以上納入しないとき

- (2) この法人の名譽を毀損し、設立の趣旨に反し、又は秩序を乱す行為をしたとき
- 2 前項の規定により会員を除名しようとするときは、その会員にあらかじめ通知するとともに、当該会員に除名の議決を行う総会において弁明の機会を与えなければならない。

(会費等の不返還)

第11条 退会し、又は除名された会員が既に納入した会費その他の金品はこれを返還しない。

第3章 役員等

(役員)

第12条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 常任理事 6名
- (4) 理事 20名以内（会長、副会長及び常任理事を含む）
- (5) 監事 2名

(役員を選任)

第13条 役員は総会において選任する。

2 理事及び監事は、相互に兼ねることはできない。

(職務)

第14条 会長は、この法人を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長があらかじめ理事会の議決を経て定めた順序により、会長が事故あるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

3 常任理事は、会長及び副会長を補佐し、理事会の議決に基づき日常の業務を処理する。

4 理事は、理事会を構成し、会務の執行を決定する。

5 監事は、民法第59条の職務を行う。

(役員任期)

第15条 役員任期は、2年とする。ただし、補欠により選任された役員任期は、前任者の残

任期間とする。

- 2 役員は、再任されることができる。
- 3 役員は、辞任し、又は任期が満了した場合においても後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(役員解任)

第16条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会において会員の4分の3以上の同意を得て、その役員を解任することができる。

- (1) 心身の故障のため職務の執行にたえられなく認められたとき
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められたとき

2 第10条第2項の規定は、前項の規定により役員を解任しようとする場合に準用する。この場合において、第10条第2項中「会員」とあるのは「役員」と、「除名」とあるのは「解任」と読み替えるものとする。

(役員報酬)

第17条 役員は無報酬とする。ただし、会務に要した費用は支給することができる。

(顧問)

第18条 この法人に顧問を置くことができる。

2 顧問は、会長が推薦し、理事会の承認を得て委嘱し、その任期は、会長の在任期間とする。

3 顧問は、この法人の運営に関する重要事項について、会長の諮問に応ずる。

(職員)

第19条 この法人の事務を処理するため、職員を置く。

2 職員は、会長が任免し、理事会の議決に従い会長の定めた職務に従事する。

第4章 会議

(会議の種類)

第20条 この法人の会議は、総会、理事会及び常任理事会として、総会は、定期総会及び臨時総会の2種とする。

(会議の構成)

第21条 総会は、正会員及び名誉会員をもって構成する。

- 2 理事会は、理事をもって構成する。
- 3 常任理事会は、会長、副会長及び常任理事をもって構成する。

(会議の権能)

第22条 総会は、この定款に別に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 事業計画及び収支予算
- (2) 事業報告及び収支決算
- (3) その他この法人の運営に関する重要な事項
- 2 理事会は、この定款に別に定めるもののほか、次の事項を議決する。
 - (1) 総会の議決した事項の執行に関すること
 - (2) 総会に付議すべき事項
 - (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項
- 3 常任理事会は、この定款に別に定めるもののほか次の事項を議決する。

- (1) 総会の招集に関する事項
- (2) 理事会の招集及びこれに付議すべき事項
- (3) 会務運営に関する事項

(会議の開催)

第23条 定期総会は、毎事業年度の開始前1か月以内及び終了後2か月以内に開催する。

- 2 臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。
 - (1) 理事会が必要と認めたとき
 - (2) 正会員の3分の1以上から会議の目的たる事項を記載した書面により開催の請求があったとき
 - (3) 監事が民法第59条第4号に基づいて招集するとき
- 3 理事会は、次に掲げる場合に臨時開催する。
 - (1) 会長が必要と認めたとき
 - (2) 理事の3分の1以上から会議の目的たる

事項を記載した書面により開催の請求があったとき

- 4 常任理事会は、次に掲げる場合に臨時開催する。
 - (1) 会長が必要と認めたとき
 - (2) 常任理事の3分の1以上から会議の目的たる事項を記載した書面により開催の請求があったとき

(会議の招集)

第24条 会議は、前条第2項第3号の場合を除いて、会長が招集する。

- 2 会長は、前条第2項第2号の場合には請求があった日から1か月以内に臨時総会を、同条第3項第2号の場合には請求があった日から3週間以内に理事会を、同条第4項第2号の場合には請求があった日から2週間以内に常任理事会を招集しなければならない。
- 3 会議を招集する場合は、構成員に対して会議の目的たる事項、その内容、日時及び場所を示した書面により会議の5日前までに通知するものとする。ただし、会長が緊急に理事会又は常任理事会を招集する必要があると認めたときは、この限りではない。

(議長)

第25条 総会の議長は、その総会において出席会員の中から選出する。

- 2 理事会及び常任理事会の議長は、会長がこれに当たる。

(定足数)

第26条 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ開催することができない。

(議決)

第27条 総会の議事は、この定款に別に定めるもののほか、会議に出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(書面表決等)

第28条 やむを得ない理由のため、会議に出席できない構成員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の構成員を代理人として表決を委任 することができる。この場合において、前2条及び第30条第1項第3号の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(会員への通知)

第29条 総会の議事の要領及び議決した事項は、会員に通知する。

(議事録)

第30条 会議の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 会議の日時及び場所
- (2) 構成員の現在数
- (3) 総会にあってはその総会に出席した会員の数、理事会にあってはその理事会に出席した理事の数及び氏名、常任理事会にあってはその常任理事会に出席した常任理事の数及び氏名
- (4) 議決事項
- (5) 議事の経過の概要及びその結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及び会議に出席した構成員の中からその会議において選出された議事録署名人2名以上が署名捺印しなければならない。

(委員会)

第31条 会長は、必要と認めるときは、別に定めるところにより委員会を設置することができる。

第5章 資産、事業計画等

(資産の構成)

第32条 この法人の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財産目録に記載された財産
- (2) 会費
- (3) 寄附金品
- (4) 事業に伴う収入

(5) 資産から生ずる収入

(6) その他の収入

(資産の管理)

第33条 資産は、会長が管理し、その方法は理事会の議決を経て、会長が別に定める。

(事業年度)

第34条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び予算)

第35条 この法人の事業計画及び予算は、会長が作成し、その事業年度開始前までに総会の承認を得なければならない。ただし、やむを得ない事情があるため、この承認を得られない場合には、その事業年度開始の日から2か月以内に総会の承認を得るものとする。

2 前項ただし書きの場合において、総会の承認を得るまでの間は、前事業年度の予算に準じて収入し、及び支出することができる。

3 前項の規定による収入及び支出は、新たに成立した予算に基づくものとみなす。

4 会長は、第1項の事業計画又は予算を変更しようとするときは、総会の承認を得なければならない。ただし、軽微な変更については、この限りではない。

(事業報告、決算及び財産目録)

第36条 この法人の事業報告、決算及び財産目録は、会長が作成し、監事の監査を経て、その事業年度終了後2か月以内に総会の承認を得なければならない。

第6章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、総会において総正会員及び名誉会員の4分の3以上の同意を得、かつ、埼玉県知事の許可を得なければ変更することができない。

(解散及び残余財産の処分)

第38条 この法人は、民法第68条第1項第2号か

ら第4号まで及び第2項の規定により解散する。

2 総会の決議に基づいて解散する場合は、総正会員及び名誉会員の4分の3以上の同意を得なければならない。

3 解散のときに存する財産は、総会の議決を経、かつ、埼玉県知事の許可を得て、この法人と類似の目的をもつ他の団体に寄附するものとする。

第7章 雑則

(委任)

第39条 この定款の施行について必要な事項は、理事会の議決を経て、会長が別に定める。

付 則

1 この定款は、この法人の設立許可のあった日から施行する。

2 この法人の設立当初の役員は、第13条第1項の規定にかかわらず、昭和64年3月31日までとする。

3 この法人の設立当初の事業年度は、第34条の規定にかかわらず設立許可のあった日から昭和63年3月31日までとする。

4 この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第35条第1項の規定にかかわらず設立総会の定めるところによる。

付 則

1 この定款は、平成8年12月19日より施行する。

社団法人 埼玉県放射線技師会諸規程

会員の登録等に関する規程

昭和63年4月1日制定

平成9年9月11日改定

第1条 この規程は、定款第6条第1項及び第9条第1項に基づいて、会員の入退会に関する細部手続について必要事項を定めることを目的とする。

第2条 本会に入会しようとする者は、診療放射線技師及び診療エックス線技師でなければならない。ただし、賛助会員はこの限りではない。

2 勤務する場所又は居住地が埼玉県内に有する者とする。ただし、賛助会員又は特別事情ある者で、会長が認めた場合は、この限りでない。

第3条 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書に当該年度の会費を添えて会長に提出するものとする。

第4条 理事会は、入会申込書に基づいてその可否を審査し、入会承認を決定するものとする。

第5条 入会を承認したときは、会員原簿に登録するとともに、すみやかに地区及び本人に入会年月日を通知するものとする。

2 入会を否認したときは、その理由を付して本人に通知するものとする。

第6条 会員の資格は、理事会が承認した日に始まり資格喪失した日に終わる。ただし、定款第10条第1項(1)の要件が発生したときは、理事会の承認を経て資格を停止し、出版刊行物送付等を制限することがある。

第7条 会員は、入会申込書記載の住所、氏名、勤務先に変更を生じたときは、すみやかに地区を経由して届け出るものとする。

第8条 会員が退会しようとするときは、理由を

付し、地区を経由して退会届を会長に届け出るものとする。

第9条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て行うものとする。

付 則

1 この規程は昭和63年4月1日より施行する。

付 則

2 この規程は平成9年9月11日より施行する

会費納入規程

昭和63年4月1日制定

平成6年4月1日改定

平成18年4月22日改定

平成20年3月30日改定

第1条 定款第8条の会費は、納入期限を当該年度の4月1日とする。ただし、新入会者についてはこの限りではない。

第2条 会費は次のとおりとする。ただし、1月1日以降の再入会者の当該年度正会員会費は半額とする。

正会員 9,000円

賛助会員(個人) 9,000円

賛助会員(法人) 25,000円

2 新入会者の初年度正会員会費は無料とする。

第3条 会員で療養のため1箇年以上離職した者は、会費免除の取扱いを受けることができる。

第4条 前条の規定に基づき、会費免除の取扱いを受けようとする者は、所定の様式に1箇年以上療養のため離職したことを証明する医師の証明書を添えて、所属地区を経由して本会に申請するものとする。

第5条 本規程による会費の免除は、2箇年を超

えないものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て総会の承認を得るものとする。

附 則

1 この規程は、昭和63年4月1日より施行する。

附 則

1 この規程は、平成6年4月1日より施行する。

附 則

1 この規程は、平成19年4月1日より施行する。

2 本規程第1条は平成20年4月1日より施行する。第1条施行までの間、会費納入期限は当該年度の9月30日とする。

附 則

1 この規程は、平成20年4月1日より施行する。

役員選出規程

昭和63年4月1日制定

平成6年4月1日改定

平成10年4月1日改定

平成11年3月11日改定

第1章 総 則

第1条 役員を選出は、定款第13条に基づき、この規程により行うものとする。

第2章 選挙管理委員会

第2条 役員を選出するときは、理事会の承認を得て、選挙管理委員会を設けるものとする。

第3条 選挙管理委員会は、正会員の中から各地区毎に1名の委員を選出して構成し、委員長は互選とする。

2 役員及び選挙の立候補者は、選挙管理委員にはなれない。

第4条 選挙管理委員会は、次の業務を行う。

- (1) 選挙の公示
- (2) 役員立候補者届の受理、資格審査及び立候補者氏名の公示
- (3) 投票及び開票の管理ならびに当選の確認
- (4) 総会において選挙結果の報告

(5) その他選挙管理に必要な事項

第5条 選挙管理委員の任期は2年とする。

第3章 役員選挙

第6条 会長、監事に立候補しようとする者、又は推薦しようとする者は、地区の承認若しくは推薦を得て所定の様式により選挙管理委員会に届け出るものとする。ただし、推薦の場合は本人の同意を必要とする。

第7条 立候補又は推薦の届出締切は、総会の2か月前とする。

第8条 選挙は、立候補届のあった者について、総会に出席した会員によって行うものとする。

第9条 投票は、出席会員の単記無記名投票により行うものとする。

第10条 投票は、次の順序によって行う。

(1) 会 長

(2) 監 事

第11条 当選者は、それぞれ有効投票数を得た者から、高点順に定める。

第4章 無投票当選

第12条 各選挙を通じ、締切日を経過しても立候補者が役員定数を超えないときは、総会において無投票により当選者を定めるものとする。

第5章 理事の選出

第13条 地区理事は、各地区から1名を選出する。

第14条 事業を遂行するため、前条のほか、会長が指名する理事を置くことができる。

第15条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て行うものとする。

附 則

1 この規程は平成6年4月1日より施行する。

附 則

1 この規程は平成10年4月16日より施行する。

附 則

1 この規程は平成11年4月1日より施行する。

総会運営規程

昭和63年4月1日制定

第1条 この規程は、総会運営を民主的かつ能率的に運営することを目的として定める。

第2条 前条の目的を達成するために、総会運営委員会を設けるものとする。

第3条 前条の委員会は、正会員の中から各地区毎に1名の委員を選出して構成し、委員長は互選とする。

第4条 総会運営委員会は、総会の付記に基づき、次のことを協議し、その承認を得て運営する。

- (1) 議長団の選出の方法
- (2) 議事日程及び進行
- (3) 総会出席会員の資格審査
- (4) その他総会運営について必要な事項

第5条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て行うものとする。

附 則

1 この規程は昭和63年4月1日より施行する。

旅費および会議費等支払規程

昭和63年4月1日制定

平成7年5月11日改定

平成10年4月1日改定

平成21年2月4日改定

(目 的)

第1条 この規程は会務のために出張する役員および委員等に支給する旅費、会議費について定める。

(種 類)

第2条 会務の種類は次の通りとする。

- (1) 理事会
- (2) 常任理事会
- (3) 常設委員会（編集委員会、学術委員会等）
- (4) 特別委員会（放射線展実行委員会、学術大会実行委員会等）
- (5) その他会長が認めた会務

(項 目)

第3条 費用は本会予算会計から支出されるが、特別委員会はその委員会会計から支出される。

(旅 費)

第4条 旅費は勤務先から開催地までの公的機関を利用した実費を支給する。

2 自家用車を利用した場合は前項と同額とする。

3 開催地の者には支給しない。

(会議費)

第5条 会議費は理事会、委員会等にかかる所用経費とする。

第6条 会議1回につき原則1,000円とする。ただし、会長が定めたものに限り2,000円とする。

第7条 学術大会、公益事業、講習会等の開催およびその準備にかかる経費は、別に支払うことができる。

第8条 経費の金額は、別に定める。

第9条 経費の支払いは理事会の承認を得ることを要する。

(改 廃)

第10条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て行うものとする。

付 則

1 この規程は昭和63年4月1日より施行する。

付 則

1 この規程は平成7年5月11日より施行する。

付 則

1 この規程は平成10年4月1日より施行する。

付 則

1 この規程は平成21年2月4日より施行する。

表彰規程

昭和63年4月1日制定

平成7年4月1日改定

平成20年11月5日改定

平成21年5月8日改定

(目 的)

第1条 この規程は、定款第4条の事業を遂行するにあたり、顕著な功績のあった者の表彰に関する事項と、関係団体からの推薦について必要事項を定める。

(条 件)

第2条 本会に継続して15年以上在籍し、かつ会費を完納している者

(種 類)

第3条 表彰に関する分類は次の通りとする

- (1) 功労賞 本会に多大な貢献があった者
本会役員として功労に関しては在任期間が4年以上を有している者
- (2) 学術賞 保健医療に関する研究、発明、発見、考案をおこなった者
- (3) 叙勲、関係団体表彰候補
- (4) 永年勤続者
 - ア 20年以上放射線業務に従事した者
 - イ 40年以上放射線業務に従事した者
- (5) その他 他の模範となる善行があった者

(推 薦)

第4条 受賞者の推薦、選考、決定は表彰委員会が行い、理事会の承認を得るものとする。尚、表彰委員会は地区理事に推薦を依頼することができる。

(選 考)

第5条 選考は表彰委員会が行い、委員会は会長、副会長、総務常任理事、および会長委嘱者5名の計10名で組織する。尚、会長委嘱者と委員長は役員外とする。

(決 定)

第6条 表彰委員会は選考結果を理事会に答申し、決定は理事会にて行う。その他表彰に関する必要な事項についても理事会において決定する。

(内 容)

第7条 表彰は表彰状と副賞を授与するものとする。

る。

(改 廃)

第8条 この規程の改廃は理事会にて行う。

附 則

1 この規程は昭和63年4月1日より施行する。

付 則

1 この規程は平成7年4月1日より施行する。

付 則

1 この規程は平成20年11月5日より施行する。

1 この規程は平成21年5月8日より施行する。

地区会運営規程

昭和63年4月1日制定

第1条 この規程は、定款第5条に基づき、地区会の設置、運営等に関する必要事項について定める。

第2条 定款第5条による地区会を次のとおり設置する。

- (1) 第一地区
- (2) 第二地区
- (3) 第三地区
- (4) 第四地区
- (5) 第五地区
- (6) 第六地区

第3条 地区会は、本県技師会の事業を円滑に推進し、かつ会員相互の連携をはかることを目的とする。

第4条 地区会は、役員選出規程に定めるところより地区理事を選出する。

2 地区理事の選出は、通常総会前には終了するものとし、会長に届け出るものとする。

第5条 地区理事は、地区会事務所を定め、これを会長に届け出るものとする。

第6条 地区理事は、地区会員の意向を把握し、本県技師会の会務執行に反映するものとする。

第7条 地区会の運営に関する経費は本県技師会の助成金その他をもってあてるものとする。

第8条 その他必要事項は、地区会毎に定める。
 第9条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て行うものとする。

附 則

この規程は昭和63年4月1日より施行する。

埼玉県放射線技師会互助規程

昭和63年4月1日制定

第1条 この規程は、会員相互の親睦と相互扶助をはかるために定めたものである。

第2条 前条の目的を達成するために、次の各号の事業を行う。

- (1) 会員に対する弔慰金、見舞金の給付
- (2) その他会員の福祉増進に関する事業

第3条 弔慰金、見舞金の給付は別表による。

第4条 給付を受ける事由が発生した場合、直ちに地区理事に連絡し、連絡を受けた理事は速やかに会長に別紙給付申請書を提出するものとする。

第5条 会長は、前条の申請書を受けた場合、内容審査のうえ、速やかに関係理事を通じて給付金を支給するものとする。

第6条 給付を受ける事由が発生して6箇月以上経過したものは支給しない。

第7条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事会において決定するものとする。

第8条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て行うものとする。

附 則

この規程は昭和63年4月1日より施行する。

別表1

在籍年数	死亡弔慰金	傷害療養見舞金	病氣見舞金
5年未満	5,000円	—	—
5年以上	10,000円	5,000円	5,000円
10年以上	10,000円	5,000円	5,000円

1 病氣見舞金は引続き3か月以上の場合に支給

する。以後1年以上療養の場合は1年毎に給付する。

2 障害療養見舞金は、医師の診断書により放射線障害と認定された場合:又は業務上の災害による療養に給付する。

3 会費滞納者は、これを完納しなければ受給資格がないものとする。

研究会設置規程

平成11年3月10日制定

(目 的)

第1条 この規程は定款第4条に基づき本会に研究会を設置し、研究活動を促進する事を目的とする。

(設置及び廃止)

第2条 研究会を設置するときは研究会設置申請書(様式—研1)を会長に提出する。

2 研究会設置の申請があった場合、会長は理事会の承認を得てこれを認可することができる。

3 研究会を廃止するときは、研究会廃止届(様式—研2)を会長に提出する。

(名 称)

第3条 研究会は、その名称とともに本会研究会であることを称することができる。

(研究会の構成員)

第4条 本会が認可する研究会の主たる構成員は本会会員とする。

(活 動)

第5条 研究会は、目的を達成するために自主的活動するものとし、概ね次の事を行う。

- (1) 研究会を開催する。
- (2) 研究成果を学術大会等に発表する。

(助 成)

第6条 本会は、認可した研究会の発展向上を図るために申請により、理事会の承認を得て、助成を行うことができる。

2 助成の方法は別途理事会で定める。

(報告)

第7条 研究会は、年度の活動状況を総会に報告する。

(規程の改廃)

第8条 この規定は、理事会の決定を経て行うものとする。

付 則

1 この規程は、平成11年4月1日から施行する。

技師会センター運営規程

平成8年4月1日制定

平成10年3月12日改定

第1条 本会技師会センターは埼玉県放射線技師会事務所及び会議室で構成する。

第2条 この規程は、技師会センターの運用について規定する。

第3条 技師会センターの管理責任者は会長とする。会長はセンターの業務管理者を指名し、業務管理者がセンター運営業務を行なう。

2 重要事項については理事会において審議する。

第4条 業務管理者はセンターの運営に関する全ての責任を有する。

第5条 技師会センターの管理及び運営に関する経理は、「一般会計」によって処理する。

(会議室の利用)

第6条 次に掲げる一に適合する場合、会長の許可を得て技師会センターを利用することができる。

(1) 会長が主催する全ての会議、委員会、講習会等

(2) 理事、常任理事が主催する全ての会議、講習会等

(3) 地区理事が主催する全ての会議、講習会等

(4) 本会会員が所属する団体で、会長が認めた会議等

(5) その他、会長が特に認めた会議、講習会等

(使用手続)

第7条 前条のうち(1)もしくは(2)に該当する場合を除き、使用する者は、使用責任者を定め、別に定める「技師会センター使用許可申請書」を3週間前までに、所定の使用料金を添えて提出し、会長の許可を得なければならない。

(使用の優先)

第8条 使用は本会事業に関するものを優先し、第6条の順とする。

(使用料及び使用時間)

第9条 使用料及び使用時間は、第6条の(1)及び(2)に該当する場合を除き、下記の規定によるものとする。

2 使用時間の区分及び使用料は次に定めるとおりとする。

(1) 09:00~12:00	2,000円
(2) 13:00~17:00	2,000円
(3) 18:00~21:00	2,000円
(4) 09:00~17:00	4,000円
(5) 13:00~21:00	4,000円
(6) 09:00~21:00	5,000円

第10条 使用責任者は、重大なる過失による使用中の火災、設備等の毀損事故に対して責任を有するものとする。

第11条 この規程の改廃は、理事会の決議により行なう。

付 則

1 この規程は平成8年4月1日より施行する。

付 則

1 この規程は平成10年4月1日より施行する。

会計事務取扱規程

平成11年3月10日制定

第1章 総 則

(目的)

第1条 この規程は社団法人埼玉県放射線技師会（以下「本会」という。）の財務及び会計の取扱（以下「会計」という。）に関する基準を定め、その財政状態を明らかにし、もって事業の円滑な運営を図ることを目的とする。

（総則）

第2条 本会の会計は、別に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

（会計原則）

第3条 本会の会計は、正確な報告を提供するとともにすべての取引について、原則に従った正確な会計帳簿を作成するものとする。

（会計の総括）

第4条 本会の会計は、会長が総括するものとする。

（会計責任者）

第5条 会長は、会計を担当する理事（以下「財務担当理事」という。）を任命するものとする。

2 財務担当理事をもって会計責任者とする。

3 会計責任者は、会計の出納に関し、その一部について補助者を命じ、行わせることができる。

（年度の区分）

第6条 本会の会計における資産、負債等の増減異動ならびに収益及び費用の所属する事業年度は、その事業取引の発生した日の属する年度とする。

（会計の区分）

第7条 本会の会計は、一般会計と特別会計に区分し行うことができる。

2 本会の事業に関し、特定の事業を行う必要があるときは、特定の資金を保有するものとし、その運用を行う場合は、特別会計を設け、その目的に従い運用するものとする。

（会計年度）

第8条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

（書類の保存期間）

第9条 予算書、会計帳簿、伝票及び計算書類の保存期間は、10年とする。

第2章 勘定科目及び帳簿

（勘定科目）

第10条 本会における取引は、別に定める勘定科目により処理するものとする。

（帳簿）

第11条 帳簿は、主帳簿、補助簿及び必要に応じその他の補助諸表を備付けるものとする。

（1）現金出納簿

（2）預金出納簿

（3）収支予算の管理に必要な帳簿

（4）固定資産台帳

（5）基本財産明細台帳

（6）会費明細帳

（7）その他の補助諸表

第3章 予算

（予算の作成）

第12条 財務担当理事は、毎会計年度開始前、当該年度の事業計画の決定に基づき収支予算を第7条に定める区分に従い作成し、理事会の承認を得て総会に提出し、議決を求めるものとする。

（予算の執行）

第13条 支出予算の執行は会長とする。

2 会長にやむを得ない事情があるときは、財務担当理事がこれを行い、予算の執行後すみやかに会長に報告するものとする。

（予算の流用及び予備使用）

第14条 予算の執行にあたり、大科目間の流用は、理事会に承認を求めるものとする。ただし、緊急の場合は、理事会の事後承認を求めることができる。

2 予備費使用を行う必要があるときは理事会の承認を得て行うものとする。

（継続費）

第15条 支出予算決定後、本会の事業実施上特に数年にわたり執行する必要があるときは、その

所要額及びその年割執行額を定め、理事会の承認を得て行うものとする。

(繰越明許費)

第16条 支出予算のうち、その事業実施上特に必要がある場合であって当該年度において支出が終らない場合は、予め理事会の承認を得て翌年度に繰延べて使用することができるものとする。

(積立金)

第17条 年度決算において剰余金が生じたときは、その一部について積立金に計上することができる。

第4章 金銭会計

(金銭の範囲)

第18条 この規程において、金銭とは、現金及び預金をいい、現金は通貨小切手その他随時通貨と引替えることのできる証書をいう。

2 前項の預金とは、普通預金、通知預金、定期預金及び金銭信託等をいう。

(出納方法、証拠書の授受)

第19条 金銭の収納は、伝票及び証拠書に基づいて行うものとし、会長及び会計責任者の承認を得るものとする。

2 金銭の支払いは、会長及び会計責任者の承認を得た伝票及び証拠書により行うものとする。

3 預金証書等は、金庫に保管又は金融機関に保管預託するものとする。

(金融機関の指定)

第20条 預金口座を設ける銀行その他の金融機関は、会長が指定するものとする。

(借入金)

第21条 予め決められた短期借入金の限度内で借入れをしようとするときは、常任理事会にはかるものとする。

2 定時総会前において資金の不足を生じる場合は、最小限度の短期借入をすることができるものとする。その場合理事会の事後承認を求める

ものとする。

(手持現金)

第22条 手持現金は必要最少限度にとどめるよう努めるものとする。

(預金の名義人)

第23条 預金の名義人は会長とする。

2 出納に使用する印鑑は、本会会長の会印を使用するものとする。

3 出納に使用する印鑑は、会長が保管する。

4 印鑑の押印は、必要の都度に会計責任者が会長に求める。

5 印鑑の保管及び押印については、副会長に委任することができる。

6 預金通帳及び現金引出カードは、会計責任者が保管する。

7 会計責任者は、原則として預金払出しの事前に会長の承認を得るものとし、会長から求められた時には、ただちに預金通帳を提出して、その内容について説明を行うものとする。

(金銭の残高照合)

第24条 現金残高は、現金出納簿残高と照合するものとする。

2 預金残高は、取引銀行等の預金残高証明書又は預金通帳及び預金証書により照合するものとする。

第5章 棚卸資産

(棚卸資産の定義)

第25条 棚卸資産（以下「物品」という。）とは、消耗品、備品、図書及び機械器具等であつて、1件20万円未満のものをいう。

(保管管理)

第26条 物品のうち、消耗品を除く備品等については、備品台帳を設け、記入整理するものとする。

2 財務担当理事は、物品の出納、保管を行うとともにその使用状況について監督を行うものとする。

3 財務担当理事は、物品のうち必要に応じその一部を補助者に保管管理をさせることができる。

(物品の照合)

第27条 財務担当理事は、毎年1回以上保管する物品と台帳を照合し、会長に報告するものとする。

(物品の廃棄)

第28条 財務担当理事は、物品を廃棄しようとするときは、その理由を付して会長の承認を得て行うものとする。

第6章 固定資産

(固定資産の定義)

第29条 固定資産とは、耐用年数が1年以上であって、かつ取得価格が20万円以上のものをいう。

(取得価格)

第30条 固定資産の取得価格は、固定資産の区分に従い次の各号によるものとする。

- (1) 製作にかかるものは、その製作費及び附帯費
- (2) 購入にかかるものは、その購入価格及び附帯費
- (3) 贈与にかかるものは、その公正な評価額

(固定資産の譲渡及び担保等)

第31条 固定資産の譲渡及び担保の設定については、総会の承認を得るものとする。

2 不動産登記を必要とする固定資産は取得後登記するものとする。

第7章 決算

(決算書の作成)

第32条 会計年度が終了したときは、次の各号の財務諸表を一般会計及び特別会計の別に作成するものとする。

- (1) 収支計算書
- (2) 貸借対照表
- (3) 財産目録

2 決算書は、会計年度終了の翌月15日までに完

結するものとする。

3 会計理事は、前項の決算が完結したときは、すみやかに監事の監査を受け理事会及び総会に報告し承認を求めるものとする。

(監査)

第33条 財務担当理事は、会計に関して年度決算完了後すみやかに監査を受けなければならない。

第8章 契約

(契約責任者)

第34条 契約に関する責任者は契約責任者とする。

2 契約責任者は会長とする。

3 会長にやむを得ない事情があるときは、財務担当理事が契約者として職務を代理するものとする。

(契約方法)

第35条 契約は、一般競争入札に付し、当該契約の目的に従い、最高又は最低の価格による入札者と締結するものとする。

(指名競争入札)

第36条 契約が次の各号の1に該当する場合には、前条の規程にかかわらず、指名競争入札の方法により契約を締結することができる。

- (1) 契約の性質又は目的により競争に加わる者が少数で一般競争入札に付する必要がないとき。
- (2) 一般競争入札に付することが不利と認められるとき。
- (3) 前各号に規定するもののほか、事業運営上必要があるとき。

(随意契約)

第37条 契約が次の各号の1に該当する場合には、前条の規程にかかわらず、随意契約の方法により契約をすることができる。

- (1) 契約の性質又は目的が競争を許さないと

- (2) 緊急を要する場合で、競争に付す暇がないとき。
- (3) 競争に付すことが、不利と認められるとき。
- (4) 前各号に規程するもののほか、事業運営上必要があるとき。

2 第1項の規程により随意契約をしようとするときは、なるべく2人以上から見積書をとらなければならない。

(契約書)

第38条 契約を締結しようとするときは、その履行に関し、必要な条項を記載した契約書を作成しなければならない。ただし、軽易な契約については、契約書の作成を省略し、又はこれに代える書類をもって処理することができる。

第9章 雑 則

(規程の改正)

第39条 この規程の改廃は、理事会の承認を得るものとする。

附 則

1 この規程は、平成11年4月1日より施行する。

超音波式骨密度測定装置貸出し規程

平成21年3月4日制定

(目的)

第1条 この規程は、超音波式骨密度測定装置貸出しに関する必要事項について定める。

(貸出し対象)

第2条 公益事業に使用する地区会に対し貸出すこととする。

第3条 地区会以外への貸出しは認めない。ただし、公益性が認められるイベントに対しては、理事会の承認を得て貸出すことができる。

(使用料)

第4条 貸出し料金に関しては別途定める。

(期間)

第5条 貸出し期間は、貸出し日より返却日まで

の期間とし5日間を限度とする。

(申込方法)

第6条 貸出し申し込みは本会ホームページ上より行うこと。

(使用手続)

第7条 貸出し時は技師会センター備え付けの「貸出し書」に必要事項を記入すること。

(使用制限)

第8条 貸出し装置の無断での転貸、譲渡、改造及び不法利用は行わないこと。

(確認事項)

第9条 使用前には必ず「使用説明書」を熟読し、動作確認すること。

2 使用後は梱包前に下記の確認を2名以上で行うこと。

- (1) 解析データの消去
- (2) 動作確認
- (3) 破損等外観の確認

3 返却時にも必要事項を記入すること。

(その他事項)

第10条 破損等の不具合が生じた場合は、速やかに技師会センターもしくは担当理事に連絡をすること。

第11条 破損等不具合があった場合の修理代金は、原則として本会が負担することとする。

(改廃)

第12条 この規程の改廃は理事会の決定を経て行うものとする。

付 則

1 この規程は平成21年4月1日より施行する。

別 紙

- 1. 選挙立候補届
- 2. 候補者推薦届
- 3. 互助給付金申請書
- 4. 会費免除申請書
- 5. 研究会設置申請書
- 6. 研究会廃止届

- 7. 社団法人 埼玉県放射線技師会会誌購読会
 員規程
- 8. 社団法人 埼玉県放射線技師会 地区地図

別 紙

選挙立候補届

現住所
 氏名 性別 年齢
 勤務先 所在地 施設名
 平成 年 月 日執行の
 社団法人埼玉県放射線技師会〇〇選挙に立
 候補します。

上記の通りお届けします。
 平成 年 月 日
 氏名 印
 上記の者、〇〇選挙に立候補することを承
 認いたします。
 平成 年 月 日
 〇〇地区会
 代表者氏名 印

社団法人埼玉県放射線技師会選挙管理委員長 殿

候補推薦届

候補者住所
 氏名 性別 年齢
 勤務先 所在地 施設名

平成 年 月 日執行の
 社団法人埼玉県放射線技師会〇〇選挙に推
 薦します。

平成 年 月 日
 〇〇地区会
 推薦者氏名 印

〇〇選挙に立候補することを承認いたします。
 平成 年 月 日
 候補者氏名 印

社団法人埼玉県放射線技師会選挙管理委員長 殿

互助給付金申請書

平成 年 月 日

社団法人埼玉県放射線技師会

会長 殿

〇〇地区会

理事 印

会員 氏に下記事項発生のため
互助規程により見舞金を給付されるよう申請
いたします。

記

勤務場所

氏名

当該事項

発生年月日

金額

理事の意見

会費免除申請書

平成 年 月 日

社団法人埼玉県放射線技師会

会長 殿

〇〇地区会

理事 印

会員 氏は下記事項発生のため
会費納入規程により会費納入を免除されるよ
う申請いたします。

記

事故発生前の勤務場所

氏名

離職の理由

療養期間

理事の意見

様式-研1

研究会設置申請書

平成 年 月 日

社団法人埼玉県放射線技師会

会長 殿

〇〇研究会

代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり
研究会の設置を申請します。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 研究会構成員-別添名簿のとおり
(本会会員と他の区別がわかるような名簿)
- 5 研究分野、内容(具体的に)
- 6 研究会履歴
- 7 助成申請の有無

様式-研2

研究会廃止届

平成 年 月 日

社団法人埼玉県放射線技師会

会長 殿

〇〇研究会

代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり
研究会の廃止を届けます。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 廃止の理由
- 5 廃止の年月日

社団法人 埼玉県放射線技師会会誌購読会員規程

(目的)

第1条 この規程は、他都道府県技師会会員の社団法人埼玉県放射線技師会（以下、本会という）における開催事業への参加及び会誌「埼玉放射線」購読の資格を規定する。

(会員)

第2条 会員は、本規程に賛同し、会費を納めた次のものとする。

- (1) 他都道府県技師会の正会員で本会の会誌購読会員を希望するもの。
- (2) その他理事会で承認されたもの。

(資格の更新)

第3条

- (1) 会員資格は年度ごとの更新とする。
- (2) 更新を希望する者は、会員資格喪失の3月末日までに本会に申し出ること。

(会費)

第4条

- (1) 会員の年会費は、9,000円とする。
- (2) 会費は年度の9月末日までに納入し、退会時には返納しない。

(会員の権利)

第5条

- (1) 会員は、本会開催事業への参加と本会会誌「埼玉放射線」購読の権利を有する。
- (2) 本会の総会における議決権はない。

(入退会)

第6条

- (1) 入会を希望するものは、本会の入会申込書に会費を添えて本会へ届け出ること。
- (2) 退会を希望するものは、退会の旨を本会へ届け出ること。

(規程の改廃)

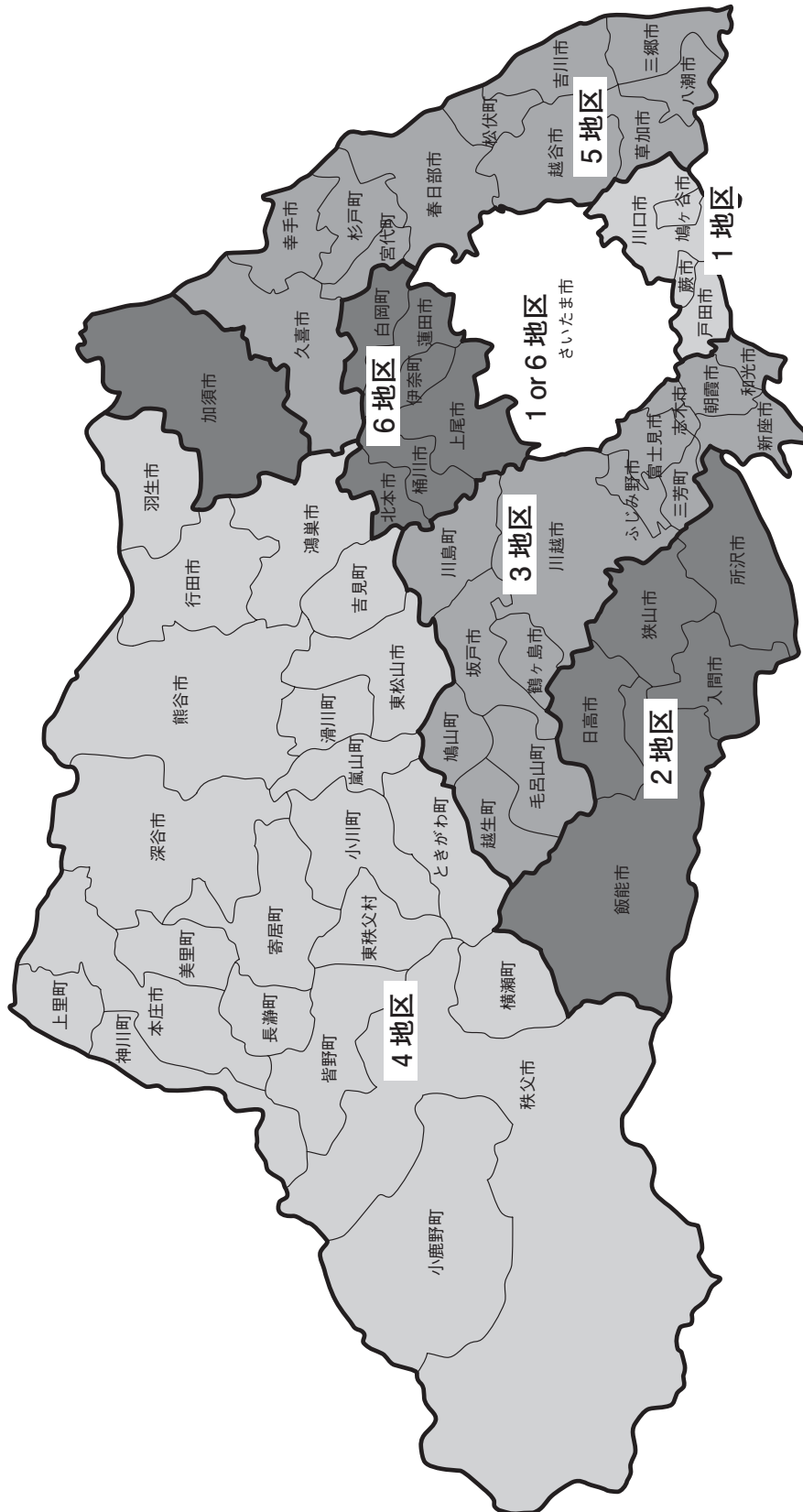
第7条

- (1) この規程の改廃は理事会の決定を経て行うものとする。

(付則)

- (1) この規程は、平成15年4月1日より施行する。

社団法人 埼玉県放射線技師会 地区地図 (平成22年3月1日現在)



MEMO

巻頭言

会
告

お知らせ

総
会
資
料

動本
会
きの

討
報

掲各
示地
板区

自
由
投
稿

動会
員
向の

議
事
録

ジ年
ユ間
ース
ルケ

役
員
名
簿

投
稿
規
定

申F
込A
書X

寄付金の報告

松元和敏様より寄付をいただきました。

この度、平成21年度公衆衛生事業功労者に対する公衆衛生協会賞を受賞された松元和敏様から、本会へ20万円の寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

現在は川崎市にある中島中央病院の事務課長、放射線技師長として活躍されておりますが、昭和62年、関東逓信病院から石心会狭山病院へ放射線室長として就任し、病院の立ち上げとスタッフの教育にご尽力され、かつ病院外の放射線技師にも目をかけていただき本会第2地区の基礎を作られた方です。

本当にありがとうございました。

会長 小川 清

第1回救急セミナー報告

学術担当常任理事 富田博信

平成22年2月14日、さいたま赤十字病院にて第1回救急セミナーが開催されました。
講師および内容は次のとおりです。

1. 救急医療に必要な基礎知識
埼玉医科大学総合医療センター 准教授 輿水 健治
2. 小児救急について
埼玉県立小児医療センター 放射線技術部 診療放射線技師 横山 寛
3. 当センターの救急医療について
埼玉医科大学総合医療センター 放射線部 診療放射線技師 中根 淳
4. 当院の救急医療について
さいたま赤十字病院 放射線科 診療放射線技師 岡田 智子

受講者：23名

この講習会は放射線技師になり、ベテランの技師はもちろんのこと、1年から数年の技師の方々を対象として企画しました。

病院に勤務し、最初の目標は当直業務に入ることです。当直に入ると、通常自分一人で全ての業務をこなさなければならず、もちろん救急患者であることから、可及的な対応を求められるわけです。そのため技術的、医師とのコミュニケーション、精神論を含めたワンポイント的な講習会でした。

今後は、放射線技師だけの業務をしていたのでは、救急医療に対応できないことが多く経験します。医師しかできないことを除き、それ以外の業務を放射線技師が臨機応変に対応できる能力が求められる時代がきています。

第2回以降はそのような講習会を企画していきますので、よろしく願いいたします。

第25回埼玉放射線学術大会報告

学術担当常任理事 富田博信

本年度より会場を伊奈の県民活動センターから大宮ソニックシティーに移し開催しました。交通アクセスが良好であること、メイン会場を集中させたことなどにより、より活気のある大会となりました。まずは参加していただきました会員皆様に御礼と、学術大会のご報告をさせていただきます。

今回の大会プログラムでは、一般演題 19演題、ランチョンセミナー、フィルムリーディングコーナー、特別講演、県民公開講座、ハンズオンセミナー（ナナオ）、テクニカルディスカッション（CT）、レクチャーコース（消化管）、機器展示（17社）、と内容も多岐にわたり企画しました。以下にその参加者人数などの内訳をご報告します。

学術大会参加者報告

1) 学術大会全体

会員	223名
賛助会員	28名
非会員	22名
学生	1名
小計	274名
県民公開講座	83名
総合計	357名

2) フィルムリーディング（上部消化管、胸部CT、超音波、乳房X線）

上部消化管	60名
胸部CT	53名
乳房X線	41名
超音波	24名
クイズ（乳房）	50名

3) ランチョンセミナー 約150名

4) ナナオハンズオンセミナー 21名

以上のように大変多くの皆様に参加いただきました。今後さらに会員の皆様のご意見を取り入れ、次回大会におきましても一層充実した内容となるように実行委員一同努力してまいりたいと思っておりますので、皆様の参加を待ちしております。最後に今回の学術大会の実行委員の皆様へ成功の御礼をさせていただきます。第25回学術大会の報告とさせていただきます。

県民公開講座開催報告

公益委員会 星 野 弘

平成22年3月14日（日）温かな春の日、大宮ソニックシティにて第25回埼玉放射線学術大会が開催されました。併催して一般県民対象の県民公開講座を行いましたのでご報告させていただきます。

今回は「医用画像最前線～明日の健康のために」をテーマに掲げ、骨粗鬆症の講演をメインに超音波骨密度測定、医療被ばく相談やパネル展示を行いました。同じ内容の講演（20分）を4回行う（当初の予定では3回）初めての試みで、講演途中に来場された方も次回の講演を聞いていただくことができ良い試みであったと考えます。また、質問を受ける時間も十分取ることができ会場の皆さまには大変満足して頂けたと思います。来場された皆さまは、私たちの仕事を紹介したパネル展示も熱心にご覧になり検診を受けることの大切さ、予防医学の大切さを十分に伝えられたのではと思います。

当初は、日曜日のましてや行楽日和にどれくらいの方が来場して頂けるだろうか危惧しておりました。しかし午前10時開場時間になり、蓋を開けてみると一人、二人……。次々と来場者がいらして、当初の不安が吹き飛び、意欲へと変わりました。自治体広報誌への案内やポスターを利用して会員施設などに広報をした結果が良い方向に動いたと考えます。ひとりも来ていただけないのではと不安にかられましたが、最終的には83名の県民の皆さまに参加していただき成功裏に終えることができました。来場して頂いた県民の皆さまには、心から感謝申し上げます。

私たち診療放射線技師個人の力には当然のように限界があります。しかしながら会員の皆さまのお力添えを得て埼玉県放射線技師会が一団となって物事に取り組みれば大いなる力となり、県民の皆さまに満足して頂ける公益活動をおこなえと考えます。これからも会員の皆さまのご協力をお願い致します。

最後になりましたが、講演をしていただいた講師の吉岡鑑二様（東洋メディック株式会社）、準備段階からご助力いただいた学術大会実行委員と公益委員の皆様、そしてなにより学術大会に参加して頂いた会員の皆さまにこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



(県民公開講座の様子)



(公益委員会メンバー お疲れ様でした)

この度参加して下さった県民の皆さまのアンケート調査をご紹介します。県民の皆さまのご意見を真摯に受け止め、これからの公益活動に少しでも生かせればと考えます。

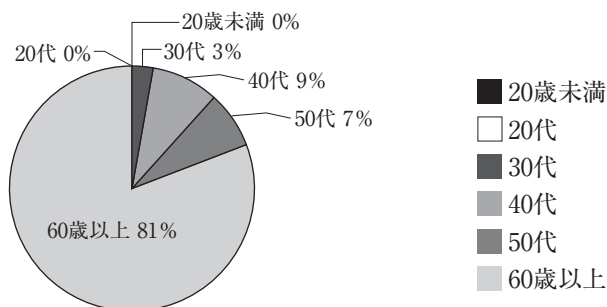
第25回埼玉放射線学術大会 県民公開講座（2010.03.14） アンケート集計結果

集計報告：公益担当 星 野 弘

・来場者 83名 アンケート回収67名 回収率80.7%

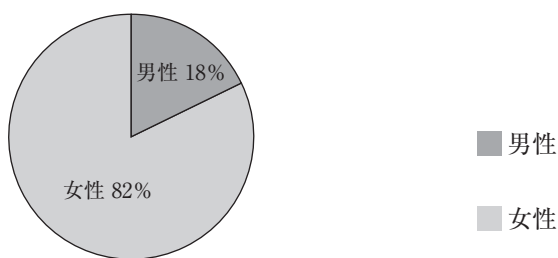
1. 年齢を教えてください。

0歳未満	20代	30代	40代	50代	60歳以上
0	0	2	6	5	54



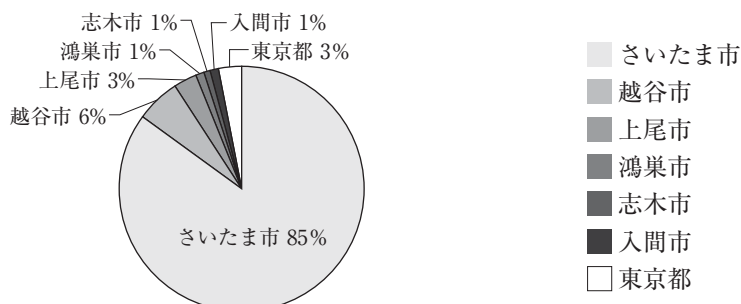
2. 性別を教えてください。

男性	女性
12	55



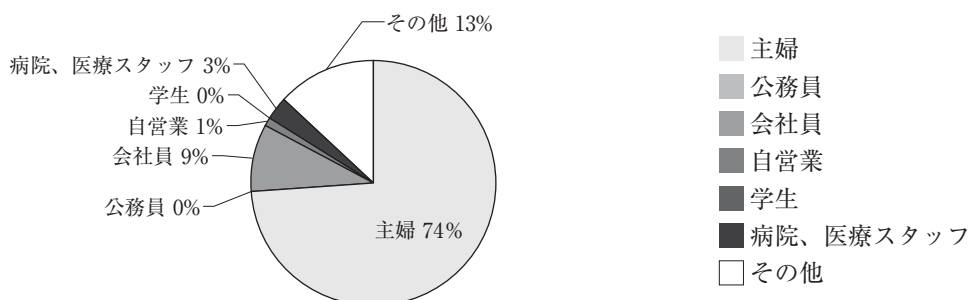
3. 住所を教えてください。（市町村のみで結構です。）

さいたま市	越谷市	上尾市	鴻巣市	志木市	入間市	東京都
56	4	2	1	1	1	2



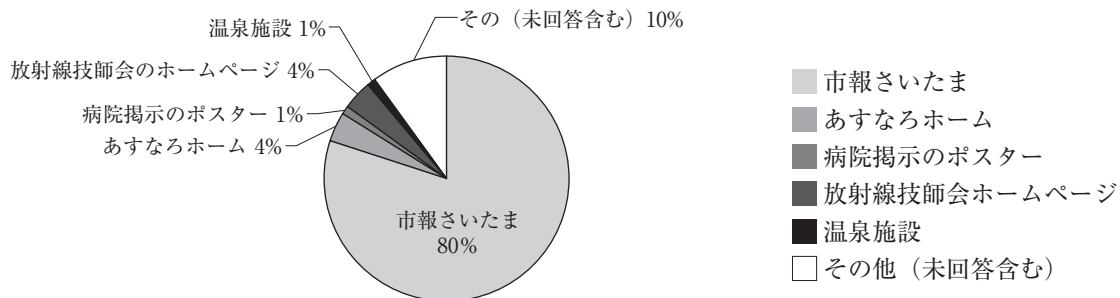
4. 職業を教えてください。

主婦	公務員	会社員	自営業	学生	病院、医療スタッフ	その他
49	0	6	1	0	2	9



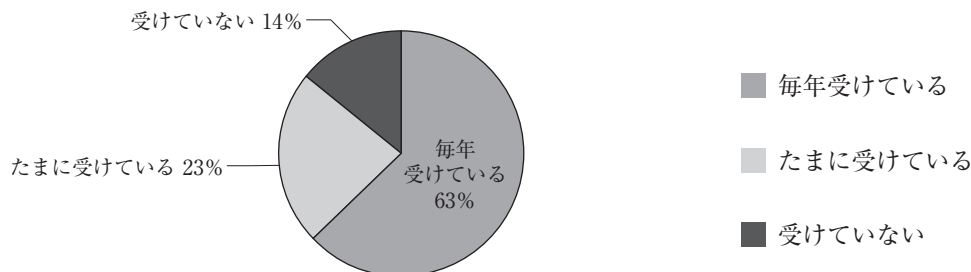
5. 今回の講演をどこで知りましたか？

市報さいたま	あすなろホーム	病院掲示のポスター	放射線技師会ホームページ	温泉施設	その他 (未回答含む)
53	3	1	3	1	6



6. 健康診断を受けていますか？

毎年受けている	たまに受けている	受けていない
42	15	9



7. 次回はどのような内容を希望しますか？

- ・血管年齢について。
- ・糖尿病、コレステロールについて。(2件)
- ・健康維持のための体操指導等。公報で知らせてください。
- ・肺活量について。
- ・体脂肪率について。
- ・次回もこのようなことをお願いします。
- ・このような機会をありがとうございます。毎年続けて頂けたら助かります。(2件)
- ・血液検査等について。(3件)
- ・骨密度測定を測定して頂きたいです。(2件)
- ・腰痛体操。(2件)
- ・骨のゆがみに関わる疾病、健康について。(2件)
- ・C型肝炎について是非お願いします。(2件)
- ・花粉、アレルギーにかんして。
- ・お薬について。
- ・一般的検査について。
- ・具体的な行動計画を示して下さい。
- ・高齢者、認知症関係。
- ・埼玉県東部地域において本日のような検査を開催して欲しい。
- ・整形外科の先生のお話を聞きたい。

水澤政之助先生を偲んで

住所：埼玉県比企郡小川町大塚250

生年月日：大正7年5月3日 享年91歳

社団法人埼玉県放射線技師会

会長 小 川 清

本会の創立に、そして進歩発展に多大な貢献を果たしてこられました水澤政之助先生が、平成22年3月20日に旅立たれました。ここに哀悼の辞を捧げねばならないことになりましたことは誠に痛恨の極みであります。

水澤先生のことは昔から存じ上げておりましたが、より親しくおつきあいをさせていただいたのは本会創立50周年記念事業でした。本会の創世記のお話を聞かせていただくために小川町の自宅に伺ったこと、また祝賀会当日は元会長として足を運ばれて、鏡割りに参加いただいたこと、今でも鮮明に残っております。その後、縁があり、水澤先生が初代技師長であった小川赤十字病院へ勤務することになり、ご挨拶に伺ったところ大変喜んでいただき心強く感じました。その後、入院時には病室へ、また自宅へと数回伺いましたが、その度に凜とした姿勢、会話を驚かせられました。逝去されてすぐに連絡をいただきましたが、私が駆けつけたのは当日夕刻になってしまいました。通夜には、水鳥、山岡、藤間元会長をはじめ水澤先生と技師会活動をとともにした先輩方が駆けつけていただき、大勢にて見送らせていただきました。先生が創立した本会は創立58年の歴史を積み重ね、さらに明日に向かって更なる発展と飛躍が期待されます。先生の御霊に対し埼玉県放射線技師会を代表し、ご冥福をお祈り申し上げます。やすらかに眠りください。

合 掌

在りし日の水澤先生を偲んで本会創立50周年記念記事を掲載させていただきます

創立50周年記念

水澤名誉会員 本会の創生期を語る

聞き手 副会長 小川 清

——今日は、本会名誉会員の水澤先生に、戦前から本会の創生期までのお話をお聞きするために、小川町の自宅を訪ねてまいりました。

本日はよろしくお願ひします。

雪が降ってきましたね。



本当、大雪で、弱ったなあと思って。どうも最近足が弱くなってきたから、外出は控えているんですよ。

****結核がすべてのスタート****

——最初に技師になった理由ですが、結核になって、それからこの道に入ったということでしたね。

そうそう、回復の目処が立ったとき、こちらから希望したわけですよ。海軍に入ってから結核になってしまい、兵役免除になって社会復帰する時ね、どういう仕事をするかということをおもな考えているわけですよ。家庭の事情とかいろいろ心配が患者さんの中に沢山あったんですね。

——直っても社会復帰が問題だったんですね。

そう。それで社会に出た時、仕事をどうするかという心配がみんなあるわけですよ。それで作業療法をやったわけです。その中にエックス線撮影と検査業務がありました。その時はエックス線技師という職種もなく、法律もなかったわけです。それが昭和

12年頃の話です。

——その結核の病院にはエックス線撮影の装置はあったんですか。

あったんです。機種名は忘れましたが、島津製作所の当時としては相当高級な装置でした。

——どういう方がやられていたんですか。

吉岡正直という技師がいますね。技師と言ってもエックス線技師ではありません。技術指導員として中野療養所から来られた方でした。、当時、中野療養所には田坂清一さんが勤務していたと思います

——その方はX線を独学で勉強されたんですか。

元々は都電の運転手でしたね。電気関係の仕事をしていらしたんですよ。この方が私が療養していた茨城の晴嵐荘にきていたんです。そこでは島津さんと村松さん（物理大学卒）という二人でレントゲンをやっていたわけですね。そこへ伊藤さんという私の先輩で北海道の人が入って来たわけですよ。それで吉岡先生の講習が始まったわけです。勿論、受講生としては山本さんと私の二人です。

——結核療養中で、作業療法をして社会復帰を待っていたときですね。

レントゲンの方に行ってもいいし、検査技師の方に行ってもいいしということでしたが、希望で私の場合はレントゲンの作業療法をやっていました。社会に出てもある程度は大丈夫というような医師の太鼓判もあったし、自分もそういう気持ちがあった。それで私は晴嵐荘を昭和11年の9月に退出したんです。元々秋田の人間なんですけど、私の従兄弟も東京の江古田にいましたから、そこへまず根を下ろしましてね。そこであっちこっち勤め口を探していたわけです。

——当時、結核にかかる方というのは年齢的には若い方が多かったのですか。

みんな若いです。20代、それから30くらいの人もいましたよ。就職を探したわけですが、なかなか見つからない。追浜に海軍の航空技術廠という飛行機作りの工場がありましてね、追浜と書いてオッパマと言うんです。そこに行って、その診療所の仕事をしていたわけです。

——晴嵐荘で吉岡先生にレントゲンのことを教わったということですが、それは講義とか実習とかはあったんですか。

いわゆる、講義の真似事みたいな事をしたんですよ。私と山本という二人が第1回なんですよ、それが初めて。電圧だとか電流だとかエックス線はこういうふうに出るだとかね。これもやっと採用されたんですよ。希望を出してもなかなか行けなかったんです。医者だとかその他の事務員のお眼鏡に合わないとそこへ入れなかったんです。晴嵐荘で教育された人たちの吉岡会というのを聞いたことがないですか。私達の時は4人でしたが、あとからどんどん増えて百人くらい入って来ましてね。

——養成所の初期みたいな形ですね。

吉岡会の私たちは1回生。でも、途中でやめることになってしまった。働き過ぎちゃってね、咯血しちゃったんです。それでまた外気小屋（大気安静療法の病室）にもどされました。昔の結核治療は、栄養と安静と気胸しかなかったから。

——同じ場所でまた療養ですか。

そうそう。晴嵐荘というのは原子力のね、今の茨城県東海村、あそこら全部晴嵐荘の土地だったんですよ。

——そして、そこを出て追浜の海軍航空技術廠に行ったんでね。そこではお仕事をしたんですか。

そうそう、ちょっとね。ちょっとという意味は、さっき言った私の先輩である伊藤さんがね、小川日赤にいたんですが、京都の学校に入校することになったんです。

——それは何年頃ですか。

入ったのが昭和11年の初めだったと思います。

——もう島津の技師養成所はやっていたんですか。

そうなんです、だいぶ前からやっていたから伊藤さんは一回生とか二回生じゃないですよ。江戸時代末期、遭難しかかっていた島津藩の船を助けたお礼に、島津という名前と十字マークを貰って、島津という会社になったというお話をきいたことがあります。結構歴史があるんですよ。

——じゃあ、全部吉岡先生につながっているんですね。

そう、そう。それで、吉岡先生から伊藤さんに小川日赤の後釜を探せと言われてたんだね。伊藤さんから追浜にいる私のところに手紙が来たわけですよ。私がこういうわけで京都の島津に行くからお前来ないか、と。そこの初代の院長が中田先生なんです。院長と吉岡先生は中野療養所で一緒だったわけです。それで私は、昭和15年の3月に見に来たわけです。見に来たんじゃないや、もう思い切って就職するつもりで。人工気胸は結核専門医の中田院長が診てくれるから来てくれというので、私は思い切って向うを切り上げてこっちへ来て、そのままずっといたわけです。

**** 戦時下、病院では ****

そうこうしているうちに戦争中、昭和18年末から昭和19年かな、小川日赤の患者を全部退院させ、



野比の海軍病院から結核患者を90人くらい入れたんですよ。名称も「野比海軍病院小川赤十字病院」という長い病院名になりました。

——強制退院させてですか。

そう。そういう事が平気で出来たんだね、当時は。あれは強引な軍医だった。当時は本当に大変だったね。それから衛生兵、衛生兵長だとかいう一団が来たんです。事務から何から全部把握しました。ちょっと抵抗した高齢の職員がいて、殴られたり蹴られたりね。ひどいもんだったですよ。だけど、私はそのままずっといられたし、検査技師もいなかったから検査までやらされちゃって、ガフキの検査などを散々やらされた。自分の気胸は勿論やってくれた。中田院長が辞めてからは、それも無くなったんですけどね。5年続きました。ですから、右肺はすっかり萎縮してしまいました。だから、肺活量が少ないです。それでも当時は写真撮る患者数も少なかったからね。その当時のことを考えると本当に兵隊、看護兵が威張ってね、どうしようもなかったですよ。だから、もしこのまま日本が勝って軍国主義的のままだったらどうなるだろうと、22、3才頃だったんですけど、随分気になりました。

——神奈川の人に聞いたことがありましたけど、神奈川県の技師会も最初の頃は皆さん衛生兵あがりだったとか。

そうでしょう。それが一番多いんです。私は衛生兵ではなかったから、余計に苦労しました。だから、何とかして早くエックス線の写真の撮り方だとかね、そういったものを覚えなければと思いましたよ。そういう気持ちが強かったものだから、東京に学会とかがあるということを伊藤さんから聞いたので入会しました。

——昭和17年に技術学会が創立されたってありますね。会費年6円。そういう会が昭和17年に出来たんですね。戦時中ですよ。よく出来ましたね。

これは東京よりも関西、島津が中心でね。技術学会のほうが言うなれば親元なんです。

——技師会はどうなったんですか。

技師会の発足は、終戦後、自分たちが携わっている仕事を社会的に認めてもらうための運動は学会ではおかしいって言うんですよ。学会が政治活動しちゃおかしいって言うので、昭和22年、日本エックス

線技師会というものを創って、法制定のために全国に檄を飛ばしたという訳です。

——戦中から戦後の昭和17年から20年頃というのは物資が無かったと思うんですが、フィルムはあったんですか。

フィルムは無いんだよ。紙、印画紙ですよ。レントゲンペーパー知らない？

——知らないですね。

紙だったんです。そして出来始めの頃は、サクラでもフジでもそうだけど薄くて弾性がないんだ。それをフィルムの変わりに入れるんです。

——乾板じゃなくて紙ですか。

そうそう、だから反対に入れると写らないですよ。それをバットで現像する。

——それは初めて聞きました。10年くらい前、中国でよくフィルムが無いフィルムが無いって言っていましたが。日本は当時はどうだったのかなって思っていたんです。

あれを使った人は今じゃないね、きっと。それも供給が間に合わないんだよ。なかなか注文しても来ない。それで私と事務長がお願いに行った。それもね、軍隊だから軍人のために使用するのでもう欲しいというような名目で分けて貰ったんです。貴重品でしたよ。あれが残ってたら面白かったですね。取っておけばよかった。

——何年くらいまでペーパーを使ったんですか。エックス線技師会が出来た頃はもうフィルムになっていましたか。

そうですね、ボツボツ出ていましたね。



**** 県技師会の誕生 ****

—日本エックス線技師会が出来たのが昭和22年で、その中に東京支部ではなく関東支部があったんですか。

そうです。関東支部です。埼玉もその中。

—昭和22年に東京支部より栃木、群馬、千葉が独立して資料にありますね。

独立とあるでしょ。だから関東地区なんですよ。埼玉では保健所に頼んで、浦和保健所管内、川口保健所管内、川越保健所管内それから大宮保健所管内というように全部調べて貰ったんです。そうしますと、最終的には146名いたんですよ。それでこの赤い印が、その時技師会に入った人です。

—146名というのは、びっくりしましたね。もっと少ないと思いました。

殆どは東京で勤務していたんです。

—昭和22年に出来て、23、24、25年は東京の中で活動していたんですか。

そう。東京で始終、講習会をやっていたんです。私は入っていましたからその度に通知が来ました。でも、私が顔を知っている人は一人もいなかったです。でも、面白かったですよ、今から考えると。自分たちの立場を向上させるといって勢いがあつたね。当時のことを中村会長はいろんなことを言いますが、あの当時はやむを得なかったんです。我々の指導は全部お医者さんですから。

—僕が入った頃もある意味じゃ同じですよ。最近、ここ10年くらいでやっと技師が技師を教えられるようになってきたんですよ。

だから、中村会長の苦勞というのはね、並大抵ではなかったのでしょうかね。前の医師会長の武見太郎さん、ああいう、それこそ厚生大臣を怒鳴りつけるくらいの勢いですからね。医師会もなかなかウンと言わないわけですよ。本当に手足です、小僧扱いですから。

—なかなか抜け切れないですよ。昭和26年に埼玉が立ち上がる前の1、2年は同志を募ったという訳ですか。

そうですね、1年くらいかな。そうして技師法制定について先生方の理解を求めるために奔走したわけです。

**** 技師に人格を ****

—医師会の承諾を貰わないと駄目だったんですか。

駄目じゃなくね、必要性を認めてくれたということだね。そういうことも職場で、施設長、あるいは同僚の理解がないと動けないですよ。僕なんかは、まだそういう意味においては非常に恵まれていたわけですよ。私よりももっともっと立派な人も沢山いたんですけど、職場の事情で出来ないんですよ。兵庫だったかな、優秀な技師がいましたね。日放技の副会長をやっていましたが、技師会を取るか病院を取るかと言われて引っこ込みましたね。

—職を賭してということですね。

今でも、同じだと思いますよ。出歩くには、やっぱり自分が勤めている、籍を置いている職場の理解がないと、とてもやってゆけません。だからそういう意味においては、本当に皆さんよくやるし、大したものだと思いますね。

—そうなんですよ、やっぱりみんながいるからやれるんですよ。自分だけがやっているっていうのではなくて、周りの協力があるからできるんです。それとやっぱり、あとは人間性ですよ。

そうですね。誰だったかなあ、うちへ来た人が、私が汗を流して午前中の撮影を一生懸命やって、昼飯も中途半端に、すぐ技師会のために飛び出すのを見て「何、まだそんなことをしているの」なんて言う人もいましたけどね。やっぱりやることはちゃんとやらないとね。

—あの頃、車もなかったからすべて電車でしょう。小川から、電車で乗り換えて大宮、浦和に行くんだって大変だったと思います。

そう、本当に大変だった。それからもうひとつね、昭和28年に全日赤の技師会が出来たんですよ。その役員にされちゃったんですよ。と言うのはね、水沢は埼玉県の会長やってるから手伝って貰えるんじゃないかということ。

——あつ、そうなんですか。両方ね。日赤の技師会というのも規模的には大きいですよ。

大きいですよ。全国で49ありました。当時は地方の基幹病院でしてね。そしてレントゲンは病院の稼ぎ頭だったんです。儲かったんですよ。胸部1枚5円だったんです。高かったですよ。だから放射線技師っていうのは、その病院ではいい待遇だった。組合が出来てもトップは代々放射線技師だったんです。

——女性が多い職場ですからね。

医者と看護婦の中間だった。当時は検査技師なんかはまだあまり芽が出ていない時だった。検査技師会も放射線技師が技師会を作ったので、刺激されて出来たわけですからね。もう一つ、女性技師がいなかった。薬剤師とか看護婦は勿論女性なんですけど。いわゆるレントゲンの技師は殆どが男性だったんです。

——どっちかと言うと、やはり電気だとか機械だとかいう感覚がありますよね。

それと放射線の被曝の問題があったものだから、女子は絶対にその職に就くことを嫌がった。だから、非常に技師会そのものに団結心があったんですね。どこの県もそうだったと思いますよ。私は放射線の技術だとか、理論だとかそういったものは殆ど無いに等しいわけで、ただひたすらに組織の拡大、要するに会員の勧誘で組織を大きくしておけばという考え方が一番頭にありました。ですから、私はあっちこっちに飛び歩いたんですよ。

——そういう方が各県に何人かいらして、今があるわけですからね。

皆さんに働きかけて、ぜひ一緒にやりましょう、と。それで、我々の会が出来てすぐ県職の技師会が出来たわけなんです。一緒にやりましょうということだったわけですけど、なかなか人も会費も集まらなかった。

——組織を一つ作り上げるということは、やはり大変なことですね。

私が会長のとき、昭和39年40年頃は保健所に医者

が少なくって困っていたんですよ。それでね、エックス線技師を予防課長に推薦するようにして貰いたいということで県庁に働きかけたんです。ものすごく日参したんですよ。その時に、技師の予防課長が6人出たんです。

——それは画期的な事ですね。

また、本会の役員制度ね、私が辞める置き土産として、役員任期を2年にしたんです。その前は1年だったんです。自分でやってみてね。1年交替じゃ何も出来ないんですよ。だから、大屋さんに替わる時、総会で2年にしたわけです。

また、エックス線技師法が出来て何年か経って、日赤技師会が課長制度を作ったんです。そして放射線技師法になったとき、放射線部長というのを随分働きかけたんですよ。

部長はちょっと無理だったのですが、すったもんだで、じゃあ、技師長っていう名前があるというんでね。これは一般では看護婦長と同格だった。ところが、日赤では技師長というのは副部長待遇だったんです。これは、自慢していいと思っているんですよ。本社の衛生部長がね、小川日赤から行った人だったからやれたんです。本社の衛生部長というのは全国の病院のトップですから。でも、最近はなかなかないんです。昨年から本社から来て課長の試験をやるようになったんですよ。婦長も課長も係長もね。

——みんなそうなっちゃうんですよ。今は試験でね。もう、誰でもって時代じゃないですからね。

これは画期的な事なんですけど、みんなブルっているんですよ。能力主義でいなくなっちゃね。どんな職場だって今そうだもんね。去年からだって。一人も合格しないんだって。

****うまくって当たり前****

——それでは、昭和26年くらいから40年近くまでお話ししていただきましたのでその続きをお願いします。

昭和41年に赤松さんが辞めてまた、私が会長になったんだが、今度は、放射線技師の国家試験ね、結局、国家試験は2回とも私が会長だったんです。だ

から、余計に苦労したんです。

——みんなうまくいって当たり前ですしね。落ちこぼれが出ると不満が出ますもんね。

そうなんです。だから、よくまあ勤まったなあ、と、今更ながらつくづく思いますね。

——その頃はお丈夫になられたんですか。

いや、気胸やっていたんだから。それでも頑張ったんです。そして60才近くになって、胃がんになっちゃったんです。

——飛び回っていて倒れたんですか。

それはなかったね。気が張っていたからね。20周年か30周年の日赤の記念総会もあったんです。私が準備していたんですが、総会の直前になって入院（笑）。それで、副会長に代理を頼んでやって貰ったけど、あの時は落ち込んだね。まったく今から考えてみると、よく走り回ったもんだなあつくづく思いますよ。

——先頭を走る人が前向いて走って行かないと、後ろから絶対について来ないですよ。

認定講習の時なんかは、本当に苦労しました。一回でも休めば受験資格が無くなっちゃうわけで。2人ばかりいまして文句言われましたよ。だって、私が認めようと思ったって、他の役員がそれは駄目って言うでしょう。すごく恨まれちゃってね。それで受けない人が5、6人いましたよ。だから、エックス線技師でずっと過ごしている人もいましたね。

——何かこう答えがはっきりしていないものにも向かって行かなければいけないっていうか、まとめ上げていくというのは気苦労が多かったと思いますよ。時代もいろいろ変化して行って、変わろうとしていましたからね。でも、それが無かったら放射線技師なんか見捨てられていたかも知れせんね。

そう。今、中村会長の本をね、読まさせていただいているんですけど、本当にこの通りなんです。当時の東京にはいろんな侍がいて、なりたくってしょうがない人がいっぱいいたわけですよ。ただ、中村会長にもしもの場合ね、あとどうなるんだろうと思って。それが一番私は気になるところだね。埼

玉県は良い会長と良い副会長が出て私は本当に嬉しいって言うか安堵したって言うか。本当にそういう気持ち。



——ありがとうございます。放射線技師がいろんな形で自立して、患者さんに認めて貰う、結果的には、医者からも病院からも認められるようになってきつつあるのではないですか。いろんな人がいますから、駄目なところもあるかも知れませんが、全体としては少しづつ前に進んでいると思います。

だから、輪が一番大切ですよ。

——そうですね。給料をバブルの時に上げて貰ったのが下がっちゃって、嫌だったら辞めろよみたいな、お金の釣られて動いちゃった人が結構いるんですよ。それと新卒者が就職する場所が少ないという事も問題ですね。

そうね。それともう一つは無資格者の問題なんです。保健所の指導って言うか監視って言うか、あれが甘いんですよ。ところが、あまりきつくできないわけですよ、そういう所へ行くと何でもさせられるいわゆる小使いになってしまうって行きたがらない。

——そういう医療需要があるんだから、技師会が何かの形で答えを出してあげたいと思うんです。常勤で技師を派遣するっていうのは難しいでしょうが、非常勤みたいに、あるいはリタイアした人に交替で行って貰うとか、そういうようなシステムが作れないか。放射線技師は必要なんです、必要だけど、一日一人がずっといる必要性はないというところが結構あるということですよ。

結構どころじゃなく相当ありますよ。

——そういうところに対しても、技師会は何か答えを出していくべきと考えております。今、定年になって、皆さん元気ですから、そういう情報があればすぐ出来ますしね。藤間会長からの指示もあるんですけど、やっぱり定年になっちゃうと技師会を辞めちゃう方がいらっしゃるんですよ。昔は勤務先から会費とか出っていたのですが、今はそういう時代じゃないんで、経済的に厳しいっていう事があるんですが、だから、そういう時に、技師会として何かの形で繋ぎ止める会を作ろうかって言っているんです。

是非そう願いたいですね。

——雪が止みませんね。

体を温めにいきましょうか

平成13年3月24日

水澤氏自宅にて

第1地区**「報告」**

1、平成21年度 第3回 第一地区勉強会

日時：平成22年3月5日（金曜）19時～21時

場所：済生会川口総合病院 地下1階 食堂

ア、メーカー講演

内容：「実験 高濃度バリウムと添加剤」

講演者：株式会社カイゲン 営業企画推進部

永長正樹（ながおさ まさき）様

イ、特別講演

内容：「NPO法人 日本消化器がん検診精度管理機構 胃がんX線検診 新しい基準撮影法」

講演者：東京都予防医学協会 放射線部

佐藤清二（さとう せいじ）様

ウ、総会

参加人数：30名

2、平成22年3月20日（土曜）「わくわくさいたまいきいき祭り」

開催時間：10時～16時

会場：さいたま市市民活動サポートセンター（コムナーレ9F）

主催：アシスト浦和21

第一地区として参加

実行委員 15名

- ・放射線検査の啓発
- ・無料の超音波骨密度測定 被検者165名

終了後、お疲れ様会を実行委員9名で行ないました。

問い合わせ：第一地区理事 八木沢 英樹 h-yagisawa@sart.jp



講議中



実験中



佐藤 清二 先生

第2地区

4. 施設紹介

狭山中央病院

埼玉県放射線技師会 第二地区役員
武田義昭



狭山中央病院
開設：大正9年4月
所在地：埼玉県狭山市富士見2-19-35
電話：02-2959-7111



施設・機器紹介

当院は住宅街にある中小規模の病院ですが、救急医療、急性期医療、地域医療に貢献しております。

機器：CT装置 GE社製 Light Speed Ultra
TV装置 島津社製 C-Vision Safire
一般装置 GE社製 Proteus

最新鋭の機種ではありませんが、それぞれの機器のスペックの活かし、患者様により良い医療を提供しております。



技師長の話

昨年の6月より技師長の就任致しました、武田です。宜しくお願い致します。

就任した当初は、自分自身不安だらけの出発でしたが、放射線科スタッフのお陰で少しずつではありますが不安が取り除かれ、心に余裕を持てるようになってきました。

これから円滑に業務が進められるよう、気配り目配りを忘れずしていきたいと思っております。

病院行事

当院の病院行事にはボーリング大会、院内野球大会などスポーツが盛んに行われています。
放射線科は積極的に参加し、親睦信頼を深め、日頃のチーム医療に貢献しております。



放射線科について

放射線科は技師4名、クラーク1名となっております。検査数やモダリティの数に対して少ない人数で日々頑張っています。また4人で当直を回している為なかなかハードな勤務状況だったりします(;´ρ`)
今はみんな年齢も若く楽しく仕事をこなせていますが20年後は...。
あまり先の事は考えないように仕事に勉強に今を頑張ります(笑)



新人紹介

3年目になる新人？の浜田です。
当院には技師が4人おり、とても頼れる先輩ばかりです。又、この病院に勤務して驚いたのは、科内はもちろん他科とも仲が良いことです。仕事だけではなくプライベートな集まりも多いのでコミュニケーションが良く取れています。こう書くと嘘っぽく聞こえてしまうと思いますが、8割方は本当です。その中でも理事長の存在は大きく、気さくでとてもフレンドリーな方です。そのような理事長を中心として雰囲気の良い病院が作られています。



第3地区

第三地区会だより

第3回 勉強会と定期総会を開催しました。

第3回勉強会

日 時 平成22年3月25日 木曜日 19:00～
 場 所 埼玉医科大学総合医療センター 5F 小講堂
 内 容 『MRIによる脳血流動態評価ASL (Arterial Spin Labeling)
 脳パフュージョン検査の基礎的検討』
 講師：埼玉医科大学病院 中央放射線部 柳下 友明
 参加数 28名

平成21年度(社)埼玉県放射線技師会第三地区総会

議事

- | | | | |
|----------|---------------|------|------|
| 1. 第1号議案 | 平成21年度事業報告 | 地区理事 | 澁市直紀 |
| 2. 第2号議案 | 平成21年度会計決算報告 | 会計幹事 | 佐治 明 |
| | 会計監査報告 | 会計監査 | 今井 昇 |
| 3. 第3号議案 | 平成22年度事業計画(案) | 地区理事 | 澁市直紀 |
| 4. 第4号議案 | 平成22年度収支予算(案) | 会計幹事 | 佐治 明 |
| 5. その他 | | | |

平成22年度 事業予定(案)

- 1) 第1回勉強会 (役員会) 平成22年6月
- 2) 納涼会 平成22年7月
- 3) ボーリング大会 (役員会) 平成22年10月
- 4) 第24回越健康まつり平成22年11月7日(日)
- 5) 第2回勉強会 (役員会) 平成22年11月
- 6) 新年会 平成23年1月
- 7) 第3回勉強会 (役員会) 平成23年3月
- 8) 平成22年度総会(役員会) 平成23年3月

参加数28名と委任状90名の会員にて総会成立

事業報告・会計報告及び平成22年度事業計画(案)・予算(案) 承認

会計幹事の関越病院 佐治 明さん 会計監査の旭ヶ丘病院 今井 昇さんをはじめ
 役員の方々、平成21年度事業が、無事に終了しましたことを感謝します。お疲れ様でした。
 平成22年度も引き続き、ご協力とご尽力の程をお願いします。

お問合せは (社)埼玉県放射線技師会 理事 澁市直紀 n-shibuichi@sart.jp 迄

第4地区

平成21年度埼玉県放射線技師会第4地区会総会報告

去る3月11日、熊谷市文化創造館 さくらめいとにて平成21年度埼玉県放射線技師会第4地区総会が行われました。

当日参加は43名、委任状提出者118名で、地区会則第12条により総会成立の運びとなりました。以下に平成21年度決算書および平成22年度予算書を提示いたします。

平成21年度埼玉県放射線技師会第四地区会
収入支出決算報告書

単位(円)

大項目	小項目	本年度予算額(イ)	収入済額(ロ)	増減(ロ)-(イ)	備考
埼玉放技交付金		80,000	92,800	12,800	1名400円
地区事業費	学習会	250,000	157,000	-93,000	
	納涼会	170,000	210,000	40,000	
	忘年会	500,000	384,000	-116,000	
	医療画像展	100,000	122,000	22,000	秩父、深谷健康まつりに参加
	公開講座	0	0	0	
繰越金		354,635	398,025	43,390	
雑収入		0	177	177	利子
合計		1,454,635	1,364,002	-90,633	

単位(円)

大項目	小項目	本年度予算額(イ)	支出済額(ロ)	増減(ロ)-(イ)	備考
地区事業費	学習会	250,000	107,620	-142,380	会場費、講師費、軽食等
	納涼会	170,000	213,000	43,000	
	忘年会	500,000	411,600	-88,400	
	医療画像展	100,000	98,844	-1,156	
	公開講座	0	0	0	
地区会議費		80,000	70,140	-9,860	
定期総会		80,000	80,000	0	
事務消耗品		10,000	17,105	7,105	ノート、ハガキ
福利厚生費		30,000	8,452	-21,548	ソフトボール大会
障害保険費		24,840	27,600	2,760	
予備費		209,795	0	-209,795	
合計		1,454,635	1,034,361	-420,274	

平成21年度 収支差額 1,364,002-1,034,361=329,641
繰越金 329,641円

平成22年2月25日提出 社団法人 埼玉県放射線技師会 第四地区会 会長 長谷川英治

平成22年度埼玉県放射線技師会第四地区会
収入支出予算

単位(円)

大項目	小項目	本年度予算額(イ)	前年度予算額(ロ)	増減(ロ)-(イ)	備考
埼玉放技交付金		90,000	80,000	10,000	1名400円
地区事業費	学習会	250,000	250,000	0	
	納涼会	170,000	170,000	0	
	忘年会	500,000	500,000	0	
	医療画像展	100,000	100,000	0	埼玉放技補助金
	公開講座	0	0	0	
繰越金		329,641	354,635	-24,994	
雑収入		0	0	0	
合計		1,439,641	1,454,635	-14,994	

単位(円)

大項目	小項目	本年度予算額(イ)	前年度予算額(ロ)	増減(イ)-(ロ)	備考
地区事業費	学習会	250,000	250,000	0	会場費、講師費、軽食等
	納涼会	170,000	170,000	0	
	忘年会	500,000	500,000	0	
	医療画像展	100,000	100,000	0	秩父、深谷健康まつり参加予定
	公開講座	0	0	0	
地区会議費		80,000	80,000	0	
定期総会		80,000	80,000	0	
事務消耗品		10,000	10,000	0	
福利厚生費		30,000	30,000	0	ソフトボール大会等
障害保険費		27,600	27,600	0	
予備費		192,041	209,795	-17,754	
合計		1,439,641	1,454,635	-14,994	

秩父市保健センターまつりにて医療画像展開催

平成22年6月6日（日）秩父市保健センターにおいて第13回保健センターまつりがおこなわれます。その中で埼玉県放射線技師会第4地区会として、医療画像展を開催いたします。

10年以上開催していますが、年々多くの市民の皆様に、来場いただき喜ばれています。

市民の皆さんに我々の会を知っていただく、貴重な時間となっています。

会員の中でお手伝いをしていただける方を募集しております。実行委員をやってみたい方、下記の地区役員までご連絡をお願いします。

長谷川英治	羽生総合病院	吉田 真一	秩父病院
山田 伸司	小川赤十字病院	萩原 貴之	行田総合病院
山崎由紀敏	東松山市立市民病院	斎藤 幸夫	深谷赤十字病院
尾川 光弘	熊谷総合病院	小林 茂幸	深谷赤十字病院

昨年度、秩父市保健センターまつり医療画像展の様子



第5地区



第五地区

2月に行われた勉強会の内容を紹介します。

済生会川口総合病院 城處 洋輔 氏

獨協医科大学越谷病院 諏訪 和明 氏

忙しい中、こころよく引き受けてくれた二人の講師の方に感謝いたします
(次ページより掲載)



地区よりのおしらせ

親睦ゴルフ大会を6月13日(日)
大日向カントリー倶楽部にて開催いたします。
皆様のご参加お待ちしております。



CT装置の物理特性について

済生会川口総合病院 城 處 洋 輔

物理特性の評価については、ExcelやImageJを用いた手法が普及してきている。今回は、CT装置の性能評価項目より、空間分解能（スライス面内、体軸方向）、スライス厚、時間分解能の測定原理及び評価方法について紹介した。また、評価法はそれぞれの項目に対し種々あるが、比較的簡便で誤差の少ない方法にて測定した。

・空間分解能（スライス面内）－ワイヤ法にてMTF曲線により評価－



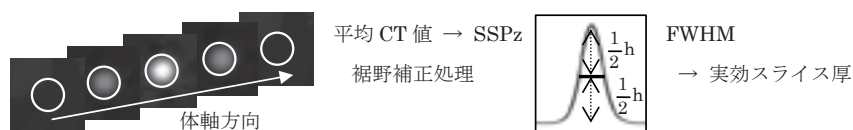
〈Pitfall〉 裾野の平均化：ビームハードニング補正のある再構成関数では、裾野が上昇する前までを平均化する。

裾野のZeroing：アンダーシュートがある場合は、無くなるまでを信号とし、その外側をゼロで置換する。

・空間分解能（体軸方向）－微小球体法にてMTF曲線により評価－

後述の実効スライス厚を算出するSSP_zをフーリエ変換したMTFより得られる。

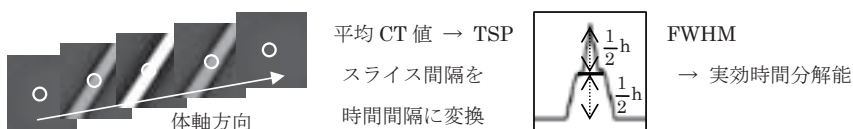
・スライス厚－微小球体法にてSSP_zのFWHMにより評価－



〈Pitfall〉 ROIの設定：球体辺縁部より少し大きめ。（ROIが極端に大きいとプロファイルカーブが広がってしまう）

金属球の選択：測定スライス厚の1/10が推奨されているが、スライス厚1mm以下では0.1mm以下の球体が必要であり、信号成分の低下により誤差が生じる可能性がある。当院での実験結果からは、スライス厚の1/2以下までは測定誤差は少ないことが示唆された。

・時間分解能－金属球打ち出し法にてTSP、MTFにより評価－



〈Pitfall〉 TSPの時間軸：心電同期再構成の場合、スライス間隔を単に時間間隔に変換するのではなく、心拍数のR-R間隔によって規定される。

第5地区勉強会（平成22年2月19日）

モニタ診断への基礎知識

獨協医科大学越谷病院 放射線部 諏訪和明

<背景>

今まで、診療放射線技師は、フィルム診断を行っていく中で、フィルムの感度・増感紙の感度・自動現像機の管理・シャウカステンの輝度など、出力されるフィルム・表示するシャウカステンなどに対し、最適な診療情報の提供に取り組んできました。

現在、フィルム診断からモニタ診断に移行されつつある中で、モニタに対する放射線技師の関心度は、フィルムに比べてとても低く取り組みにくいと思われがちです。

しかし、医師に画像情報を提供する立場として、最適な画像を提供することは言うまでもなく、モニタに関してもできる限り多くの知識を持たなくてはなりません。

<モニタ診断の特徴>

モニタ診断を行っていくには、モニタで読影する際の利点・欠点について十分に理解しておく必要があります。

モニタ読影の欠点としては、解像度・輝度・コントラストに限界があること、輝度劣化（モニタの寿命）があること、表示画像の一貫性を保つことが難しいことなどが代表として挙げられます。

この利点・欠点とモニタの特徴を理解することで、診断の質を落とさずにモニタ診断へ取り組むことができます。

<液晶モニタの種類>

液晶モニタと言っても、液晶パネルの駆動方式の違いからTN方式・VA方式・IPS方式の3種類に大別できます。特徴として、TN方式は駆動電圧・コストが低く視野角特性が悪い、VA方式は純粋な黒を表現できることとコントラスト比が高

い、IPS方式は視野角特性は良いがコントラスト比・輝度・応答特性を高くしにくいなどが挙げられます。また、TN方式はPC用、VA方式はTV用、IPS方式は医療向け用として高いシェアを持っています。

<液晶モニタの構造>

液晶モニタの構造をFig.1に示します。

カラーモニタとモノクロモニタの違いはカラーフィルタの有無によるだけで他の構造は全く同じです。

しかし、カラーフィルタがないモノクロモニタは、カラーモニタに比べ3~5倍の輝度が得られます。

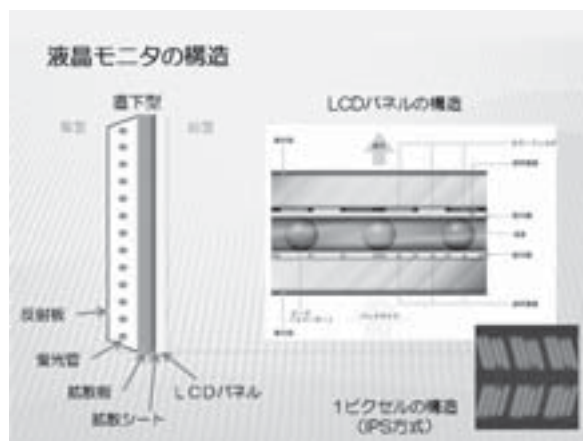


Fig.1

<フィルムとモニタの解像度>

フィルムはモダリティから出力されたデータ全てのピクセルを表現できるのに対し、モニタの場合、各種モニタでピクセル数に限界があるため限界以上の入力データ全体を表現すると縮退して画像情報が欠落します。（等倍以上の拡大表示で縮退しないデータを表示可能）

＜画像Viewerとモニタの関係＞

「Viewer」は診断ワークステーション全体もしくはその内部の画像表示ソフトウェアのことを言います。「モニタ」は診断ワークステーションの一部であり、Viewerの描画した画像を忠実に表示することが役割です。Viewerの性能とモニタの性能を理解することは、モニタ診断をする上で必要不可欠です。

Viewerに依存する機能として、画像の縮退に関わる画像補間を紹介します。

Nearest Neighbor (ニアレストネイバー)

変形後のピクセルが変形前にどこの座標に位置していたかを計算し得られた座標を四捨五入または小数点以下切り捨てし、その座標にあるピクセルの階調を変形後の階調にします。

Bi-Linear (バイリニア)

いわゆる「線形補間」。変形後のあるピクセルが変形前のどの領域に相当するかを計算し、その領域内にあるピクセルの階調の平均値を変形後のピクセルの階調にします。

Bi-Cubic (バイキュービック)

バイリニア法では「変形後のピクセルが、変形前に占めていた領域」だけを評価対象にしますが、バイキュービック法ではさらにその周りの領域に含まれる階調も考慮に入れて変換を行います。バイキュービック法では周りの領域も扱うので、バイリニア法のように単純に平均を取るというわけにはいかず別の関数を使って処理しますが、この関数の特性で、変形後の画像はエッジが強調される傾向にあります。(Fig.2)

＜DICOMの考え方＞

DICOM Base Standardの2008Part14にDICOMについて記載されていますが、モニタに関する内容として、中心になってくるのがGrayscale Standard Display Function (以下GSDF)です。GSDFとは、日本語でグレースケール標準表示関

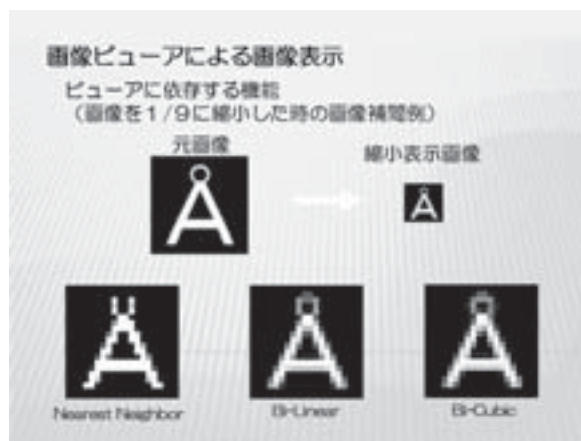


Fig.2

数と言い、与えられた輝度の範囲にデジタル画素値を表示するための、客観的で定量的な仕組みを提供するために開発されたもので、1つの画像表示装置あるいは1つの画像モダリティの特性に基づかない、輝度の広い範囲にわたる、人間の視覚の測定モデルに基づいている (Bartenモデル)。異なるダイナミックレンジを持つ表示装置間の見え方を合わせる方法を定義していると書かれています。

例えば、あるモニタで、16段のステップ画像が等間隔で16段見えているときに、見え方があっているとすると、異なる種類のモニタでも、同じ画像データが等間隔で16段見ることが出来るということになります。(Fig.3) また、DICOM Base Standardの2008Part14では、P値 (画像の階調) についても説明されています。つまり、P値画像をGSDFでキャリブレーションされている各種モニタに表示することで各モニタのダイナミックレンジによらず同様の見え方になるということになります。

＜モニタ管理について＞

DICOMによってより良い診療情報の提供を行う環境作りがなされていることはすでに理解できたと思います。しかし、モニタは使用時間や設置

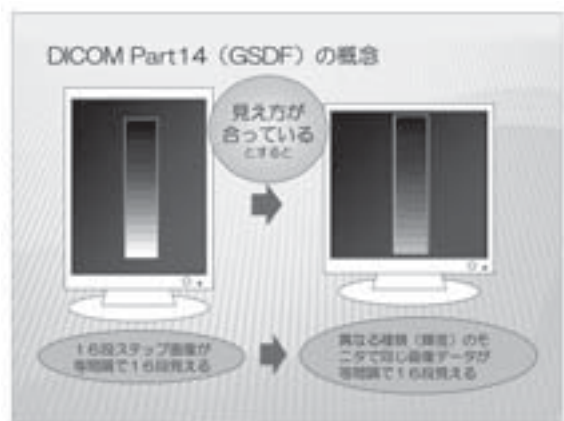


Fig.3

環境などにより経年変化から輝度の低下や特性の変動が発生してしまうのが現状で、常に最適な表示をさせるためにはモニタのキャリブレーションが必要になります。

キャリブレーションとは、輝度の調整やLUT (GSD) の再設定を行う作業で、キャリブレーションを行うためにはモニタの管理が必要になっ

てきます。

現在、日本国内のモニタに関するガイドラインには、日本画像医療システム工業会 (JIRA) が提唱している「QAガイドライン JESRA X0093-2005」があります。

このガイドラインに従い精度管理することで、より最適な画像を提供することが可能になります。

<まとめ>

私の個人的見解になってしまいますが、モニタは「画像を表示するためのモダリティ」とであると考えています。

そのためには、モニタの特性や特徴を十分に理解することが必要と思っています。

冒頭にも記したように、最適な画像を提供する立場にある私たちは、各施設の撮影方法・画像出力方法などを十分に理解し、各モダリティに合ったモニタを選択し、提供していくことが、これから求められることになると思います。

第6地区

Lock ON Vol1

指扇病院 石川直哉

第六地区会会長に就任し、早いもので一年が過ぎました。この一年は、第六地区会員の皆様また地区役員の皆様に助けられながら地区を運営し、無事に定期講習会やボーリング大会などの各種イベントを開催することができました。昨年度の定期講習会では、円滑な検査を行う上で不可欠な患者接遇についての講習会にはじまり、読影能力を身につけることで、結果としてより質の高い検査を行えると考え、読影についての講習会を数多く取り入れました。そして、最後に私たち診療放射線技師の重要な役割である被ばく低減についての講習会を行いました。それぞれ、一回目定期講習会36名、二回目31名、三回目25名と多数の方に参加していただきましたが、第六地区の会員総数約250名から考えると少ないと感じます。今年度は、より多くの会員の方に参加いただけるよう、地区役員とともに検討していく所存です。

この度、平成21年度第六地区総会にて、10年以上前に第六地区会の活性化と情報の伝達方法として発行が開始された、Lock ONを埼玉県放射線技師会の会報の地区だよりに掲載することになりました。理由は、地区会業務の効率化と経費削減と印刷の仕上がり具合の三点です。業務の効率化についてですが、Lock ONの発送業務がなくなることにより、時間が節約でき会議で多くの議論が可能となります。次に経費削減についてですが、現在Lock ONを発送する際、印刷代と用紙代と発送費用がかかっており、第六地区会の支出の中で大きなウエイトを占めています。必要なくなった費用をどのように地区会員の皆様に還元していくかは、今後検討していきます。印刷の仕上がり具合については、埼玉県放射線技師会の会報は、印刷の精度が良いため、皆様からいただいた資料をきれいに掲載することができます。以上の理由により平成21年度第六地区総会にて議案を出し、可決されたことをご報告いたします。会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今後、第六地区会のホームページが講習会の案内やイベントの案内の伝達に大きな役割を果たしていきます。定期的に確認していただけるようお願いいたします。

最後に、優秀な役員や会員の皆様のご協力をお借りして、少しでも地区会が活発になるよう盛り上げていくつもりでございますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

『平成21年度 第六地区会第3回定期講習会報告』

平成22年2月25日（木）さいたま赤十字病院にて、平成21年度第六地区第3回定期講習会が開催され、25名の会員に参加いただきました。今回のテーマは、「上尾中央総合病院における放射線管理 医療被ばく低減施設認定を取得して」で、講師は上尾中央総合病院の佐々木 健様でした。講演では、医療被ばく低減施設認定について基礎から講演いただき、取得までの過程をととてもわかり易くご講演いただきました。私たち診療放射線技師は、患者さんだけでなく、医療従事者が安心して働けるよう医療被ばくについての知識を積極的に高めると共に、その知識を広めていくことが重要であると感じました。また、画像の質と被ばくの低減は紙一重の関係ですが、検討を重ねることで少しでも被ばくを低減できるよう心がける必要があると再認識しました。

埼玉県に多くの医療被ばく低減施設認定が取得できるよう、今回の講演の資料を佐々木様のご好意でいただきました。第六地区ホームページに掲載してありますので、参考にしていただけたらと思います。最後に第六地区会では、これからも診療放射線技師に必要とされる知識を多くとりいれていきたいと考えております。たくさんの方の参加お待ちしております。

『平成22年度 第六地区会第1回定期講習会のご案内』

平成22年度第1回定期講習会を下記のとおり開催いたします。ご参加のほどよろしくご願いたします。

記

テーマ1『未定』

講師：指扇病院 榎本 雅彦様

テーマ2『当院の乳腺診断について』

講師：さいたま赤十字病院 岡田 智子様

テーマ3『造影剤の副作用について』

講師：西大宮病院 北澤 健司様

日時：平成22年6月3日（木）19:00～

場所：さいたま赤十字病院 本館5階第三会議室

尚、詳細は第六地区会ホームページにてご確認ください

『第六地区納涼会のお知らせ』

毎日暖かい日が続いておりますが、会員の皆様はお変わり無くお過ごしでしょうか。

今年も例年通り、第六地区納涼会を下記の通り開催したいと思います。日頃交流の少ない方とも親睦をはかれる楽しい集いになるように企画させて頂きました。

是非御参加くださいますよう、御案内申し上げます。

日時：平成22年7月1日（木） 19:00～

場所：魚河岸 料理酒場 えん 大宮東口店

大宮駅東口徒歩1分 南銀座通り

TEL 048-658-2996

会費：男性 4,000円

女性 3,000円

※下記担当者まで電話または、メールにて申込みをお願いします。

担当者 指扇病院 放射線科 榎本 雅彦

TEL 048-623-6818

E-mail xray@sashiogi.com



みんなのカプリッチオ

埼玉県のがんを考える会
がんサロンたんぽぽ

田 中 宏

3月28日（日）、本会の鈴木正人監事の紹介で「がんサロンたんぽぽ」に私と星野 弘理事が参加してきましたので報告いたします。

この会のがん患者、その家族が集まり、悩みなどを打ち明け、お互いにサポートしていくことを趣旨としたものです。月に一度2時間程度開催し、対象地域は主に埼玉県全域としています。今回は3回目の開催でしたが、20名程度の方々が集まりました。

私たちは医療従事者として、一般参加をさせてもらい、可能な限り参加者からの相談に応じてきました。

がんに限らず、患者さんの多くは病気になると初めての経験で、診断や治療で使われる言葉のほとんどは聞いたことがない専門用語なのです。その上、なぜ、自分が病気になったのか？この後、自分はどうか？不安だらけの日々を過ごしているのが実情です。患者本人はもちろん、家族も患者本人にどのようにサポートして良いかわからない方も少なくありません。ですから、看護学では「患者本人へのサポートと同時に家族へのサ

ポート」が必要とされています。

そこで、私たち診療放射線技師（以下技師）は、医師ではありませんが、医療従事者の一員として、患者、その家族とその医療現場の間で潤滑油となれるのではないかと思います。

私たち技師が「がん患者の会で相談？」と思う方もいるかもしれません。古くは、技師は医師から依頼された検査を言われたとおりに検査をこなすことが良いとされてきました。例えば、CT専門、MRI専門、治療専門・・・というように。もちろん、専門化することは必要ですが、今では診断から治療までの流れをある程度知った上で検査をすることが求められている時代です。

相談を持ちかける方は一般の患者とその家族です。もちろん、私たちを医師ではない医療従事者であるということを知った上で相談してくれるのです。私たちが医療従事者としてわかる範囲でアドバイスをするだけでもいいと思うのです。

また、このような会を通して県民の皆様ががんに対して意識を持ち、検診受診率が向上してくれればと思います。

がんサロンたんぽぽ

開催日時：4月25日、5月23日、6月20日、7月25日 15:00～17:00

開催場所：フォーシーズン志木ふれあいプラザ 志木市本町5-26-1 丸井8F

048-486-1000

お問合せ：「埼玉県がんを考える会」志木市中宗岡4-11-39

古賀秀子 090-6712-7048

鈴木監事のHPにリンクされています。「埼玉県会議員 鈴木正人」で検索してください。

ことわざ全集その11

一流のラーメン屋は行列をつくらない

HT

－この“ことわざ”は私の知人の医師から教わった言葉である。－

おいしいラーメン屋は行列をつくるという印象があります。もちろん、この理屈は正しく、おいしいから行列をつくるのです。

しかし、ラーメン職人は「オレはおいしいラーメンを作るから行列ができて当たり前だ」と思ったとすれば、それは単なる“おごり”になってしまいます。このラーメン屋はいずれ閉店になることでしょう。

おいしくて、待たせない。これが一流のラメ

ン屋の条件だといいます。しかし、現実にはおいしければ行列はできるし、多少なりとも待たせることもあるのが現実です。このことわざの真意は「スピードもサービスの一つ」「決して今の自分におごらない」ということだと解釈しています。

たとえば、私たちが担当する検査にも言えることである。検査の技術はもちろん、その検査精度で満足するのではなく、患者を待たせない。また、待つのであれば、いかにストレスを軽減するかということを常に考えることが必要なのだと思うのです。

ことわざ全集その12

世の中、8割は理不尽なことである

HT

社会生活は集団生活です。職場、自治会、サークル活動、家族など複数人の生活ということになります。その集団が自分にとって、どういう関係かによって理不尽な割合は変わってきますが、仕事の場合はおおむね8割ではないかと思うのです。人それぞれが自分の考えや意見を持っている以上、全ての人が100%納得いく決断はできません。つまり、多くの場合、bestではなくbetterな決断となるわけです。そう考えると、自分の納得いくbestな決断は全体の2割程度あればいい方ではな

いかと思うのです。

そこで、自分の意見がbestだと言わんばかりに押し通せば、単なる「私の強い人」か「ワガママ」になる可能性大と言えます。

もちろん、意見を言うことは大切で、言わないことは逆に良くないことだと思いますが、人によっては意見を言えない人もいます。ですから、相手が意見を言えるようにしてあげることも大切ですよね。

ことわざ全集その13

感謝の言葉は言葉で表してこそ感謝となる

HT

初恋の相手に自分の気持ちを伝えられなかった・・・。

私もそんな経験がありますが、皆さんも、そんな青春時代の良き思い出があるのでは。

しかし、よく考えれば、これは独り相撲の自己満足なのです。告白できなかった故、自分の切ない気持ちは初恋の相手を知る由もありません。そして、初恋相手にとってみれば自分が好きだった

事実はないのです。

さて、社会生活をするなかで、人は周囲の人々から助けられて生きています。感謝の気持ちを心で思っている、また、理屈でわかっている言葉で相手に伝えなければ、感謝していないことと同じことになってしまうのです。

感謝の気持ちは「ありがとう」と言葉で相手に伝えて初めて感謝となるのだと思います。

ことわざ全集その14

5分前行動と5分後行動

HT

「あなたは5分前行動をとっていますか？」という質問にあなたはどうか答えますか？

Yes・・・ No・・・ どちらでもない・・・。

5分前行動ということに関しては今更説明はいりませんね。相手を待たせないという意味です。それに対して、5分後行動とは意識的にそうしている人は極めて希だと思いますが、無意識に行動パターンが5分後行動になってしまう人をいいます。

ただし、時と場合、相手や社会的な地位によって違うものです。例えば、仕事に関しては5分前行動をとるが、家族や親しい友人関係の時は5分後行動になってしまうことは多々あることです。しかし、全てにおいて、また、仕事に関して5分後行動をとる人もいます。

前に、人と上手につき合うためには「人より少し損をする」ということわざを紹介しましたが、このことわざに通じるものがあります。5分前行動の人は仕事や行事では他人より先に来て準備をしていますよね。

さて、「あなたは5分前行動をとっていますか？」という質問に「Yes」もしくは「そう心がけている」と答えた人は5分前行動といえるでしょう。しかし、「どちらでもない」と答えた人は5分後行動をとっている可能性大です。なぜなら、5分後行動の人は無意識的にそうしている人が多いし、5分前行動の人は意識的にそうしているからです。

小さな積み重ねが、自分の信頼を築くのではないのでしょうか。

ことわざ全集その15

他人の力を借りるのと、アテにするのは全く違う

HT

自分一人の力で何か物事を実現することは少なく、多くの場合は他人の力を借りて結果を出しているものです。これが、難しい事柄になればなるほど、他人の力を借りなければ実現しないということは言うまでもありません。

例えば、自分の友人のAさんがいて、そのAさんの知人（自分は会ったこともない）Bさんが胃がんの疑いがあるとしましょう。Bさんの行動パターンは3つあります。

1. Aさんが「俺の友人のBが胃がんの疑いがあると言われたんだけど、いい医者紹介してくれないかな？」と言われた場合。
2. Bさんが私に直接電話で「Aの知人のBですが、先日、胃がんの疑いがあるとわれて、どなたか良い医者を紹介していただきたいのですが」と言

われた場合。

3. Bさんが私に直接会いに来て「Aの知人のBですが、先日胃がんの疑いがあるとわれて、どなたか良い医者を紹介していただきたいのですが」と言われた場合。

1より2、2より3の方が、“私”は真剣にBさんの為に動くと思います。これは損得ではなく、Bさんの真剣さに心を打たれたわけです。つまり、事例1ではBさんはAさんをアテにしているわけです。しかし、事例3ではBさんはAさんの人脈を借りましたが、基本的には自分で解決しようとする姿勢が十分に伝わってきます。

人の「問題解決能力」とは解決しようとする強い意志と真剣さということでしょうか。

ことわざ全集その16

結果主義と過程主義

HT

社会では「結果が全て」という言葉をよく耳にします。確かにスポーツ選手などは、どんなにがんばっても結果が残せなければ契約は切られてしまいます。また、同じ職場でも、「あの人は協調性がないが、技術はピカイチなんだよね」そんな言葉も聞いたことがあると思います。

では、過程は全く評価に値しないのでしょうか？

柔道の谷 亮子選手が、まさかの銅メダルだったとき、旦那様は「僕には金色に見えるよ」と言ったそうです。

つまり、「社会は結果主義」、「身内は過程主義」ということでしょうか。

家族や仲間が何かに失敗したとき、「過程主義」で接したいですね。

ことわざ全集その17

自分のことは自分が一番しらない

HT

私が勤務する病院の前の病院長から教えていただいた言葉です。

人は我が強くなったり、謙虚さを失うと、ついつい自分が見えなくなってしまうものです。

では、我が強くなったり、謙虚さを失うときはどのような時なのでしょう。元々の性格がそうである場合はもちろん、仕事に慣れてきた時、歳をとった時、自分にストイックになっている時……。さらに輪を掛けると、他人から意見されるのもイヤになってしまうようです。他人から意見され、素直に聞く姿勢がないと、他人は意見すら言わなくなるものです。それが楽、と言う人もいるのですが、いわゆる「裸の王様」です。

数年前、北海道の精肉工場による偽装事件がありました。その会社は社員が誰一人として社長に意見を言えなかったそうです。結果、倒産しました。

ですから、常に物を言ってくれる人が身近にいることが自分を客観視するポイントなのです。ただし、自分を褒めていい気分にしてくれる人はダメです。言いにくいことを言ってくれる人が本当に必要なのです。

つまり、ゴマを播らなければならないリーダーのいる組織は、将来がないということでしょうか？

自分も気を付けよっと……。

ことわざ全集その18

子の心親知らず

HT

「親の心子知らず」説明がいらぬほど有名な「ことわざ」です。

しかし、このことわざは大人が作ったもので、親の目線のみで子の目線は全く考えられていません。

「親はこんなにも、あんたたち子供のことを考えてやっているのに……。まったく親の心子知らずってこのことね！」なんて会話が目に浮かびます。ここで、大きな間違いは「……やっている

のに」です。親が子供のことを考えるのは当たり前のことなので、「……やっているのに」という言葉は出ないですね。自分が子供の時に同じ事を言われたら「頼んでねーよ！」って言い返していたような記憶があります。ついつい子供の時の気持ちを忘れてしまいますね。

本当の子供の気持ちをわかっていないのは、親だったりして……。

会員の動向 (平成22年3月31日現在)

平成22年4月7日承認

事由	会員番号	氏名	勤務先	地区
新入会	55935	若林 香苗	自治医科大学付属大宮医療センター	1
新入会	55940	小貝 将之	厚生連熊谷総合病院	4
新入会	80047	森井 稔	野中病院	6
転入	44564	卯都木 隆仁	ゆうあい内科・脳神経クリニック	4
退会	40466	島田 雅之	上尾中央総合病院	6
退会	32127	山崎 宣治	入間川病院	1
退会	43074	中村 友紀		4
退会	48454	小林 真梨子		1
退会	50550	高橋 敏男	埼玉成恵会病院	4
退会	48798	柴田 泰恵	八潮中央総合病院	5
退会	1666	水澤 政之助		4
退会	14444	佐野 正喜		5
退会	46730	津島 衛	新座志木中央総合病院	6
退会	45683	海老原 幸雄	上尾中央総合病院	6
退会	17384	吉田 修郎		1
退会	44682	藤澤 健一	東京医科歯科大学歯学部附属病院	6
退会	43674	新島 隆司		2
退会	38309	新井 茂徳	春日部厚生病院	5
退会	47673	藤井 信次	さやま総合クリニック	2
退会	40675	鈴木 智子	埼玉医科大学病院	3
退会	13774	櫻井 守	小川赤十字病院	4
退会	44804	小浦 基明	新座志木中央総合病院	1
退会	17381	村上 信男	済生会川口総合病院	1
退会	49438	山崎 光幸	春日部厚生病院	5
退会	29153	高橋 勉	埼玉協同病院	1
退会	52306	佐藤 由美子	東松山市立市民病院	4
退会	48866	田村 真理子	朝霞台中央総合病院	3
退会	7615	大関 家行		3
退会	23730	大野 孝夫	坂戸中央病院	3
退会	18388	相川 庸三		3
退会	48789	古賀 広司	埼玉成恵会病院	4
退会	54104	河村 悦嗣	埼玉医科大学病院	3
退会	44103	船越 伸顕	埼玉医科大学病院	3
退会	47857	大西 嘉奈子	新座志木中央総合病院	3
退会	80025	大石 妙枝	南越谷健身会クリニック	5
退会	47582	永山 章子		
退会	55251	蓮見 浩之	大宮中央総合病院	6
退会	32135	木村 保弘	埼玉医科大学総合医療センター	3
退会	80013	標 卓弥	春日部中央総合病院	5
退会	26174	田沼 好章	獨協医科大学越谷病院	5

		前回会員数 1220名
会員数	1186名	34名減少
新入会	3名	今年度累計 52名
再入会	0名	今年度累計 2名
転入	1名	今年度累計 4名
転出	0名	今年度累計 4名
退会	38名	今年度累計 47名



平成21年度 第5回常任理事会議事録（抄）

日 時：平成22年1月6日（水）
 場 所：技師会センター
 出席者：会 長 小川 清
 副 会 長 堀江 好一、橋本 里見
 常 任 理 事 田中 宏、結城 朋子、
 松田 恵雄、富田 信博、
 中村 正之、矢部 智

1 会長挨拶（要旨）

明けましておめでとうございます。年の切り替えに伴い公私共々、それぞれけじめを付け、心機一転し何事にも新しい気持ちで取り組んでください。年末から日本放射線技師会の問題多数がありました。これらを一つ一つ審議していきたいと思えます。

2 議事録作成、議事録署名人の選出

議長 小川 清
 議事録署名人 堀江 好一、橋本 里見
 議事録作成 田中 宏と定めた。

議事録作成、議事録署名人の選出につき、小川会長を議長に選出し、平成21年度、第5回常任理事会を開催した。

3 報告および確認事項

- (1) 会長（小川）－抜粋－
 ア、消化器癌検診学会から寄付依頼に付、全国都道府県会長に寄付依頼の取りやめと、詫び状が送られた。
- (2) 総務（矢部）
 ア、新春の集いについて
 1) 新入会員48名に案内状を送付した。
 2) (社) 埼玉県医師会長に案内を送付した。
 3) 賛助会員の参加登録数は22社44名であった。
 4) 総合司会を田中とした。
- (3) 総務（田中）
 ア、第4回常任理事会議事録確認

4 審議・承認・確認事項

- (1) 金森セミナー開催の依頼につき審議した。

日時は平成22年4月25日（日）を第一希望とし、4月18日（日）を第二希望とした。会場は交通の便を考慮しソニックシティで承認した。

本議案書は次回理事会に提出する。

- (2) マネージメントセミナーにつき審議した。日時は平成22年3月27日（土）を第一希望とし、3月20日（日）を第二希望とした。本議案書は次回理事会に提出することとする。

- (3) 会員カード発行につき審議した。2社の仕様書と見積もりが資料として提出された。会員カード発行はカード作成会社に委託する方向とした。また、新入会員分は2ヶ月毎に発行する。

本議案書は次回理事会に提出する。

- (4) 会員データベースにつき審議した。会津大学との交流事業内でデータベース構築に関する知見を取得することで承認された。（交流事業内で作成された成果物の流用が可能。その場合、無償、瑕疵条項無し。）

本議案書は次回理事会に提出する。

- (5) 本会会誌の表紙を審議した。ブルーベースからレッドベースに変更することで承認した。

本議案書は次回理事会に提出する。

- (6) HP上の本会退会届様式変更につき審議し、承認した。

本議案書は次回理事会に提出する。

報告事項および審議・承認事項を確認し、次回常任理事会の日程を決定し閉会となった。

次回常任理事会予定 平成22年3月3日（水）

配布資料（メール配信を含む）

- (1) 会長資料
 (2) 副会長資料
 (3) 総務資料
 (4) 編集・情報資料
 (5) 学術資料
 (6) 公益資料

平成21年度 第6回常任理事会議事録（抄）

日時：平成22年3月3日（水）

場所：技師会センター

出席者：会長 小川 清
副会長 堀江 好一、橋本 里見
常任理事 田中 宏、結城 朋子、
松田 恵雄、富田 信博、
中村 正之、矢部 智

1 会長挨拶（要旨）

3月は予算総会や学術大会があり、大変に忙しいことと思いますが、執行部全員で協力して乗り切りましょう。

2 議事録作成人、議事録署名人の選出

議長 小川 清
議事録署名人 堀江 好一、橋本 里見
議事録作成人 田中 宏と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につき、小川会長を議長に選出し、平成21年度、第6回常任理事会を開催した。

3 報告および確認事項

(1) 会長（小川）－抜粋－

ア、（社）日本放射線技師会理事会報告

1) 日時：平成22年2月27日14:00～16:00

2) 場所：（社）日本放射線技師会事務所
イ、CTセミナー副読本（全国地域版）

ウ、放射線医学総合研究所公開講座について。

エ、マンモグラフィ認定講習会、女性技師育成支援プログラムについて。

オ、（社）日本放射線技師会理事を埼玉から推薦した。

カ、聴覚障害者の放射線部門におけるガイドラインについて。

キ、日本病院学会案内について。

(2) 副会長（橋本）

ア、会員カードについて

1) カード差し込み用台紙を作成する事とする

2) 発送方法は業者委託ではなく手作業で行う。

3) 会員番号付けを来週までに行う。

4) 裏面記載事項は以下の通り。

・表記のものは、社団法人埼玉県放射線技師会の会員であることを証明する。

・本証の取り扱いは慎重にし、他人に貸与または譲渡してはならない。

・本証は、その資格を失った場合は発行者へ返却すること。

・〒331-0812

埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39

社団法人埼玉県放射線技師会

TEL 048-664-2728

URL <http://www.sart.jp>

イ、金森セミナーについて

講師宿泊用シングルルームブリランテ武蔵野5部屋を予約済み。（朝食込み9500円程度）

宿泊の件は第一三共手塚氏に連絡済み。メジフィジックスは連絡未

第一三共のテキストは受講者全員に配布予定とのこと

(3) 総務（田中）

ア、第5回常任理事会議事録

イ、医用乳房画像研究会出張勉強会依頼について

1) 日時：平成22年3月30日（火）

- 2) 施設：白岡中央病院
- 3) 講師：1. 多摩がん検診センター
高嶋優子
2. さいたま赤十字病院
岡田智子
- (4) 総務 (矢部)
- ア、第二地区、入間市健康まつりにおける実行委員宛てに、委嘱状を郵送した。
- イ、第25回定期総会 (予算) の総会運営委員宛てに、委嘱状を郵送した。
- ウ、来年度の予定表を作成した。
- エ、決算総会の監事監査資料として使用するため、平成21年度分の各委員会議事録をいただきたい。今年度の最終委員会が終わった時点でまとめて提出をお願いしたい。
- (5) 編集情報 (松田)
- ア、会津大学から、交流事業部分の覚書 (案) が、提案されました。
- (6) 学術 (富田)
- ア、埼玉学術大会実行委員出欠名簿について。
- イ、3月9日に学術担当で、事前学術大会打ち合わせを行います。
- ウ、大宮ソニックと打ち合わせは進行中。
- エ、学術大会看板 (第一会場 市民公開講座、会場入り口用) は作成依頼済。
- オ、学術大会機器展示メーカーあとから追加が多数あり、読影予定の部屋601号も機器展示へ。その際の読影コーナーは第一会場後ろをパーティションで仕切り使用する。
- (7) 公益 (中村)
- ア、第6回公益委員会を開催した。
- 1) 日時：2月16日 (火) 18:00~21:00
- 2) 場所：技師会センター
- 3) 人数：6名
- 4) 内容：学術大会 医療画像展について
- イ、漏洩線量測定
- 1) 浦和医師会メディカルセンター (さいたま市) 2月20日 (土) NO.22
- 2) 中央区役所保健センター (さいたま市) 3月1日 (月) NO.23
- 3) さいたま市療育センターさくら草 (さいたま市) 3月1日 (月) NO.24
- ウ、今後の予定
- 漏洩線量測定、国立リハビリテーションセンター (所沢市) 3月中旬NO.25
- 3 審議・承認・確認事項**
- (1) (登録番号：常理 - 80) (取り下げ)
- (2) (社) 日本放射線技術学会関東部会のCTGUM研究会と本会が共催をし、埼玉で研究会の開催をすることにつき審議し、承認した。(登録番号：常理 - 81) (承認)
- (3) 日本放射線技術学会第57回関東部会研究発表大会の名義後援依頼について審議し、承認した。
(登録番号：常理 - 82) (承認)
- (4) 日本放射線技術学会第57回関東部会研究発表大会の合同企画開催について審議した。
(登録番号：常理 - 83) (継続審議)
- 報告事項および審議・承認事項を確認し、次回常任理事会の日程を決定し閉会となった。
- 次回常任理事会予定 平成22年7月7日 (水)
- 配布資料 (メール配信を含む)
- (1) 会長資料
- (2) 副会長資料
- (3) 総務資料
- (4) 編集・情報資料
- (5) 学術資料
- (6) 公益資料

平成21年度 第6回理事会議事録（抄）

日時：平成22年2月3日（水）
午後6時30分～午後9時00分

場所：技師会センター

出席者：会長：小川 清
副会長：堀江 好一、橋本 里見
常任理事：田中 宏、矢部 智、結城 朋子、松田 恵雄、富田 博信、中村 正之、
理事：潮田 陽一、星野 弘、八木沢 英樹、尾形 智幸、西山 史朗、肥沼 武司、澁市 直紀、長谷川 英治、矢崎 一郎、
監事：山本 英明

委任状提出者：小林 剛、石川 直哉
欠席：鈴木 正人、和田 幸人

1 会長挨拶（要旨）

報告を兼ねる

2 議事録作成人、議事録署名人の選出

議長：小川 清
議事録署名人：堀江好一、矢部 智
議事録作成人：田中 宏と定めた

3 報告及び確認事項

(1) 会長（小川）抜粋

- ア、表彰関係の報告があった。
- 1) 医療功労協会会長賞) 瀬尾登吾氏、松元和敏氏
 - 2) 平成22年度叙勲表彰資料提出
- イ、新春対談 東京都放射線技師会中澤会長
東京都放射線技師会1月号と本会誌1号に掲載
- ウ、金森セミナー企画

エ、日本放射線技師会定款・諸規定改定委員会

- 1) 会誌については職能的な内容は公益ではないので評価されない。学術的な内容にして生涯学習、学術振興費に見えるように国民に向けて発信できるか。広告をとってもよいが収益に計上する。
- 2) 会費納入については都道府県放射線技師会は別法人であるが、同じ目的を有するなら法人で決めて明確に分ける必要はない。
- 3) 定款において事業について目的に、国民の医療を担う、学術研究を前面に、生涯学習だけでは弱い。
- 4) 内部留保金について現在は特例民法法人 公益法人になれば新しい法律になる。現在は国債1億円のみである。
- 5) 学術大会について、主体は日本放射線技師会か都道府県放射線技師会とするか。また、各県持ち回り役割を明確にすべきとの意見があった。さらに、八地域に学術振興費供出する場合、法人格が無いなどの問題もあり、根拠のないお金は困難である。補助金ではなく本部事業経費で行うという意見もあった。
- 6) 社員総会の考え方については、総会は1回とも2回とも明確にされていない。2回の場合は3月に予算総会。事業年度終了後に定時総会。4月から新執行部体制となり定時総会は新執行部で対応する。

オ、3Cの会について

- 1) (株) 日本放射線技師会出版会と (社)

日本放射線技師会が手を切ることを求める。

- 2) 再度の定款改正にあたり経緯と謝罪文を求める。
- 3) (社)日本放射線技師会の新しい執行部体制は今後相談していく必要がある。
- 4) 会長給与引き下げを求める。
- 5) 国際交流の見直し。国際認定技師の提案。
- 6) チーム医療推進協議会第1回シンポジウムが、平成22年1月30日に鶴見大学で開催された。

参加人員約200名で、その内、放射線技師は13名のみの参加であった。他職種の意気込みが伝わってきた。

長浜厚生労働省副大臣、山口衆議院議員(理学療法士)、田口 構想日本北村協議会代表、福原麻希氏が参加した。

(2) 副会長 (堀江)

ア、平成22年1月20日(水)第8回公益社団法人改革検討小委員会を開催した。

イ、平成21年11月18日(水)第2回IT化検討委員会を開催した。

(3) 副会長 (橋本)

ア、1月17日(日)日本放射線技師会主催のCTセミナーが終了した。

(4) 総務 (矢部)

ア、平成22年『新春の集い』参加状況報告参加人数

	22年参加者内訳	21年参加者
正会員	49名	60名
新入会員	8名	10名
賛助会員	45名	45名
合計	102名	115名

優待券使用状況

優待券 (チケット)	19名
優待券 (印刷)	12名
合計	31名
使用率	31/49 (63.2%)

イ、その他

- 1) 医師会長より祝電を拝受し紹介した。
- 2) 表彰者2名の方よりご挨拶をいただいた。
- 3) 受付が一時込み合ったが、想定内のことでもありトラブルには至らなかった。
- 4) 料理が比較的残った。
- 5) 参加者が昨年と比べて、13名(11%)減少した。(正会員-11、新入会員-2)

前売り券から優待券への変更が理由に挙げられるが、地区理事の負担を考慮すると優待券の否定は出来ない。

ウ、埼玉会員籍のみの方から、他県への転出希望の問い合わせがあった。埼玉会員は、独自の会員籍であり他県への転出手続きは出来ないことを本人へ連絡をした。

エ、総務委員の学術大会参加については総務委員会から第25回埼玉学術大会の実行委員としての出欠を確認中である。

(5) 編集・情報 (松田)

ア、編集・情報委員会の開催報告(議事録・案を参照)

- 1) 平成21年12月15日、第9回の編集・情報委員会を開催した。
- 2) 平成22年01月07日、第10回の編集・情報委員会を開催した。

イ、埼玉放射線編集関連(詳細は潮田理事報告を参照)

- 1) 埼玉放射線が以下のように変わった。
 - ① 発刊月が奇数月へ変更になった。

- ②表紙カラーをワインレッドとし、特集を黄字表記にて見やすくした。
- ③巻頭にあった広告を後半に移動した。

2) 埼玉放射線12月号を12月15日に発行致した。

学術特集に關しましては、会員への依頼原稿による乳腺特集とした。今後、著作物作成依頼規定に基づき、執筆料の振り込み及び別刷り10部の発送を予定している。

3) 埼玉放射線1月号を本年1月25日に発行した。

予算総会特集号とし、埼玉放射線学術大会プログラムを収載した。

4) 埼玉放射線3月号を本年3月17日に発行の予定。

- ①学術特集として、学術委員会から提出された、以下の企画を採用する予定。
学術特集（企画）「(仮称) 消化管撮影の流れ」*本企画は、消化管検査のポイントを、県内施設の消化管撮影技師様（担当者）から平易に紹介してもらうことで、会員の技術向上を目的とする。
- ②次号（埼玉放射線3月号）の原稿締め切りは、2月07日。皆様のご協力をお願いしたい。

ウ、Webサイトの運営・メールマガジンの配信。（詳細は肥沼理事報告を参照）

Webサイトの保守管理及び更新（コンテンツアップ）を行った。また、メールマガジンからも誘導リンク処理を行った。

エ、Webサイト用レンタルサーバについて

- 1) 前回の理事会で承認されたレンタルサーバの借り換えについて、契約先（First Server）のプランが見直されたため、承認時での内容で契約が困難

（新規契約終了）となった。

- 2) 当該契約に付きましては、予定していた契約と最も近いコースでの契約を予定している。ご理解をお願い致します。

- 3) なお、レンタルサーバに関しては、時期を見て会員データベース用に用いる専用サーバの確保について再度お願いする予定。

(6) 編集・情報（潮田）

ア、埼玉放射線2010年第1号発刊にむけての活動

- 1) 第9回編集・情報委員会（2010 No.1-1）

①日時：平成21年12月15日 18:30～20:00

②場所：技師会センター

- ③内容：1. 第1号内容説明
2. 第1号表紙検討
3. 第1号裏表紙決定
4. 次号以降の企画
5. 校正作業の予定
6. その他

④参加者：編集・情報委員10名

- 2) 「埼玉放射線2010年第1号校正依頼」の送信

日時：平成21年12月26日 18:05

- 3) 「埼玉放射線学術大会」関連の校正依頼を送信

日時：平成21年12月28日 17:22

- 4) 第10回編集・情報委員会（2010 No.1-2）

①日時：平成22年1月7日 18:30～20:30

②場所：技師会センター

- ③内容：1. 初稿校正結果確認
2. 表紙「文字色」決定

④参加者：編集・情報委員8名

- 5) 望月印刷へ最終校正後の原稿提出

日時：平成22年1月14日 14:00

イ、今後の予定

- 1) 第11回 編集・情報委員会 (2010 No.2-1)
 - ①日時：平成22年2月9日 18:30
 - ②場所：技師会センター
 - ③内容：埼玉放射線 2010年第2号発刊について
- 2) 第12回 編集・情報委員会 (2010 No.2-2)
 - ①日時：平成22年2月25日18:30 (予定)
 - ②場所：技師会センター
 - ③内容：埼玉放射線 2010年第2号発刊及び校正について
- 3) 埼玉放射線 2010年第2号発刊
日程：平成22年3月17日 (予定)

ウ、埼玉放射線 2010年第2号掲載予定内容 (別紙参照)

(7) 編集・情報 (肥沼)

ア、HPの更新 (※携帯版含む)

- 1) 学術案内
 - ①第3地区 新年会
 - ②第33回 埼玉大腸疾患研究会 (PDF)
 - ③第28回 埼玉消化管撮影研究会

イ、メールマガジン

- 1) 登録者 136名 (前回135名)
- 2) メールマガジン発行
no18 (12月15日発行)

ウ、第25回埼玉放射線学術大会

12月13日に演題発表の採用通知を演者に送信した。

(8) 学術 (富田)

ア、12月8日に第1回埼玉放射線学術大会実行委員会を行った。(議事録は別紙)
次回委員会は平成22年1月28日開催予定。

イ、1月17日にJART生涯学習セミナーを開催した。99名申し込みで92名参加。

ウ、平成22年1月31日の開催CT認定講習会にて全日程が終了。

エ、学術大会事項委員会進捗状況

- 1) 第一回実行委員会で大枠が確定し、実行委員マニュアルをチェック (別紙)
- 2) 各セクション役割分担、責任者、仕事割り振りを確認
- 3) プログラムは学術委員会で詳細を検討した。(理事会報告済み)
- 4) 平成22年1月28日に実行委員で現地視察と導線など確認
- 5) 機器展示メーカーに展示希望案内を送付 (平成22年1月25日) (別紙)
- 6) 各座長、シンポジストに依頼状を送付 (平成22年1月25日)
- 7) ナナオハンズオンセミナー会場視察と当日段取り調整

オ、(株) ナナオについて去年同様機器展示を無料とした。また、ハンズオンセミナー受付を4階に設置し、申し込み受付を自社のHPへリンクして行う。

カ、救急セミナーを2月14日に開催予定

(9) 財務 (結城)

会費納入状況

(10) 公益 (星野)

ア、漏洩線量測定

- 1) ひまわり学園 (さいたま市) 1月12日 (火) No.20
- 2) 関東脳神経外科病院 (熊谷市) 1月26日 (火) No.21

イ、今後の予定 (2月)

浦和医師会メディカルセンター 2月20日 (土) (さいたま市)

ウ、サーベイメータの点検校正が終了した。

(校正年月日：平成21年12月11日)

(11) 第一地区 (八木沢)

ア、第3回地区役員会を開催 役員5名参加

- 1) 日時：2010年1月15日(金)19:00～20:30
- 2) 場所：埼玉社会保険病院 第3会議室
- 3) 内容：第3回地区勉強会 (総会含む)
の日時内容を決定

イ、今後の予定

1) 第3回第一地区勉強会

- ①日時：2010年3月5日(金)19:00～20:30
 - ②場所：埼玉県済生会川口総合病院
職員食堂
 - ③内容：1. メーカー紹介 カイゲン
「演題未定」20分程度。
2. 特別講演
講演者：東京都予防医学協会
佐藤清二様
講演内容：「NPO法人 日本消
化器がん検診精度管理機構
胃がんX線検診 新しい基準撮
影法」1時間
3. 総会
- 2) 「わくわくさいたまいき祭り」に
第一地区として参加予定

- ①日時：2010年3月20日 (土曜)
- ②会場：浦和パルコ

(12) 第二地区 (肥沼)

ア、第8回公開講座

- 1) 日時：平成22年1月24日 (日) 14:00～
- 2) 会場：所沢ミュージズ キューブホール
- 3) 参加者：88名
- 4) 内容
 - ①診療放射線技師について
 - ②股関節症の検査について ～先天性股

関節脱臼の予防も含めて～

豊岡第一病院 診療放射線技師 佐々
木拓哉

- ③理学療法～家庭でできる理学療法～
国立障害者リハビリテーションセン
ター 理学療法士 岩崎洋
- ④カルシウムと骨について
国立障害者リハビリテーションセン
ター 管理栄養士 繁田文子
- ⑤治療について～人工関節置換術ほか～
国立病院機構 西埼玉中央病院 整形
外科医師 北里精一郎
- ⑥その他 骨密度計測 コニカワークス
テーション展示

5) 実行委員

肥沼武司(国立障害者リハビリセンター)
千田俊秀(所沢市市民医療センター)
柴俊 幸(所沢ハートセンター)
瀧澤 誠(原田病院)
藤井大悟(石心会狭山病院)
大坂勇輔(原田病院)
武田義昭(狭山中央病院)
今井真仁(防衛医科大学学校病院)
霜田哲徳(豊岡第一病院)
伊藤寿哉(石心会狭山病院)
中邑友香(所沢市市民医療センター)

イ、今後の予定

- 1) 入間市健康まつり
 - ①日時：平成22年3月14日 (日) 10:00～
 - ②会場：入間市健康福祉センター
- 2) 地区監査
 - ①日時：平成22年3月14日 (日) 10:00～
 - ②会場：入間市健康福祉センター
- 3) 第5回勉強会・地区総会
 - ①日時：平成22年3月19日 (金) 18:30～
 - ②会場：所沢市保健センター

(13) 第三地区 (澁市)

ア、新年会

- 1) 日時：平成22年1月29日(金)19:00～
- 2) 場所：和風居酒屋 旬天旬菜 然(ぜん)
- JR・東武東上線 川越駅西口下車徒歩5分 赤心堂病院前
- 3) 参加者：26名

イ、今後の予定

- 1) 第3回 勉強会開催
 - ①日時：平成21年3月中旬
 - ②場所：埼玉医科大学総合医療センター
 - ③内容：担当役員と思案中
- 2) 平成21年度 第三地区 総会
 - ①日時：平成21年3月中旬 第3回 勉強会後
 - ②場所：埼玉医科大学総合医療センター
- 3) 第3回 第三地区 役員会
 - ①日時：平成21年3月中旬 第3回 勉強会後
 - ②場所：埼玉医科大学総合医療センター

(14) 第四地区 (長谷川)

ア、今後の予定

- 1) 地区勉強会
 - ①平成22年2月1日(月)
 - ②地区役員会 開催予定
- 2) 平成22年度第4地区監査会
平成22年2月下旬
- 3) 平成22年3月上旬
平成22年度第4地区総会および第4地区勉強会

(15) 第五地区 (矢崎)

ア、今後の予定

- 1) 地区総会
 - ①日時：平成22年2月19日18:45～

②場所：越谷中央市民会館

2) 地区勉強会

- ①日時：平成22年2月19日(金)19:00～
- ②場所：越谷中央市民会館
- ③内容：1 CT装置の物理特性 済生会
川口総合病院 城處 洋輔 氏
2 モニター診断への基礎知識
獨協医科大学越谷病院 諏訪
和明 氏

(16) 第六地区 (石川)

ア、今後の予定

- 1) 平成21年度 第3回地区役員会・地区
会報『Lock ON』第2号発行
 - ①日時：平成22年2月5日(木)
 - ②場所：さいたま赤十字病院
 - ③内容：地区会報『Lock ON』第4号
発行
- 2) 平成21年度埼玉県放射線技師会第六地区
会定期総会及び、平成21年度第3回
定期総会
 - ①テーマ：「医療被ばく低減施設認定取得報告」
 - ②日 時：平成22年2月25日(木)
19:00～
 - ③場 所：さいたま赤十字病院
本館4階 成人病センター

4 審議・承認事項

- (1) 埼玉県放射線管理士・機器管理士部会の解散申請につき審議した。埼玉県放射線管理士・機器管理士部会は長年に渡り入眠状態であり、会員を多数集めることのできるイベントを企画することが困難である。また、放射線管理・機器管理は、どちらも重要な技師の職務と思われるが、埼放技の中に部会として存続させるほど企画が考えられな

- いことが理由にあげられ、承認した。ただし、役員11名に電子メールでの承諾を得ることとされた。(議案書番号：理-71) (承認)
- (2) センターパソコンの更新とソフトウェアの購入について審議し、承認した(議案書番号：理-72) (承認)
- (3) 第1回わくわくさいたまいきいき祭り(浦和パルコ健康祭り)参加に際し、予算案の承認および展示パネル、のぼり、骨密度装置の貸し出しについて審議し、承認した。(議案書番号：理-73) (承認)
- (4) 入間市健康まつり「あなたのための放射線展」へ参加につき審議し、承認した。(議案書番号：理-74) (承認)
- (5) 平成21年度事業の会員カード発行について審議した。複数の見積書を検討し、東京カードソリューションズ株式会社に、運用は全て業者任せで2ヶ月毎の発行することで承認した。(議案書番号：理-75) (承認)
- (6) 実践臨床画像セミナーの開催につき審議し、承認した。(議案書番号：理-76) (承認)
- (7) 決算総会および懇親会について審議し、承認した(議案書番号：理-77) (承認)
- (8) 新入会等について審議し、承認した。(議案書番号：理-78) (承認)
- (9) 会員データベースの構築に向け、調査事業の一環として、公立学校法人会津大学と、交流事業を実施する旨を審議し、承認した。(議案書番号：理-79) (承認)
- (10) パブリックコメントをもらう。地区会計は本会と一緒に。(議案書番号：理-80) (承認)

5 監事講評

- (1) (議案書番号：理-75) について、カードのデザインを一般会員から募集するなどの余裕を持った企画の進め方を望む。
- (2) (議案書番号：理-79) について、会津大学

の交流は予算や技術的なものだけではなく、違う分野の団体との交流は技師会にとって大きなメリットになると思うので積極的な交流を期待する。

- (3) 会誌の広告を巻頭から巻末に移動した。様々な事情や経緯があり巻頭にしたということは理解しているが、不特定多数の多くの目に触れ誤解を招くおそれもあるので、巻末にしたほうがよいと思う。
- (4) 理事会資料が非常に多いので、必要なものと、そうでないものを分けたほうがいいのではないか。

報告事項および承認審議事項を確認し、次回理事会の日程を決定し閉会となった。

次回、平成22年度 第1回理事会予定 平成22年4月7日(水)

配布資料(メール配信を含む)

- (1) 会長資料
 (2) 副会長資料
 (3) 総務・財務資料
 (4) 編集・情報資料
 (5) 学術資料
 (6) 公益資料
 (7) ホームページ資料
 (8) 各地区資料(第一地区、第二地区、第三地区、第四地区、第五地区、第六地区)
 (9) 議案書

平成21年度 第7回臨時理事会（メール会議）議事録（抄）

日 時：平成22年3月13日（土）午後4時（採
決締め切り）

方 式：メール会議

参 加 者：会 長：小川 清
副 会 長：堀江 好一、橋本 里見
常 任 理 事：田中 宏、矢部 智、結
城 朋子、松田 恵雄、
富田 博信、中村 正之
理 事：潮田 陽一、星野 弘、
八木沢 英樹、尾形 智
幸、小林 剛、西山 史
朗、八木沢 英樹、肥
沼 武司、澁市 直紀、
長谷川 英治、矢崎 一
郎、石川 直哉

議事録作成：矢部 智

議事録署名人：堀江 好一、橋本 里見

議 案：「平成22年度当初予算（案）」の一部変更
について

事 由： 前回の理事会でご承認いただきました

「平成22年度当初予算（案）」ですが、顧問税理士より、平成23年に公益社団法人格取得の申請を行うためには、今回皆様にご承認いただいた予算を一部訂正しなければ、申請が難しいのではないかと指導を受けました。このため、急遽メールにて一部変更しました予算（案）につきまして再度ご検討していただくこととなってしまいました。

尚、予算変更の詳細につきましては、添付いたしました「平成22年度一般会計予算の概要について」をご参照ください。

採決結果 承認__21名

否決__0名

全員の承認により「平成22年度当初予算（案）」の一部変更について承認された。

配布資料：財務「平成22年度一般会計予算の概要
について」

以上

第25回 社団法人埼玉県放射線技師会 総会議事録(案)

- 1 日 時 平成22年3月14日(日)
午前11時20分から12時15分
- 2 場 所 埼玉県大宮区桜木町1-7-5
大宮ソニックシティ 市民
ホール
- 3 会 員 数 1,198名
- 4 出 席 者 98名
委任状提出者 549名
合 計 647名
- 5 開 会

定刻橋本副会長の司会により会長の挨拶の後、総会を開会した。

6 議決事項

- 第1号議案 平成22年度事業計画案
第2号議案 平成22年度予算案
第3号議案 その他

7 議事の経過の概要及びその結果

榎本雅彦総会運営委員長より、資格審査の結果を踏まえ、出席者数と委任状の合計数が会員数の過半数以上にあたるために定款26条に基づき、本総会は成立したことを認める旨の報告がなされた。

引き続き、定款25条の規程に則り、議長選出を諮り、出席者の中から土田拓治氏を推薦し、満場一致で承認された。議事録署名人に堀江好一氏、橋本里見氏が選出された。

(1) 第1号議案 平成22年度事業計画案

このことについて議長は説明を求めた。説明は資料に基づき小川会長が行った。

今年度は、昨年お約束した新公益法人制度移行認定について、一年間定款や諸規程を見直し準備をしてまいりました。その結果を今回の総会にて会員の皆様に評価頂き、本年申請に進んで行きま

す。皆様のご支援ご強力をお願いします。今回の認定申請作業ですが、公益法人のガイドラインが最初から確固たる出来映えではなく、常に改訂、よく言えば改善が図られ、我々はある時は、このままでは公益は無理かなと困惑し、ある時はいけそうだと楽観的にもなりました。日本中の法人がこの制度に悩まされておりますが、本会は「公益目的である県民のために」と「職能団体の会員のために」をバランスよく調整し活動していきます。

平成22年度事業計画案について、昨年と大きな変更はありませんが、今年は放射線技師のスキルアップを目指して読影能力を向上させるための講習会を地区ごとに開催していきます。是非とも出不精な心にむち打って出席ください。またマネジメント・セミナーに本腰を入れて開催していくつもりです。

本会は先人達によって昭和26年に発足した58年の歴史をもった組織です。我々理事はこの組織を一段ステップアップさせるために公益社団法人格取得に全力投入する旨を説明した。

(2) 第2号議案 平成22年度収支予算(案)

このことについて議長は説明を求め、結城常任理事が予算案書に基づいて平成21年度補正予算案および平成22年度予算案を詳細に説明した。

(3) 第3号議案 その他

このことについて、議長は執行部および会場に議案の有無を求めた。執行部より以下の報告があった。

堀江副会長から、公益社団法人移行手続きの進捗状況について詳細に報告した。

橋本副会長から、会員証発行についての進捗状況について詳細に報告した。

議長は、第1号議案から第3号議案について順次に賛否を諮り、各議案は全員異議なく承認された。

平成 22 年度

埼玉県放射線技師会
日本放射線技師会

年間スケジュール表

平成22年度 (4-6) 予定 (案)											
4月		埼玉放技	日放技等	5月		埼玉放技	日放技等	6月		埼玉放技	日放技等
木	1			土	1			火	1		
金	2			日	2			水	2	理事会3	
土	3			月	3			木	3		
日	4			火	4			金	4		
月	5			水	5			土	5		定期総会
火	6			木	6	常任連絡会2		日	6		
水	7	理事会1		金	7			月	7		
木	8		JRC ITEM	土	8			火	8		
金	9			日	9			水	9		
土	10			月	10			木	10		
日	11			火	11			金	11		
月	12			水	12	理事会2		土	12		
火	13			木	13			日	13		
水	14			金	14			月	14		
木	15			土	15			火	15		
金	16			日	16			水	16		
土	17			月	17			木	17		
日	18	金森セミナー		火	18			金	18		
月	19			水	19			土	19		
火	20			木	20			日	20		
水	21			金	21			月	21		
木	22			土	22			火	22		
金	23			日	23			水	23		
土	24			月	24			木	24		
日	25			火	25			金	25		
月	26			水	26	常任連絡会3		土	26		
火	27			木	27			日	27		
水	28			金	28			月	28		
木	29			土	29	総会(決算)		火	29		
金	30			日	30			水	30		
				月	31						

平成22年度 (7-9) 予定											
7月		埼玉放技	日放技等	8月		埼玉放技	日放技等	9月		埼玉放技	日放技等
木	1			日	1			水	1		
金	2		JART 総合学術 大会	月	2			木	2	常任理事会2	
土	3			火	3			金	3		
日	4			水	4	理事会4		土	4		
月	5			木	5			日	5		
火	6			金	6			月	6		
水	7	常任理事会1		土	7			火	7		
木	8			日	8			水	8		
金	9			月	9			木	9		
土	10			火	10			金	10		
日	11	SARTセミナー		水	11			土	11		
月	12			木	12			日	12		
火	13			金	13			月	13		
水	14			土	14			火	14		
木	15			日	15			水	15		
金	16			月	16			木	16		
土	17			火	17			金	17		
日	18			水	18			土	18		
月	19			木	19			日	19		
火	20			金	20			月	20		
水	21			土	21			火	21		
木	22			日	22			水	22		
金	23			月	23			木	23		
土	24		CTサミット	火	24			金	24		
日	25			水	25			土	25		
月	26			木	26			日	26		
火	27			金	27			月	27		
水	28	常任連絡会4		土	28			火	28		
木	29			日	29			水	29	常任連絡会5	
金	30			月	30			木	30		
土	31			火	31						

社団法人 埼玉県放射線技師会

平成21, 22年度役員名簿

役 職 名	氏 名	勤 務 先	勤務先電話	技師会メール
会 長	小川 清	小川赤十字病院	0493-72-2333	k-ogawa@sart.jp
副 会 長	堀江 好一	社会保険大宮総合病院	048-663-1671	k-horie@sart.jp
副 会 長	橋本 里見	埼玉社会保険病院	048-832-4951	s-hashimoto@sart.jp
常任理事(総務)	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-tanaka@sart.jp
常任理事(総務)	矢部 智	越谷市立病院	048-965-2221	s-yabe@sart.jp
常任理事(財務)	結城 朋子	済生会栗橋病院	0480-52-3611	t-yuuki@sart.jp
常任理事(編集・情報)	松田 恵雄	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3804	s-matsuda@sart.jp
常任理事(学術)	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
常任理事(公益)	中村 正之	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	m-nakamura@sart.jp
理 事(学術)	尾形 智幸	さいたま赤十字病院	048-852-1111	t-ogata@sart.jp
理 事(学術)	西山 史朗	東京放射線クリニック	03-3529-5420	s-nishiyama@sart.jp
理 事(学術)	小林 剛	北里大学北里研究所メディカルセンター病院	048-593-1212	t-kobayashi@sart.jp
理 事(編集・情報)	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
理 事(公益)	星野 弘	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-hoshino@sart.jp
理事(総務)第一地区	八木沢英樹	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
理事(編集・情報)第二地区	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
理事(総務)第三地区	澁市 直紀	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4192	n-shibuichi@sart.jp
理事(総務)第四地区	長谷川英治	羽生総合病院	048-562-3000	e-hasegawa@sart.jp
理事(総務)第五地区	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
理事(総務)第六地区	石川 直哉	指扇病院	048-623-1101	n-ishikawa@sart.jp
渉外マネージャー	石栗 一男	蓮田一心会病院	048-764-6411	k-ishiguri@sart.jp

監事・顧問

役 職 名	氏 名	勤 務 先	勤務先電話	技師会メール
監 事	山本 英明	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-yamamoto@sart.jp
監 事	鈴木 正人	埼玉県県会議員		m-suzuki@sart.jp
顧 問	和田 幸人	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	y-wada@sart.jp

役 職 名	氏 名	勤 務 先	勤務先電話	技師会メール
顧問税理士	増田 利治	増田利治税理士事務所	048-649-1386	

総務・財務委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-tanaka@sart.jp
副委員長	矢部 智	越谷市立病院	048-965-2221	s-yabe@sart.jp
副委員長	結城 朋子	済生会栗橋病院	0480-52-3611	t-yuuki@sart.jp
委員	堀江 好一	社会保険大宮総合病院	048-663-1671	k-horie@sart.jp
委員	橋本 里見	埼玉社会保険病院	048-832-4951	s-hashimoto@sart.jp
委員	八木沢英樹	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
委員	澁市 直紀	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4192	n-shibuichi@sart.jp
委員	長谷川英治	羽生総合病院	048-562-3000	e-hasegawa@sart.jp
委員	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委員	石川 直哉	指扇病院	048-623-1101	n-ishikawa@sart.jp
委員	田中 達也	小川赤十字病院	0493-72-2333	t-yanaka@sart.jp
委員	岡田 義和	埼玉県健康づくり事業団	048-859-5173	y-okada@sart.jp
委員	平野 雅弥	埼玉医科大学病院	049-276-1264	m-hirano@sart.jp
委員	千田 俊秀	所沢市市民医療センター	04-2992-1170	t-chida@sart.jp

学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
副委員長	尾形 智幸	さいたま赤十字病院	048-852-1111	t-ogata@sart.jp
副委員長	西山 史朗	東京放射線クリニック	03-3529-5420	s-nishiyama@sart.jp
副委員長	小林 剛	北里大学北里研究所メディカルセンター病院	048-593-1212	t-kobayashi@sart.jp
副委員長	石栗 一男	蓮田一心会病院	048-764-6411	k-ishiguri@sart.jp
委員	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-tanaka@sart.jp
委員	塚田 高志	アジュール竹芝総合健診センター	03-3437-2701	t-tsukada@sart.jp
委員	越沼 沙織	済生会習志野総合病院	047-473-1281	s-koshinuma@sart.jp
委員	村田 光俊	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	mi-murata@sart.jp
委員	岡田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
委員	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
委員	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
委員	大森 正司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-omori@sart.jp

編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	松田 恵雄	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3804	s-matsuda@sart.jp
副委員長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
副委員長	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	村田 雅弘	小川赤十字病院	0493-72-2333	m-murata@sart.jp
委員	富田 欣治	深谷赤十字病院	048-571-1511	y-tomita@sart.jp
委員	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
委員	江守亜矢子	小川赤十字病院	0493-72-2333	a-emori@sart.jp
委員	阿野 匡昭	埼玉社会保険病院	048-832-4951	m-ano@sart.jp
委員	川田 俊彦	埼玉社会保険病院	048-832-4951	t-kawata@sart.jp
委員	柳田 智	北里大学北里研究所メディカルセンター病院	048-593-1212	s-yanagita@sart.jp
委員	白石 圭	伊奈病院	048-721-3692	k-shiraishi@sart.jp
委員	柏 達司	塩味病院	048-467-0016	t-kashiwa@sart.jp
委員	市川 隆史	埼玉医科大学病院	049-276-1264	t-ichikawa@sart.jp
委員	諏訪 和明	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	k-suwa@sart.jp
委員	栗田 裕樹	佐々木病院	048-571-0242	y-kurita@sart.jp

公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	中村 正之	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	m-nakamura@sart.jp
副委員長	星野 弘	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-hoshino@sart.jp
委員	磯田 一巳	所沢市市民医療センター	04-2992-1170	k-isoda@sart.jp
委員	太田 良平	埼玉社会保険病院	048-832-4951	r-ota@sart.jp
委員	工藤 安幸	東松山市立市民病院	0493-24-6111	y-kudoh@sart.jp
委員	長谷部和仁	豊岡第一病院	04-2964-6311	k-hasebe@sart.jp
委員	大嶋 健悟	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	k-oshima@sart.jp

1. 投稿の資格
 - 1) 診療放射線技師の原則として、(社)埼玉県放射線技師会会員に限る。
 - 2) 診療放射線技師でない執筆者は、その限りでない。
2. 投稿の種類

原著論文、総説、誌上講座、資料、学会特集、その他とする。
但し、原著論文については未発表のものに限る。
その他については、3200字以内とする。
3. 投稿論文の採否

投稿論文の採否は、編集情報委員会で決定する。原著論文、総説、誌上講座、資料の審査には査読制を採用する。掲載は、原則として採用順とする。
4. 投稿の方法

原著論文、総説、誌上講座、資料その他を電子メールに添付する。
原稿作成に使用するファイルは限定をしないが、可能であればテキスト形式に変換したファイルを添付すること。
5. 原稿の記載方法
 - 1) 表紙：①論文表題 ②全著者名 ③施設名・所属
 - 2) 本文：①和文要旨(400字以内、キーワード5個以内)
 - ②緒言、使用機種、対象・方法、結果、考察、結語の順に記載する。
 - ③原稿は、和文または英文とする。英文の場合は、英文要旨も添付する。
ワードプロセッサによる原稿を原則とし、A4判縦置き、20字×20字(横書き)にて30枚以内とし、図表1枚を用紙1枚とみなす。
 - 3) 図・表：別紙に番号を付して添付し、本文中に挿入位置を記す。図、写真は、直接製版できるものとする。
 - 4) 文献：引用文献は、本文の終わりに引用順に記す。表記形式は、下記のとおりとする。尚、著者名は筆頭者から3名までとし、それ以上は、和文文献の場合「他」、英文文献の場合は「et al」とする。
 - ①雑誌の記載法
著者名：表題、雑誌名(省略形)、巻、初項～終項、発行年(西暦)
 - ②単行本の記載法
著者名：表題、書名(版)、発行所、発行地、発行年(西暦)、初項～終項
 - 5) 学会特集については、専用の用紙を用い、その他については可能な限り、上記の手順に基づくものとする。
6. 校正

原著論文、総説、誌上講座、資料の執筆校正は初稿のみとし、直接筆頭者に送付する。7日以内に校正の上返送すること。
7. 別刷

原著論文、総説、誌上講座、資料に限り20部まで本会負担とする。追加分の別刷は有償とし10部単位で著者負担する。その際に別紙に表題と希望部数、別刷送付先を明記すること。
8. その他

投稿規程は理事会の議を経て改変することがある。
9. 原稿の送り先

封書に「原稿在中」と朱色で明記すること。
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番39
社団法人 埼玉県放射線技師会 編集情報委員会宛
E-mail: hensyu@sart.jp
10. 問い合わせ

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981 埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 松田恵雄
電話049-228-3804 E-mail: s-matsuda@sart.jp

平成22年度 第12回SARTセミナー申込書

受講申込者氏名 (複数人でも結構です)	
勤 務 先	
勤 務 先 所 在 地	
勤 務 先 電 話 番 号 〒	
勤 務 先 F A X 番 号	
技師会会員番号 (未入会の方 「未入会」と書いてください)	
Eメールアドレス	

送付先 : 〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番地39
社団法人 埼玉県放射線技師会
TEL048-664-2728
FAX048-664-2733

FAXにて送付して下さい。

会員異動届

ファックス送信票

下記のとおり送信いたしますので、よろしくお願いたします。

受信者	FAX番号：048-664-2733 (社) 埼玉県放射線技師会
送信者	氏 名 _____
	施 設 名 _____
	〒 _____ 施設住所 _____

* 郵送の場合
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39
社団法人 埼玉県放射線技師会
電話：048-664-2728

(社団法人) 埼玉県放射線技師会
会員登録変更届

平成 年 月 日

ふりがな 届出会員名		地区名	地区
技師会番号			

①転出者は正確にご記入下さい			
転出先	() 県へ転出	技師会費を ()	年度まで納入
変更項目	<input type="checkbox"/> 印	②変更した項目をご記入下さい	
	ふりがな 自宅住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 勤務先名		
	ふりがな 勤務先住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 改 姓		
	地 区 変 更	第 () 地区を第 () 地区に	
連絡先変更			

—編集後記—

この原稿を書いているのは桜の季節です。先日、幼い頃からの友人がパートナーの仕事のためシンガポールへと旅立ちました。仕事上の制約があるので、彼女も3年間は日本に戻れないといいます。「ああ、じゃあ私の花嫁姿は見てもらえないのね…」などと冗談をとぼして見送りながらも、何とも言えない寂しさが心に残りました。

別れがあれば出会いもあります。私の職場に待望の新人さんが入ってきました。大学を卒業したばかりのピカピカの1年生技師です。技師になって8年の私に初めて出来た後輩です。初々しい姿を見てみると、自分が新人だった頃の気持ちが蘇ってきました。後輩もあんな思っているのだろうなと考えると、先輩としてしっかり指導しなければいけないと気持ちが引き締まりました。

節目の季節に気持ちを切り替えて、「ここからまた新しい自分で1年を過ごしてみよう」と決意した方はたくさんいらっしゃると思います。友人から早くも外国生活を楽しんでいるとメールが届きました。新人技師の後輩も、そして先輩技師1年目の私も、新たな環境の中で少しずつでも前に進んでいこうと頑張っています。1年はまだまだ長いです。新年度に胸の中に湧き上がった気持ちを大切に、毎日を送れたら素敵ですね。

(まつやま人)

裏表紙に掲載する風景写真を募集いたします。

なお選考は編集情報委員会に一任をお願いいたします。

また、いただいたデータは返却いたしません。

データの送信は編集情報委員会 潮田 (y-ushioda@sart.jp) までお願いいたします。

埼玉放射線 第213号

印刷	平成22年5月10日
発行日	平成22年5月14日
発行所	〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-39 社団法人 埼玉県放射線技師会 Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp HP掲示板・認定者名簿パスワード ユーザー名 sart パスワード saitama
発行人	社団法人 埼玉県放射線技師会 会長 小川 清 編集代表 松田 恵雄
印刷	〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36 望月印刷株式会社 電話 048-840-2111

事務所

〒331-0812

さいたま市北区宮原町2丁目51番39

社団法人埼玉県放射線技師会 技師会センター

電話 048-664-2728 FAX 048-664-2733

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務局長 渡辺 弘

事務員 植松 敏江

勤務時間 9:00~12:00

13:00~15:00

広告協賛会社一覧（順不同）

No.	会社名	郵便番号	住所	電話
1	株式会社メディカル・サービスT&K	362-0001	上尾市上1710-3	048-777-7021
2	株式会社日立メディコ北関東支店	330-0845	さいたま市大宮区仲町2-75大宮フコク生命ビル5F	048-643-1487
3	第一三共株式会社埼玉支店	350-1123	川越市脇田本町15-10三井生命川越駅前ビル4F	049-241-5611
4	長瀬ランダウア株式会社	300-2686	茨城県つくば市諏訪C22街区1	029-839-3322
5	(株)エルクコーポレーションさいたま営業所	331-0812	さいたま市北区宮原町3-537-1	048-663-2221
6	ケアストリームヘルス株式会社	104-0032	東京都中央区八丁堀2-21-6	03-5540-2692
7	バイエル薬品株式会社	330-0843	さいたま市大宮区吉敷町1-75-1太陽生命大宮吉敷町ビル7F	048-640-6027
8	日本メジフィジックス株式会社関東支店第一営業所	136-0075	東京都江東区新砂3-14-10	03-5634-7450
9	富士フイルムメディカル株式会社 埼玉営業所	330-0842	さいたま市大宮区浅間町2-240	048-645-6001
10	堀井薬品工業株式会社東京北営業所	331-0804	さいたま市北区土呂町2-44-18	048-663-9491
11	株式会社カイゲン大宮営業所	337-0003	さいたま市見沼区春岡1-6-5	048-686-0711
12	伏見製薬株式会社東京営業所	164-0013	東京都中野区弥生町2-41-5	03-5328-7801
13	エーザイ株式会社埼玉医薬五部	330-0854	さいたま市大宮区桜木町1-11-7 東通ビル5F	048-647-9961
14	東洋メディック株式会社	162-0813	東京都新宿区東五軒町2-13	03-3268-0021
15	GEヘルスケア・ジャパン(株)	330-0834	さいたま市大宮区天沼町1-313-2	048-658-3450
16	三田屋商事(株)	171-0051	東京都豊島区長崎1-27-1	03-5995-6789
17	富士製薬工業株式会社	102-0094	東京都千代田区紀尾井町3-19	03-3264-2211
18	(株)島津製作所	604-8511	京都市中京区西ノ京桑原町1	075-823-1111
19	富士フイルムRIファーマ株式会社東京第二支店	104-0031	東京都中央区京橋2-13-10京橋MIDビル	03-5250-2631
20	株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン メディカルシステムズ	330-0802	さいたま市大宮区宮町2-96-1三井生命大宮宮町ビル5F	048-640-1198
21	株式会社ケー・アイ・シー・メディカルシステム	350-0165	埼玉県比企郡川島町中山2109-1	049-297-5130
22	東芝メディカルシステムズ株式会社	331-8701	さいたま市北区土呂町1-45-10	048-651-9290
23	コニカミノルタヘルスケア株式会社	330-0844	さいたま市大宮区下町1-42-2NQビル6F	048-631-1505
24	コヴィディエン ジャパン株式会社	158-0097	東京都世田谷区用賀2-39-11用賀STビル4階	03-5711-2800
25	日本放射線防禦株式会社東京支店	113-0033	東京都文京区本郷2-38-12	03-3811-1158
26	株式会社医療科学社	113-0033	東京都文京区本郷3-11-9	03-3818-9821

広告索引

造影剤関係

第一三共株式会社	4
コヴィディエン ジャパン株式会社	3
堀井薬品工業株式会社	12
株式会社カイゲン	8
エーザイ株式会社	13
伏見製薬株式会社	13
富士製薬工業株式会社	7
バイエル薬品株式会社	8

アイソトープ関係

富士フィルム RI ファーマ株式会社	2
日本メジフィジックス株式会社	12

フィルム関係

コニカミノルタヘルスケア株式会社	5
株式会社エルクコーポレーション	7
ケアストリームヘルス株式会社	10
富士フィルムメディカル株式会社	11

機器関係

株式会社メディカル・サービス T & K	1
株式会社日立メディコ	3
東芝メディカルシステムズ株式会社	2
東洋メディック株式会社	9
GEヘルスケア・ジャパン株式会社	6
三田屋商事株式会社	10
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンメディカルシステムズ	1
株式会社島津製作所	6
株式会社ケー・アイ・シー・メディカルシステム	9

測定関係

長瀬ランダウア株式会社	15
-------------	----

施設工事関係

日本放射線防禦株式会社東京支店	14
-----------------	----

書籍関係

医療科学社	16
-------	----

Point-of-Care CR Systems

CR120, 140 and 260

NEW!

スペースをとらない
デジタルX線画像システム

現像液の
臭いが無い

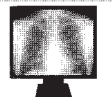
簡単操作で
手間いらず

患者さんへの説明を
スマートに行える

もっと身近に、デジタルX線画像

- X線撮影数に応じて選べる3タイプ。
 CR120 CR140 CR260
- 高画質のデジタルX線画像をご提供。
- 院内業務をトータルに省略化。

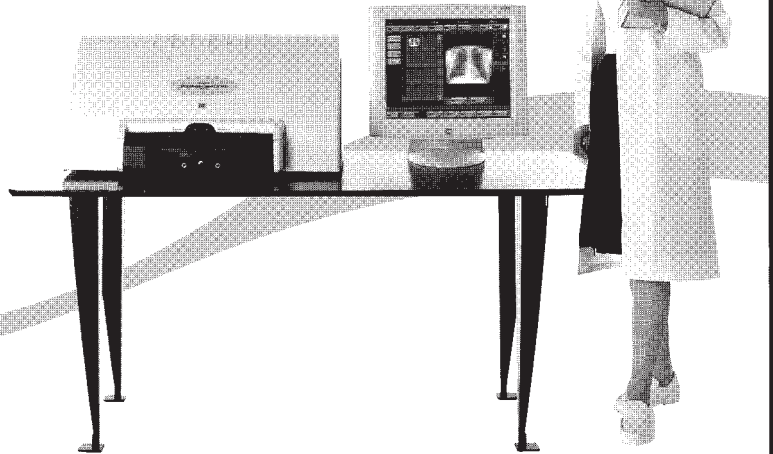
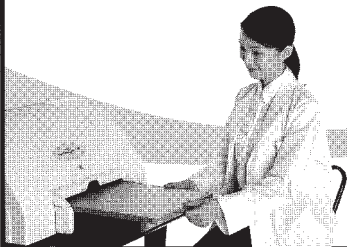
デジタルの可能性を
広げる多彩な
オプション



医療用ワークステーション/
オプション



専用カート/オプション



株式会社 **メディカル・サービス T & K**

E-mail: tandk@est.hi-ho.ne.jp

本店 〒331-0052 埼玉県さいたま市三橋6-1645-1
☎ 048(623)8684 FAX: 048(625)1410

営業部 〒362-0001 埼玉県上尾市上1710-3
☎ 048(777)7021 FAX: 048(777)7023

経営管理 〒362-0014 埼玉県上尾市本町2-4-15
本部

KODAKは、イーストマン・コダック社の米国における登録商標です。

Kodak

コダック株式会社 ヘルス事業部

東京 〒104-0033 東京都中央区新川2-27-1 東京住友ビル東館
☎ (03)5540-2260



Brilliance CT 64 / Brilliance CT 40

全身用X線ボリュームCT装置

Brilliance、想像を超える新しいきらめき。

Brighter than ever

製造販売元

株式会社 **フィリップス エレクトロニクスジャパン**
メディカル システムズ

本社：〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル お客様窓口 0120-556-494
www.medical.philips.com/jp/

販売名:ブリリアンスCT Powerシリーズ 医療機器認証番号:216008ZY00205000 設置管理医療機器 特定保守管理医療機器

PHILIPS

sense and simplicity

FUJIFILM

放射性医薬品/
骨疾患診断薬・
脳腫瘍及び脳血管障害診断薬

指定医薬品・処方せん医薬品[※] 注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

テクネ[®] MDP 注射液/キット

放薬基：メチレンジホスホン酸テクネチウム (^{99m}Tc) 注射液

薬価基準収載

★「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元

富士フイルム RIファーマ株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋1-17-10 内田洋行京橋ビル TEL.03(5250)2620
ホームページ：http://fri.fujifilm.co.jp

2007年4月作成

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

MULTI
ACCESS
ARM

マルチアクセス
アーム搭載

多彩なポジショニングを実現する、5つの回転軸。
観察範囲を拡張する、独創的なアーム動。
ヘッドフリーアクセスが可能な、世界初のパイプレンシステム。
X線循環器診断システムは、新たなるステージへ。

Infinix *Celeve-i*[™]
X線循環器診断システム INFX-8000V

東芝メディカルシステムズ株式会社

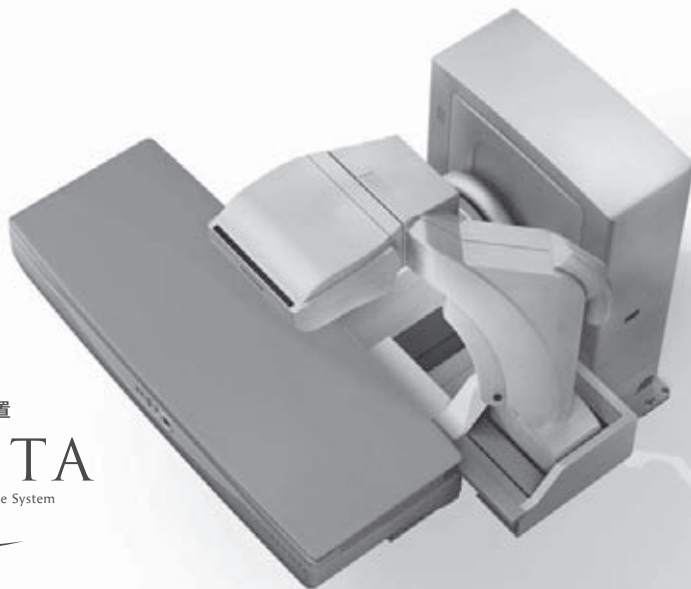
本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地
http://www.toshiba-medical.co.jp

X線循環器診断システム Infinix Celeve-i INFX-8000V
【認証番号】218ACBZX00001000

患者さんにやさしく安心な検査・術式の環境は、広く上質なワークスペースから生まれます。

Offset open design

スライド機構付きのフラットなオフセットテーブルと
従来の長手動に横手動を加えた2ウェイアームにより、
広いワークスペースを生み出しました。
使いやすく、患者さんにも負担の少ない検査・術式が可能です。



FPD専用X線透視撮影装置

CUREVISTA

Digital X-ray Radiographic/Fluoroscopic Table System

www.hitachi-medical.co.jp

株式会社日立メディコ
〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX



世界69カ国で販売しております。

【 オプチレイ[®]は、
コヴィディエン ジャパンの
造影剤です。 】

Optiray[®]

「タイコ ヘルスケア ジャパン株式会社」は、「コヴィディエン ジャパン株式会社」に社名を変更いたしました。

非イオン性造影剤〈イオベルソール注射液〉処方せん医薬品^{*}

薬価基準収載

オプチレイ[®]160注 50・100mL

オプチレイ[®]240注 100mL

オプチレイ[®]320注 20・50・75・100mL

オプチレイ[®]350注 20・50・100mL

オプチレイ[®]240注シリンジ 100mL

オプチレイ[®]320注シリンジ 40・50・75・100mL

オプチレイ[®]350注シリンジ 50・100mL

^{*}注意—医師等の処方せんにより使用すること

製造販売元

コヴィディエン ジャパン株式会社

医薬品事業部

〈資料請求先〉〒158-0097 東京都世田谷区用賀2-39-11
フリーコール 0120-011-602



COVIDIEN

positive results for life[®]

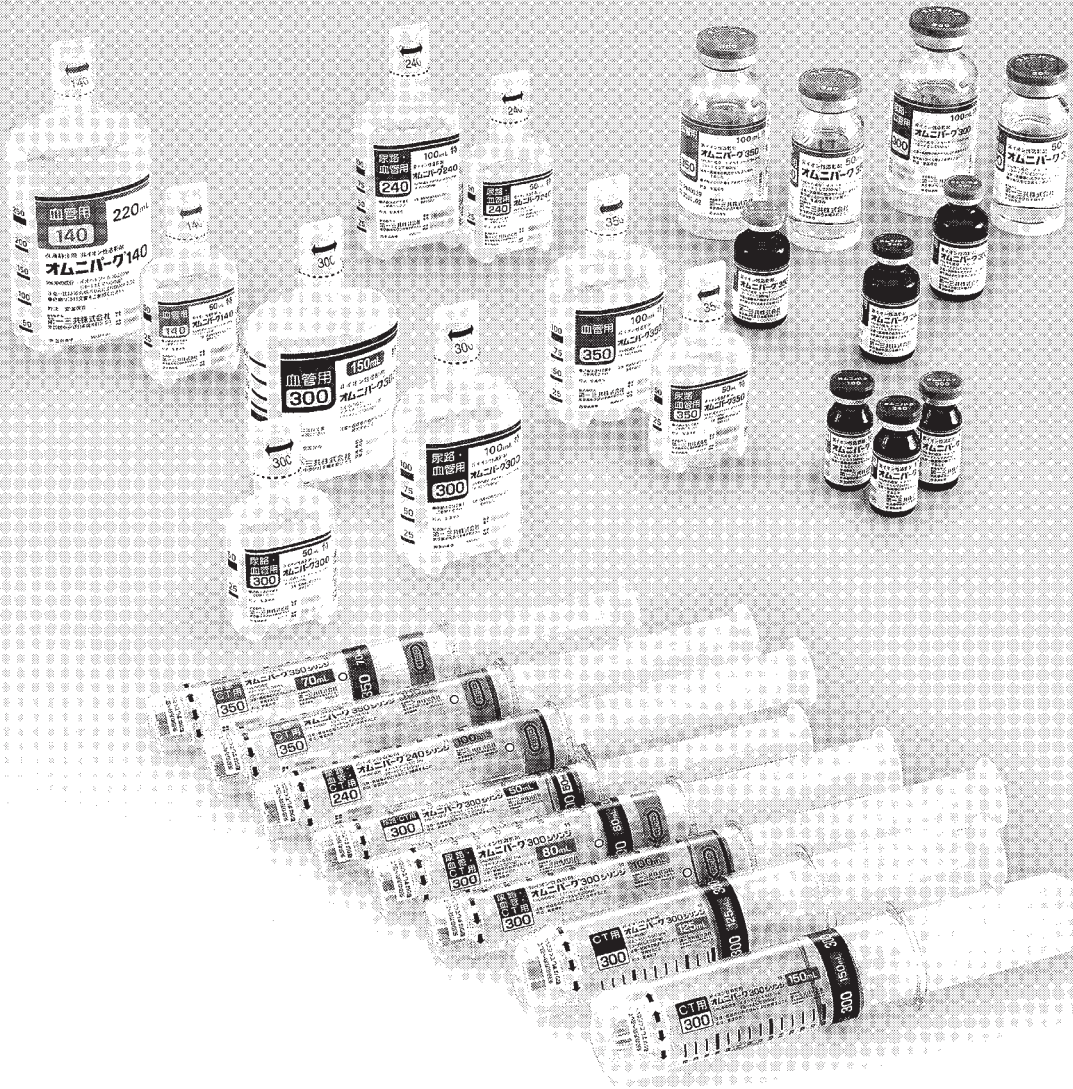
効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については最新の添付文書をご参照ください。

COVIDIEN、COVIDIENロゴマーク及び“positive results for life”はCovidien AGの商標です。®を付記した商標はCovidien companyの商標です。©2010 Covidien.

1001 A4-1/2



OMNIPAQUE



非イオン性造影剤

指定医薬品、処方せん医薬品*

薬価基準収載

オムニパーク®

OMNIPAQUE® イオヘキソール注射液

140 180 240 300 350
240シリンジ 300シリンジ 350シリンジ

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

- 140 (血管用) 50mL、220mL
- 240 (尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL
- 300 (尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL
(血管用) 150mL
- 350 (尿路・血管用) 20mL、50mL
(血管用) 100mL
- 240シリンジ (尿路・血管・CT用) 100mL
- 300シリンジ (尿路・CT用) 50mL
(尿路・血管・CT用) 80mL、100mL
(CT用) 125mL、150mL
- 350シリンジ (血管・CT用) 70mL、100mL
- 180 (脳槽・脊髄用) 10mL
- 240 (脳槽・脊髄用) 10mL
- 300 (脊髄用) 10mL

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元(資料請求先)



第一三共株式会社

Daiichi-Sankyo

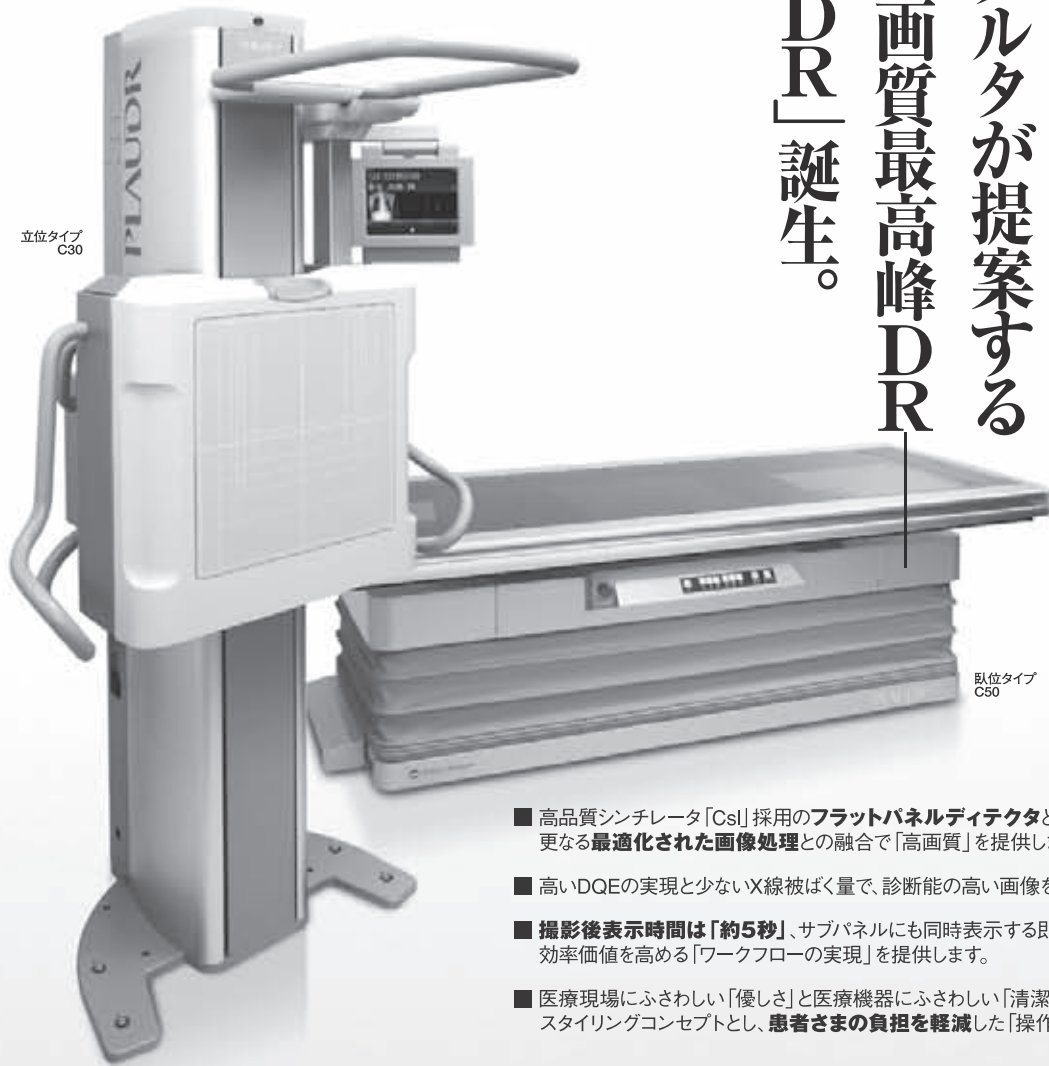
東京都中央区日本橋本町3-5-1



KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

「PLAUDR」^{フラウディア}誕生。
コニカミノルタが提案する
待望の高画質最高峰DR



立位タイプ
C30

臥位タイプ
C50

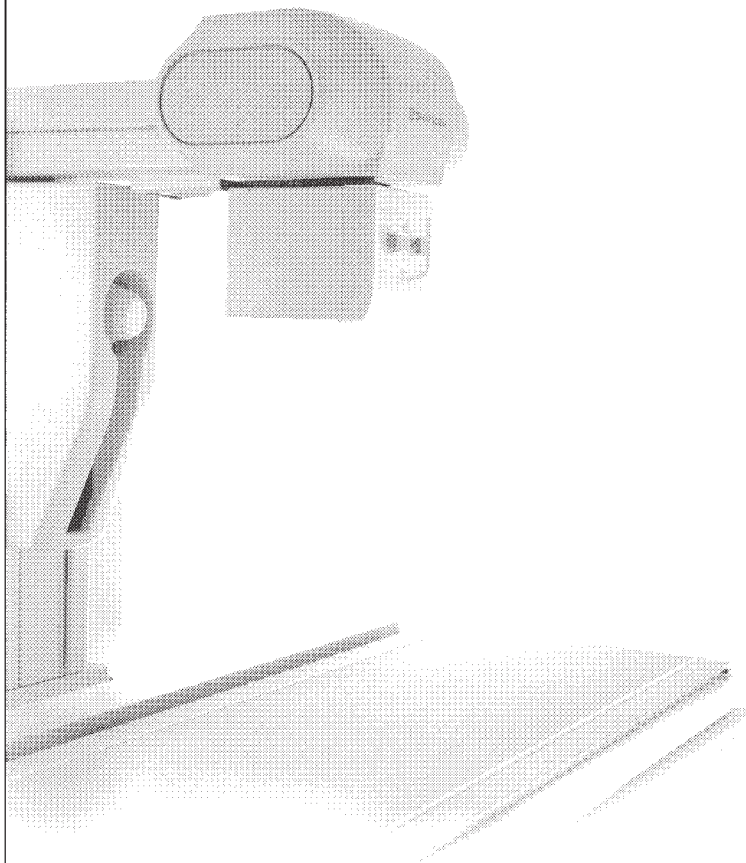
- 高品質シンチレータ「CsI」採用のフラットパネルディテクタと更なる最適化された画像処理との融合で「高画質」を提供します。
- 高いDQEの実現と少ないX線被ばく量で、診断能の高い画像を提供します。
- 撮影後表示時間は「約5秒」、サブパネルにも同時表示する即時性で効率価値を高める「ワークフローの実現」を提供します。
- 医療現場にふさわしい「優しさ」と医療機器にふさわしい「清潔感」をスタイリングコンセプトとし、患者さまの負担を軽減した「操作性」を提供します。

DIGITAL RADIOGRAPHY

PLAUDR C30 C50

製造販売元: コニカミノルタ エムジー株式会社

販売元: コニカミノルタ ヘルスケア株式会社 191-8511 東京都日野市さくら町1番地 TEL (042) 589-1439 (代) <http://konicaminolta.jp/healthcare>

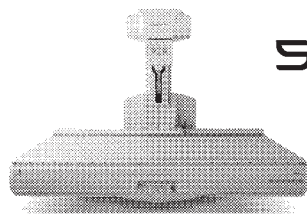


洗練された画質と 新たな臨床価値の提案

最高レベルの検査環境を求め

島津製作所が世界に誇る直接変換方式FPDにより達成した
最大2880マトリクスの超高精細画像と、その画質を最大限に活かした
独自のアプリケーションによる新たな臨床価値の提供。

SONIALVISION safire17は臨床現場で今求められている、
そしてこれから求められるであろうシステムへの期待をとらえた
島津からの提案です。



X線テレビシステム
SONIALVISION
safire17
【ソニアルビジョンサファイア】

製造販売認証番号:220ABBZX00261000

株式会社島津製作所 医用機器事業部 604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1 TEL (075) 823-1271 www.med.shimadzu.co.jp

GE Healthcare

Healthcare Re-imagined.

より早く、正確に。想像力の先にひろがるEarly Health。

想像を、実像に。いよいよその時がやってきました。
診療の原点を見つめ、私たちが探ってきたEarly Healthの可能性は
より具体的なアイデアを包み込んだ種子となり、あらゆる分野へ飛び立とうとしています。
患者さまのために、利用される皆さまのために、さらにはすべての人が
よりよい診療サービスをいち早く享受するために、画像診断技術はいかにあるべきか？
診療世界の次の10年を、より実りあるものとするために、
これまで超えられなかった壁を軽やかに飛び越え、理想形へと着床します。

Re-imagine・・・それは、診療のよりよい未来に、答えを出しつづけること。

GEヘルスケア・ジャパン
カスタマー・コールセンター 0120-202-021
www.gehealthcare.co.jp



GE imagination at work



私達は、造影剤領域におけるジェネリック医薬品のリーディングカンパニーを目指します。

今日と明日のベストパートナー。



非イオン性尿路・血管造影剤 イオパミドール注射液

処方せん医薬品^注 薬価基準収載

オイパロミン[®] 注
150 / 300 / 370 /
300 シリンジ / 370 シリンジ

非イオン性造影剤 イオヘキソール注射液

処方せん医薬品^注 薬価基準収載

イオパーク[®] 注
300 / 350 / 240 シリンジ /
300 シリンジ / 350 シリンジ

MRI用造影剤 ガドペンテ酸ジメグルミン注射液

処方せん医薬品^注 薬価基準収載

ガドペンテ酸メグルミン[®] 静注液
37.14% シリンジ [F]
5mL / 10mL / 13mL / 15mL / 20mL

注) : 注意—医師等の処方せんにより使用すること。

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照下さい。

[資料請求先]

ひとりひとりの笑顔に応えたい。



富士製薬工業株式会社

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番19号
<http://www.fujipharma.jp>

2009年4月作成

iNtuition

画像診断は今、新領域へ。
「インテュイション」到来。



画像診断ワークフローの革新的アーキテクチャ

「Aquarius iNtuition (インテュイション)」は、画像データ発生時から読影までをひとつの流れとしてとらえ、カスタマイズ可能な柔軟性を備えた画像処理診断のワークフローを実現する、画期的アーキテクチャ。既存のAquarius製品をコンポーネントにシームレスにワークフローを構築。さらに、画像処理におけるルーティンワークを自動的に実行する事前処理サーバAquariusAPSにより、画像処理時間の短縮化を実現。画像診断業務の向上に貢献します。

**Aquarius
APS
Server**

ルーティンワークの負担を軽減する自動前処理サーバ

**Aquarius
Net
Station**

画像配信機能付高機能ワークステーション

Aquarius iNtuition

**Aquarius
NET
Server**

ストレスフリーな3D画像院内外配信ソリューション

**Aquarius
NAS
Server**

ポリウムデータの新マネージメントサーバ

株式会社エルクコーポレーション



営業統括本部

大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 大江ビル9階

☎(06)6942-0691
☎(03)3814-8229

東京都文京区湯島2丁目17番4号

URL <http://www.elkc.co.jp>

●商品に関するお問い合わせは下記まで

札幌(011)736-0010・仙台(022)236-3621・新潟(025)243-6391・さいたま(048)663-2221
東京第一(03)3814-7851・東京第二(03)3814-7850・横浜(045)474-6661・名古屋(052)531-6231
金沢(076)237-7511・京都(075)691-5101・大阪第一(06)6382-3787・大阪第二(06)6382-8701
神戸(078)651-2601・岡山(086)232-6721・広島(082)232-1341・福岡(092)472-0241
鹿児島(099)266-3141

開発製造元: TERARECON, INC. 日本支店: 東京都港区芝公園2-11-1 住友不動産芝公園タワー1F

消化管の診断に

薬価基準収載

処方せん医薬品

X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

◇パウダー製剤

ネオバルギンEHD

ネオバルギンUHD

ネオバルギンHD

バリトップHD

バリブライトP

バリブライトCL

バリコンクMX

◇ゾル製剤

バムスターS200

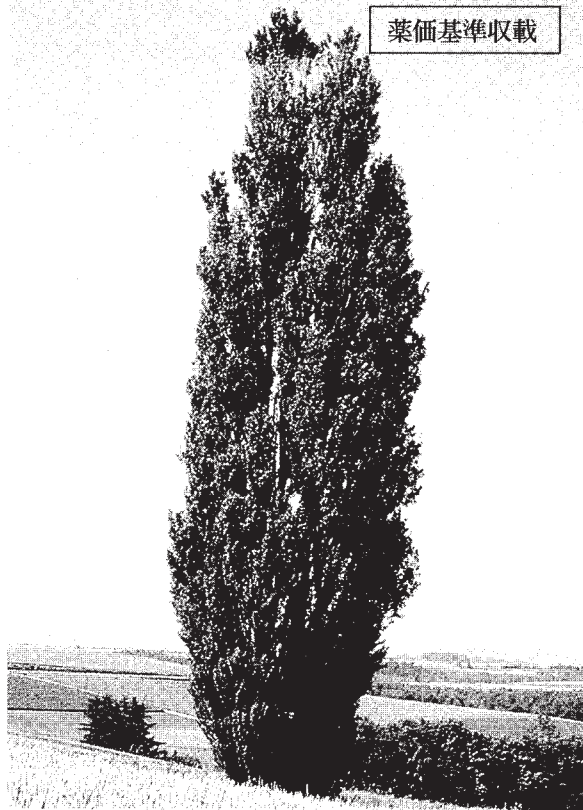
バリトップ120

バリトップゾル150

バリブライトゾル180

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

※注意—医師等の処方せんにより使用すること



発売元



株式会社 **カイゲン**

大阪市中央区道修町2-5-14〔資料請求先 新薬本部〕

<http://www.kaigen.co.jp>

薬価基準収載

指定医薬品・処方せん医薬品*

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

MRI用造影剤(ガドペンテト酸シメグルミン注射液)

マグネビスト[®]

マグネビストシリンジ[®]

Magnevist[®]

■効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等につきましては、添付文書をご参照ください。

■警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分ご留意ください。

日本シエーリング株式会社は、2007年7月1日より、新たにバイエル薬品株式会社としてスタートいたしました。

資料請求先

バイエル薬品株式会社
大阪市淀川区宮原3-5-36 〒532-8577
<http://www.bayer.co.jp/byl>



Bayer HealthCare
Bayer Schering Pharma

MAG-07-0610

(2007年7月作成)

コンパクトなボディに高性能かつ 高速処理を凝縮したCRシステム

102枚/時(大角サイズ)のCR Eliteと77枚/時(大角サイズ)のCR Classicの2機種をご用意。臨床現場のさらなるワークフローの向上を実現します。

最先端の 画像処理技術を搭載

- 周波数帯域に応じた画像処理
- じん肺、マンモグラフィ対応
- マルチセグメンテーション機能



通常の処理 (左右の線量差10倍)



マルチセグメンテーション機能の処理
(左右の線量差10倍)



Carestream 
HEALTH

KIC

株式会社
ケー・アイ・シー・メディカルシステム

事務所

〒350-0165 埼玉県比企郡川島町中山2109-1
TEL:049-297-5130 FAX:049-297-5961
E-mail:shoji_0207@ybb.ne.jp

IMRT/ SBRTのQAを
マルチに、効果的に、効率よく。

 **SUN NUCLEAR**
corporation

MapCHECKファミリー

MapCHECK 2[™]
IMRT 検証2D測定システム
(IMRT QAのゴールドスタンダード)

MotionSim[™]
4D IMRT QAを可能にした
IMRT/IGRT/SBRT専用の
QAツール

MapCHECKソフトウェア

EPI DOSE
高分解能・高密度で、
お手持ちのEPIDの有効利用が可能

MAPcalc
スピーディかつ正確な2D検証機能により、
治療計画検証に要する時間を短縮



For All Your Tomorrows

TOYO MEDIC

<http://www.toyo-medico.co.jp/> E-mail info@toyo-medico.co.jp

東洋メディック株式会社

本社：〒162-0813 東京都新宿区東五軒町2-13
TEL. (03) 3268-0021 (代表) FAX (03) 3268-0264
大阪支店：〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-19-1
TEL. (06) 6535-5741 (代表) FAX (06) 6535-5745
福岡支店：〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40
TEL. (092) 482-2022 (代表) FAX (092) 482-2027
支店・営業所：名古屋・札幌・新潟・仙台・岡山

Kodak
Licensed Product

日本仕様PACS

世界150カ国以上で鍛えられ、
日本の医療現場のために徹底的にカスタマイズ。
高評価の理由は、そこにあります。



Kodak Carestream PACS



Carestream PACS/RS

ケアストリームヘルスは、世界150カ国以上で医療施設とお取り引きのあるグローバル企業。多種多様な医療現場から蓄積したノウハウを活用して、複数の施設を連携させる大規模なIMS (Information Management Solutions) に至るまで、先進のPACS技術をさらに進化させつづけています。

コダックヘルス事業部は、ケアストリーム株式会社へ移管しました。

ケアストリームヘルス株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁通2-21-6 八丁通ビル ☎(03) 5540-2260
札幌 ☎(011) 252-8072 名古屋 ☎(056) 1184-2755
大阪 ☎(06) 6534-7090 福岡 ☎(092) 413-8460
ホームページ <http://www.carestreamhealth.jp>

Carestream 
HEALTH

M The Mitaya Shop Co., Ltd.

グリッド本体の表面に特殊シートとクッション材を施した製品を開発。

改良型 MS-3P型 グリッド

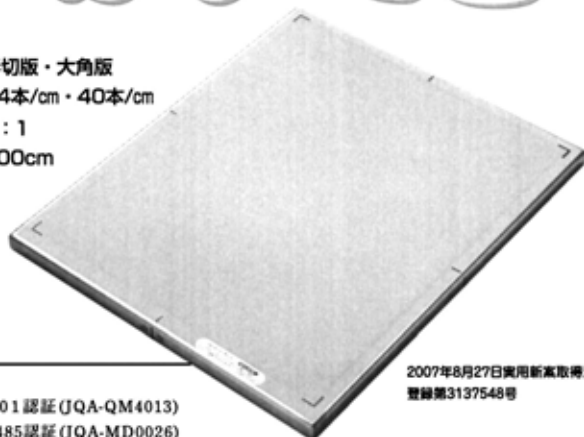
スリーピー

かいてきくん

更なる
機能向上を
図りました!

標準仕様:

- サイズ 半切版・大角版
- 密度 34本/cm・40本/cm
- 格子比 3:1
- 距離 100cm



ISO9001 認証 (JQA-QM4013)
ISO13485 認証 (JQA-MD0026)

製造販売元: 製造販売業の許可番号: 11B3X00078

株式会社 三田屋製作所
〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-12
TEL.049(225)1981(代) FAX.049(225)1942

2007年8月27日実用新案取得済
登録第3137548号



かいてきくん 5つのポイント

- 1 患者様の身体的苦痛の緩和
- 2 患者様の安心感の向上
- 3 患者様への挿入が容易
- 4 ポジショニングの容易性向上
- 5 洗浄のし易さ向上

総販売元:

三田屋商事株式会社
〒171-0051 東京都豊島区長崎1-27-1
TEL.03(5995)6789(代) FAX.03(5995)6788

<http://www.mitaya.co.jp/>

FUJIFILM

more than imaginable



パッケージで選べる3つのSYNAPSE



SYNAPSEパッケージで最適なPACSを。

高画質・高機能で国内最大シェアをもつモニター運用型PACS「SYNAPSE」。その基本機能はそのままに、導入規模や運用形態にあわせて選べる3つのパッケージをラインアップしました。優れたコストパフォーマンスで、本格的なモニター運用に対応し、導入後も運用計画に沿って自在にシステムを拡張することができます。

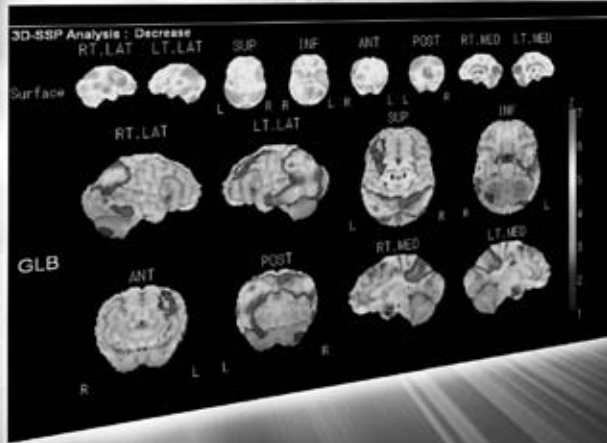
薬事販売名：
富士画像診断ワークステーション FS-V673型
薬事承認番号：21600BZZ00613000



SYNAPSE EX / Lite / Mini-X

富士フイルム メディカル株式会社 〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル tel.03-6419-8033(代) <http://fms.fujifilm.co.jp>

脳血流SPECTを 3D-SSPでみる



画像がさらに見やすく。
読影も、患者さんやご家族への説明も、さらにスムーズに。

処方せん医薬品^(注)
放射性医薬品・局所脳血流診断薬

薬価基準収載

パービューザミン[®]注

放射性医薬品基準塩酸N-イソプロピル-4-ヒドランフェタミン^(123I)注射液

処方せん医薬品^(注)
放射性医薬品・局所脳血流診断薬

薬価基準収載


セレブロテック[®]キット

放射性医薬品基準エキサメタジウムテクネチウム^(99mTc)注射液調製用

注) 注意— 医師等の処方せんにより使用すること
Ⓜ:登録商標

■効能・効果、用法・用量、使用上の注意等は
添付文書をご参照ください。

資料請求先

 日本メジフィジクス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号
http://www.nmp.co.jp

製品に関するお問い合わせ先

☎ 0120-076941

2009年6月改訂

薬価基準収載

HORII PHARM.IND.,LTD.

胃X線検査関連製品ラインアップ



硫酸バリウムX線造影剤

発泡剤

消泡剤

緩下剤

硫酸バリウムX線造影剤

処方せん医薬品

確実な存在診断

High Density

バリコンミール[®]

的確な鑑別診断

Semi High Density

ボロスパース[®]W

X線二重造影用発泡剤

処方せん医薬品

ボロス発泡顆粒

胃・腸の診断を通じて奉仕する



堀井薬品工業株式会社

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1丁目2番6号

TEL 06-6942-3481 (代) FAX 06-6942-1505

(資料請求先: 安全性情報部)

http://www.horii-pharm.co.jp

☎ 0120-010-320

消泡剤

ボロス消泡内用液2%

 ジメチコン内用液

※禁忌、効能・効果、用法、使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

食道から大腸まで

適確診断のために……

薬価基準収載

処方せん医薬品 注意-医師等の処方せんにより使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 上部消化管X線造影剤

バリテスター[®] A240散

バリトゲン[®] SHD

■ 注腸用X線造影剤

エネマスター[®] 注腸散

■ X線CT用経口消化管造影剤

バリトゲン[®] CT

■ 消化管X線造影剤

バリトゲン[®] HD

バリトゲン[®] ザル145

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

バリトゲン[®]

バリトゲン[®] ザル

■ X線診断二重造影用発泡剤

バリトゲン[®]-デラックス

ウムブラ[®] MD

バリエース[®] 発泡顆粒

■ 胃内有泡性粘液除去剤

バリトゲン[®] 消泡内用液 2%

(ジメチコン内用液)

■ 緩下剤

ファースル[®]-錠 2.5mg

(ピコスルファートナトリウム錠)

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

FSK 伏見製薬株式会社

・資料請求先 / 学術室

〒763-8605 香川県丸亀市中津町1676 TEL 0877-22-7284 FAX 0877-22-6284

仙台営業所 / TEL 022-295-5667 東京営業所 / TEL 03-5328-7801 名古屋営業所 / TEL 052-732-8555
大阪営業所 / TEL 06-6221-5101 中四国営業所 / TEL 0877-22-7284 福岡営業所 / TEL 092-413-4107

指定医薬品

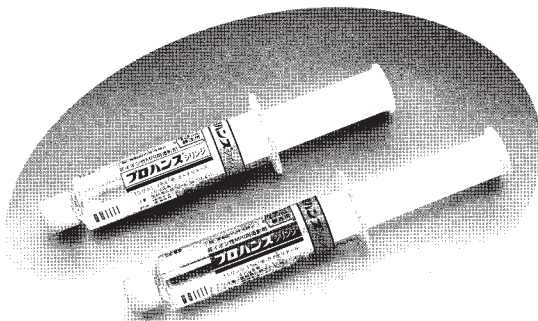
処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

プロハンス[®] 注

〈ガドテリドール注射液〉 **ProHance[®] INJECTION**

内容量：5mL, 10mL, 15mL, 20mL



指定医薬品

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

プロハンス[®] シリンジ

〈ガドテリドール注射液〉 **ProHance[®] Syringe**

内容量：13mL, 17mL

製造販売元



ブラッコ・エーザイ株式会社
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6

販売元



エーザイ株式会社
〒112-8088 東京都文京区小石川 4-6-10
<http://www.eisai.co.jp>

提携先



ブラッコ インターナショナル

PR 0504-2 2005年4月作成

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン室 ☎ 0120-419-497 9~18時(土、日、祝日 9~17時)

● 効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

こらむ \sqrt{X}

*Ich fand durch Zufall daß die Strahlen durch
das Schwarze Papier drängen.*

◀ 私は 偶然に 黒い紙を突き抜ける 放射線を見つけた。 ▶

レントゲン博士の衝撃的な発見から110年余過ぎました。

- ❑数ヶ月後、レントゲン博士とは面識のない丸茂文良醫學士は、◀レントゲン氏の所謂X光線?の「デモンストラチオン」▶の講義と実験を行いました。
- ❑X線発見から放射線の探究は、 γ 線や中性子、素粒子への解明に引き継がれました。
- ❑丸茂実験を始め、放射線障害の分析は、放射線治療と法整備に反映されました。

- ❑日本放射線防禦(株)は、昭和26年から放射線施設の設計や建築、周辺設備に関わり、全国多数の医療機関と協働して、臨床機能の充実を目標に施工、貢献できました。


column

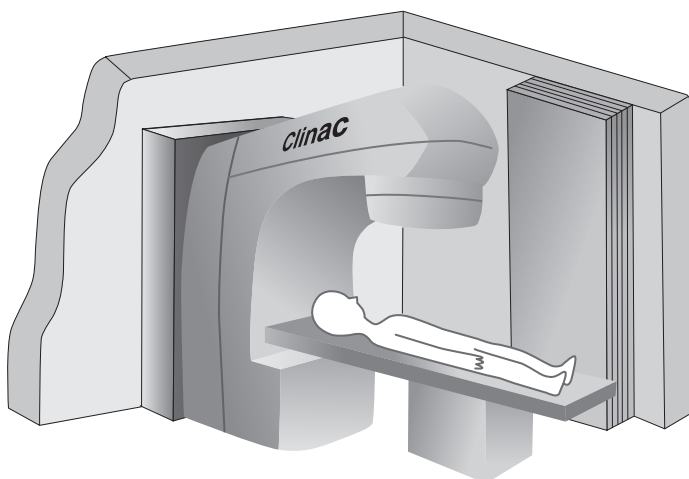
放射線・MRI施設等の設計、施工

- リニアック、CT・MRI・RI検査室建造など
- 鉛、RC等の放射線遮へい工事
- 電波・磁気シールド工事
- 空調、電気、給排水設備工事
- 医療法、電離則に基づく法定測定
- 病院経営に関するコンサルタント業務

最近の施工施設 (埼玉県内のみ)

獨協医大越谷病院
埼玉医大総合医療センター
北里メディカルセンター病院
埼玉県立がんセンター
戸田中央総合病院

など多数 



日本放射線防禦株式会社

国土交通大臣許可 (特-18) 第21807号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第55842号

東京支店 / 〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目38番12号
本社 / 〒590-0023 堺市堺区南三国ヶ丘町1丁目5番11号
名古屋支店 / 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目32番26号602

TEL03-3811-1158・FAX03-3811-1046
TEL072-232-0741・FAX072-223-7393
TEL052-269-9130・FAX052-269-9133

個人被ばく線量測定 クイクセルバッジ サービス

(平成22年4月よりサービス開始)

- ◆ラベルの表記がリニューアルされ、見やすくなりました。
- ◆バッジの形状の変更により、着用感がさらにUP。
- ◆測定原理は、ルクセルバッジと同じOSL線量計を用いています。
- ◆バッジ製造の国内化を実現し、安定供給を可能にしました。



 **長瀬ランドウア株式会社**

本社／〒300-2686 茨城県つくば市諏訪C22街区1 Tel. 029-839-3322 Fax. 029-836-8441
大阪営業所／〒550-8668 大阪市西区新町1-1-17 Tel. 06-6535-2675 Fax. 06-6541-0931
ホームページアドレス／<http://www.nagase-landauer.co.jp>



Pre exposureのための副読本 放射線業務支援の手引き

撮影前評価と撮影技術に必要な動作介助・誘導・手話の基本

著者：前野 正登・山本 秀昭・肥沼 武司（国立障害者リハビリテーションセンター病院）



画像検査を行うにあたり、多くの施設では検査部位・疾患名だけの依頼に止まるため、症状や徴候等の情報は診療放射線技師自らが撮影前に評価（pre exposure）する必要がある。

本書では、放射線部門の支援対象を個々にとりあげ、解剖学・神経学・リハビリテーション学を取り入れた諸疾患の医学的特徴と介助・誘導の実際について解説。撮影前評価をし、把握することによって目的撮影部位を明確化し、安全に配慮した撮影に臨むことで画像情報提供の向上につなげる。

【主要目次】

- 第1章 支援技術の基礎 序論／外見からの pre exposure
- 第2章 運動機能障害 介助技術の基本／障害のあらまし／介助の原則とレベルの評価／動作介助
- 第3章 視覚障害 視覚／視覚障害者の誘導法（手引き）
- 第4章 聴覚障害 聴覚のあらまし／聴覚障害者との手話

● A5判 176頁 ● 定価（本体2,600円＋税） ● ISBN978-4-86003-409-2

診療放射線技師のための Step UP Q&A

編著：診療放射線技師 国立病院政策医療班

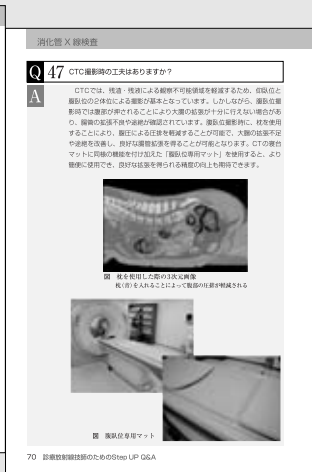
ラジオロジーワールドがまるごとわかる

日常業務から生じた疑問、患者さんや他科スタッフへの説明、オーダー対応、スキルアップ対策など、あらゆるシーンから精選された573項目の質疑応答を満載。

診断・検査系、治療系、管理系の全領域を網羅した、ラジオロジーワールドがまるごとわかる実践指南。

【主要目次】

小児医療／消化管X線検査／乳房X線検査（マンモグラフィ）／超音波検査／CT検査／MRI検査／核医学検査／画像解析／救急・災害医療／安全管理／放射線治療



● A5判 400頁 ● 定価（本体3,300円＋税） ● ISBN978-4-86003-406-1

医療科学社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3丁目11-9
TEL 03-3818-9821 FAX 03-3818-9371 郵便振替 00170-7-656570
ホームページ <http://www.iryokagaku.co.jp>

本の内容はホームページでご覧いただけます

本書のお求めは ● ほとんどの書店にお申し込み下さい。
● 弊社へ直接お申し込みの場合は、電話、FAX、ハガキ、ホームページの注文欄でお受けします（送料300円）。



「コロッセオ」 撮影 伊奈病院 倉内 克憲 氏

コメント イタリアの首都ローマにある世界遺産
紀元80年頃建設されたこの闘技場では、何千人もの剣闘士が
命をかけて闘ったとされる。当時のローマ帝国の繁栄を伺い
知ることができる、歴史的遺産である



〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39

社団法人 埼玉県放射線技師会

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

www.sart.jp

sart@beige.ocn.ne.jp

領布価格 1,000円(会誌購読料は会費に含まれる)